

FS-C5250DN

使用説明書



KYOCERA FS-C5250DN

使用説明書　メニュー

目次・索引から選ぶ

目的で選ぶ

準備する

- ネットワークを設定する
- ステータスページを印刷して確認する
- プリンタードライバーをインストールする
  - Windows PCにインストールする
  - Macintoshにインストールする
- 用紙を補給する
  - 給紙カセットに補給する
  - 手差しトレイに補給する
  - 用紙サイズ･用紙種類を設定する

印刷する

- アプリケーションから印刷する
- 印刷をキャンセルする
- USBメモリから印刷する

メンテナンスする

- トナーコンテナを交換する
- 廃棄トナーボックスを交換する
- 清掃する
- 操作パネルから調整を行う

トラブルが発生した

- 一般的な問題について
- 印刷品質の問題について
- エラーメッセージを確認する
- 紙づまりの処置

▶ 目次から選ぶ　▶ 索引から選ぶ

設定を行う

管理する

本機の情報

はじめに

FS-C5250DNをご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法、日常の手入れ、および簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、
本製品の近くに保管してください。

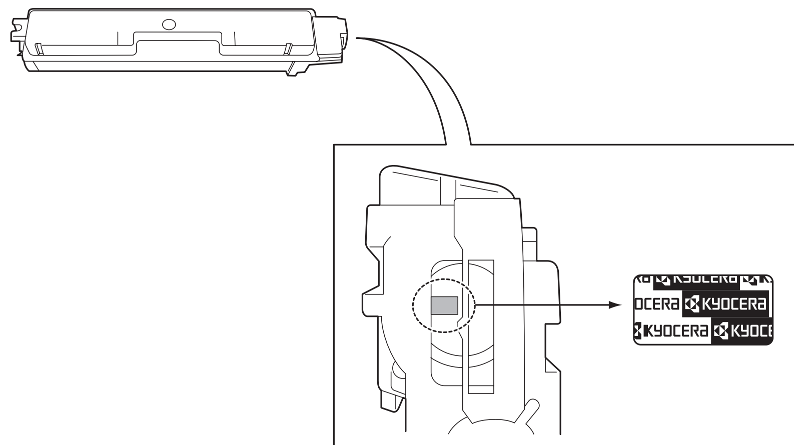
印刷品質維持のため、トナーコンテナは京セラミタ純正品の使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査に合格した京セラミタ純正品のトナーコンテナをご使用ください。

純正品以外のトナーコンテナをお使いになると、故障の原因になることがあります。

純正品以外のトナーコンテナの使用が原因で、機械に不具合が生じた場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますので、ご了承ください。

京セラミタ純正消耗品には、以下のホログラムシールが貼られています。



目次

メニューマップ



メニューキー

レポートの印刷 (4-9 ページ)	メニューマップの印刷（4-9 ページ）	
	ステータスページの印刷（4-10 ページ）	
	フォントサンプルの印刷（4-12 ページ）	
	ハードディスクファイル リストの印刷（4-13 ページ）	
	RAM ディスクファイル リストの印刷（4-13 ページ）	
USB メモリ (4-14 ページ)	ファイルの印刷（4-14 ページ）	
	部数（4-15 ページ）	
	給紙元（4-15 ページ）	
	デバイスの取り外し（4-16 ページ）	
	ファイルリストの印刷（4-16 ページ）	
ユーザボックス (4-17 ページ)	ボックスの選択（4-17 ページ）	すべての文書を印刷（4-18 ページ）
		(データの選択)（4-19 ページ）
		すべての文書を削除（4-20 ページ）
		ファイルリストの印刷（4-20 ページ）
	ボックスリストの印刷（4-21 ページ）	
ジョブボックス (4-22 ページ)	クイックコピージョブ（4-23 ページ）	
	個人 / 保存ジョブ（4-26 ページ）	
	ジョブボックス詳細設定 (4-28 ページ)	クイックコピーの個数（4-28 ページ）
		削除（4-28 ページ）
カウンタ **(4-30 ページ)**	合計ページ数（4-30 ページ）	
	カラーページ数（4-30 ページ）	
	白黒ページ数（4-30 ページ）	
用紙の設定 (4-32 ページ)	手差しトレイ 用紙サイズ（4-33 ページ）	
	手差しトレイ 用紙種類（4-34 ページ）	
	カセット 1 用紙サイズ（4-35 ページ）	
	カセット 2 用紙サイズ（4-35 ページ）	
	カセット 3 用紙サイズ（4-35 ページ）	
	カセット 4 用紙サイズ（4-35 ページ）	
	カセット 1 用紙種類（4-38 ページ）	
	カセット 2 用紙種類（4-38 ページ）	
	カセット 3 用紙種類（4-38 ページ）	
	カセット 4 用紙種類（4-38 ページ）	
	種類の属性（4-39 ページ）	用紙の重さ（4-39 ページ）
		両面印刷の給紙（4-41 ページ）
	種類の属性のリセット（4-41 ページ）	

印刷設定 （4-42 ページ）	給紙元（4-42 ページ）	
	給紙指定動作（4-43 ページ）	
	両面印刷（4-43 ページ）	
	A4/LT 共通（4-45 ページ）	
	エミュレーション（4-45 ページ）	
		エラーレポート（4-46 ページ）
	カラーモード（4-46 ページ）	
	印刷品質（4-47 ページ）	光沢モード（4-47 ページ）
		エコプリントモード（4-48 ページ）
	印刷環境（4-48 ページ）	コピー枚数（4-48 ページ）
		印刷の向き（4-49 ページ）
		ワイド A4（4-49 ページ）
		XPS 印刷範囲設定（4-50 ページ）
		TIFF/JPEG サイズ（4-50 ページ）
ネットワーク （4-52 ページ）	TCP/IP（4-52 ページ）	
		DHCP（4-53 ページ）
		Auto-IP（4-53 ページ）
		IP アドレス（4-54 ページ）
		サブネットマスク（4-55 ページ）
		デフォルトゲートウェイ（4-55 ページ）
		Bonjour（4-56 ページ）
	TCP/IP（IPv6）（4-57 ページ）	
		RA（Stateless）（4-57 ページ）
		DHCPv6（4-58 ページ）
デバイス全般 （4-59 ページ）	表示言語（4-59 ページ）	
	日時設定（4-59 ページ）	日時 (年 / 月 / 日)（4-60 ページ）
		時刻 (時 : 分 : 秒)（4-60 ページ）
		日付形式（4-61 ページ）
	ブザー（4-61 ページ）	キー操作（4-61 ページ）
		印刷完了（4-62 ページ）
		準備完了（4-62 ページ）
		警告（4-63 ページ）
	RAM ディスクモード（4-63 ページ）	
		RAM ディスクサイズ（4-64 ページ）
	ハードディスク（4-64 ページ）	ハードディスクのフォーマット （4-65 ページ）
	エラー処理（4-65 ページ）	両面印刷処理（4-66 ページ）
		用紙ミスマッチエラー（4-66 ページ）
（次ページへ続く）		手差し紙なし表示（4-67 ページ）

デバイス全般（4-59 ページ）（前ページからの続き）	時間（4-67 ページ）	改ページ待ち時間（4-67 ページ）
		スリープ時間（4-68 ページ）
		オートエラークリア（4-69 ページ）
		エラークリア時間（4-69 ページ）
		オートパネルリセット（4-70 ページ）
		パネルリセット時間（4-70 ページ）
セキュリティ（4-72 ページ）	インタフェースブロック（4-73 ページ）	USB ホスト（4-73 ページ）
		USB デバイス（4-74 ページ）
		オプションインタフェース（4-74 ページ）
	NetWare（4-75 ページ）	
		フレームタイプ（4-75 ページ）
	AppleTalk（4-76 ページ）	
	IPP（4-77 ページ）	
	SSL サーバ（4-77 ページ）	
		DES（4-78 ページ）
		3DES（4-78 ページ）
		AES（4-79 ページ）
		IPP over SSL（4-79 ページ）
		HTTPS（4-80 ページ）
	IPSec（4-80 ページ）	
	セキュリティレベル（4-81 ページ）	
部門管理（4-82 ページ）	部門管理（4-83 ページ）	
	部門の選択（4-84 ページ）	カウンタの表示（4-84 ページ）
		カラーカウンタの表示（4-85 ページ）
		制限の種類（4-85 ページ）
		カラー制限種類（4-85 ページ）
		印刷制限（4-86 ページ）
		カラー印刷制限（4-86 ページ）
		カウンタの初期化（4-87 ページ）
	部門の登録（4-87 ページ）	
	部門の削除（4-88 ページ）	
	部門管理リストの印刷（4-88 ページ）	
管理者（4-89 ページ）	ID の変更（4-90 ページ）	
	パスワードの変更（4-91 ページ）	

調整 / メンテナンス （4-92 ページ）	カラー調整の実行（4-92 ページ）	
	カラー位置補正 標準（4-93 ページ）	補正チャートの印刷（4-93 ページ）
		マゼンタの補正（4-94 ページ）
		シアンの補正（4-95 ページ）
		イエローの補正（4-95 ページ）
	カラー位置補正 詳細（4-96 ページ）	補正チャートの印刷（4-96 ページ）
		M 12345 3（マゼンタの補正） （4-97 ページ）
		C 12345 3（シアンの補正） （4-98 ページ）
		Y 12345 3（イエローの補正） （4-98 ページ）
	プリンタの再起動（4-99 ページ）	
	サービス（4-99 ページ）	ステータスページの印刷 （4-100 ページ）
		ネットワークステータスページの印刷 （4-100 ページ）
		テストページの印刷（4-100 ページ）
		メンテナンス（4-101 ページ）
		DEV-CLN（4-101 ページ）
		LSU（4-102 ページ）
		ドラム（4-102 ページ）
		高度調整（4-102 ページ）
		MC（4-102 ページ）

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「スリープ」

最後に使用してから 1 分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、4-68 ページの**「スリープ時間」（スリープ（待機）時間の設定）**を参照してください。

自動両面印刷機能について

本製品は、標準で用紙の両面に印刷できる機能を備えています。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙に両面印刷することで、紙の使用量を軽減できます。詳しくは、4-43 ページの**「両面印刷」（両面印刷モードの設定）**を参照してください。

再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム



当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

製品の廃棄について

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



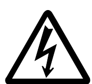
警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



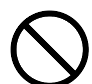
注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

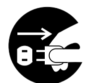
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

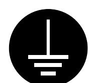
「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。



設置環境について

ご使用いただける環境の範囲は次のとおりです。

- 温度 10 〜 32.5 ℃
- 湿度 15 〜 80%

ただし、外気など周囲の環境条件によっては画像品質が維持できない場合がありますので、室温 16 〜 27 ℃、湿度 36 〜 65 % の範囲で使用することをお勧めいたします。

本製品の最適環境でご使用いただくために、機械設置場所の空調温度を調整していただくようお願いします。また、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷つきやすい床の場合、床材を傷つけるおそれがあります。

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

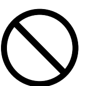


消耗品の取り扱いについて

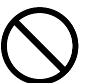


注意

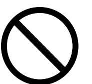
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

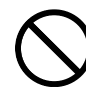


トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- PowerPC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク ® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。
8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。

13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。

14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

OpenSSL ライセンス

以下は英語の原文です。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナル SSLeay ライセンス

以下は英語の原文です。

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: “This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)” The word ‘cryptographic’ can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

A4 でカラー / モノクロともに、1 分間に 26 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります)。

階調モードによる高品位のカラー印刷

1 ピクセル当たりの階調が 4 bpp の高画質モードで印刷できます。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHP フィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

ハードウェア

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

USB メモリスロット

USB メモリをプリンタに装着できます。メモリ内の文書ファイル（PDF、TIFF、JPEG、XPS）を、操作パネルから選択して読み込めます。

ハードウェア拡張スロット

拡張スロットを装備し、ハードディスクをプリンタに追加できます。ハードディスクにオプションフォント、マクロ、フォームなどを保存できます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 500 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 50 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

文書ボックス（ユーザボックス、ジョブボックス）機能

文書ボックスは、文書を保存して後日再利用したり、あるいは複数のユーザで文書を共有したりできます。文書ボックスには、次の種類があります。

- **「ユーザボックス」**

  ユーザボックスは、ユーザが文書を個別に保存し再利用することができます。

- **「ジョブボックス」**

  ジョブボックスは、印刷データを保存し必要なときに印刷できる（ジョブリテンション）機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

PDF ダイレクトプリント機能（KM-NET for Direct Printing）

Adobe Acrobat/Adobe Reader などのアプリケーションを起動しなくても、PDF（Portable Document Format）ファイルを直接印刷できます。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケータ名称を説明しています。

2　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバーのインストールについて説明しています。

3　用紙について

本機で使用できる用紙について説明しています。

4　操作パネル

本機の操作パネルを使った操作について説明しています。

5　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

6　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機に内蔵されたフォントの一覧、本機のインタフェース、環境設定コマンド、オプション品、本機仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の機能の詳細、操作パネルを使った各種の設定・操作、用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

クイックインストレーションガイド

本機の設置手順、用紙の補給、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

セーフティガイド

本機の設置や使用上の注意事項について説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

セーフティガイド（FS-C5250DN）

本機の設置スペース、注意ラベルについて説明しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

プリスクライブコマンド・テクニカルリファレンス（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドの各種機能や制御を、エミュレーションごとに体系的に説明しています。

プリンタードライバー操作手順書（CD-ROM 収録）

プリンタードライバーの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザーを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

KMnet Viewer 操作手順書（CD-ROM 収録）

ネットワークに接続されている各プリントシステムの情報を確認したり、さまざまな設定を行う方法について説明しています。

本書の読みかた

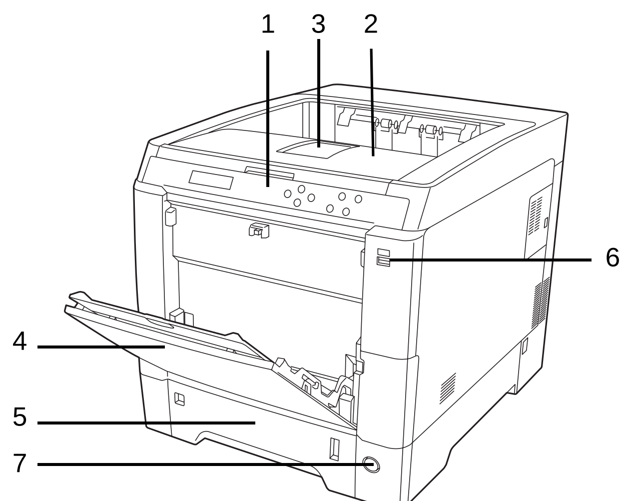
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
[太字]	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**[メニュー]** キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」** が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。 **OK** をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。
注意	けがや機械の故障を防ぐために守っていただきたい事項、およびその対処方法です。	**注意**：定着カバーの内部は高温になっています。やけどの恐れがありますのでご注意ください。

1　各部の名称

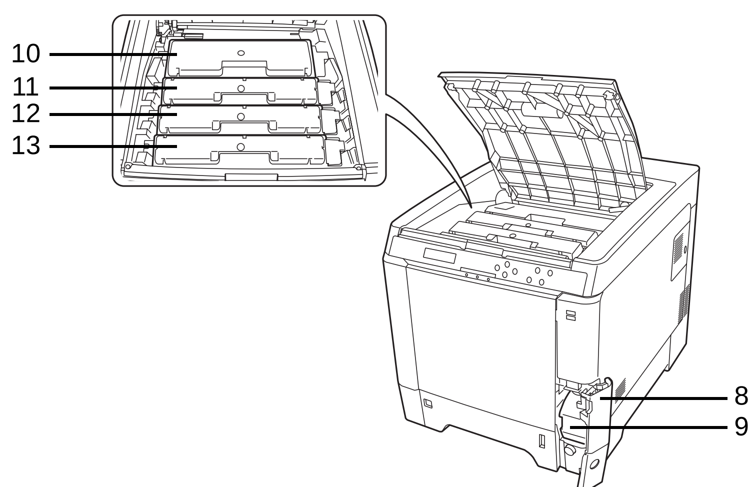
この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面

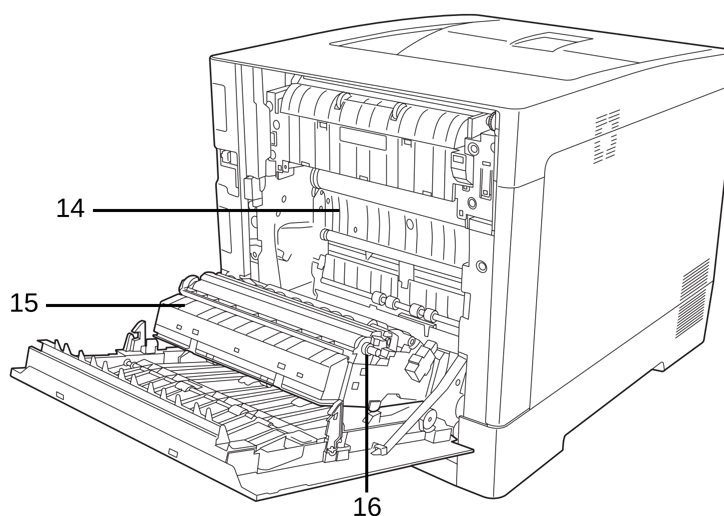


1 操作パネル
2 上トレイ（上カバー）
3 排紙ストッパ
4 手差しトレイ
5 給紙カセット
6 USB メモリスロット
7 電源スイッチ

プリンタ内部



8 廃棄トナーカバー
9 廃棄トナーボックス
10 ブラック（K）のトナーコンテナ
11 マゼンタ（M）のトナーコンテナ
12 シアン（C）のトナーコンテナ
13 イエロー（Y）のトナーコンテナ

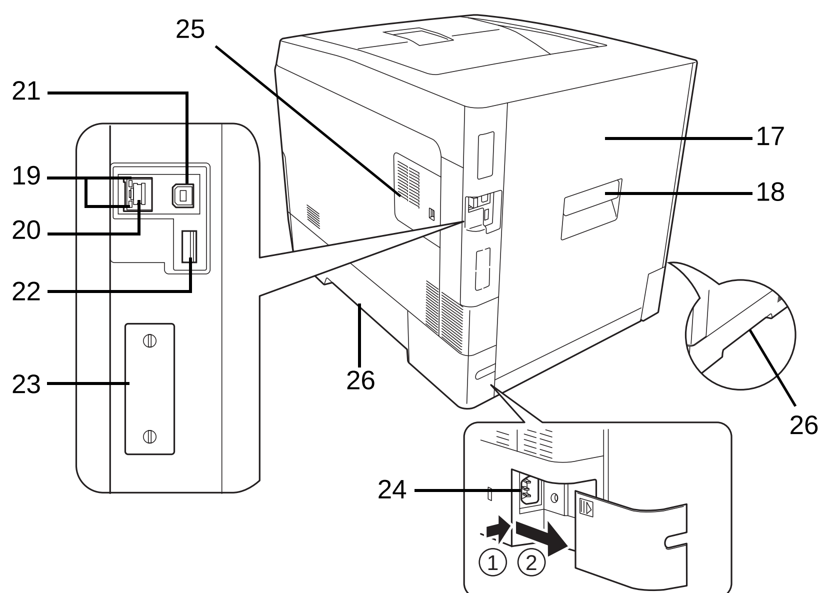


14　搬送ユニット

15　ペーパーランプ

16　両面ユニット

プリンタ背面 / 側面



17　後カバー

18　後カバーレバー

19　ネットワークインジケータ

20　ネットワークインタフェースコネクタ

21　USB インタフェースコネクタ

22　USB メモリスロット

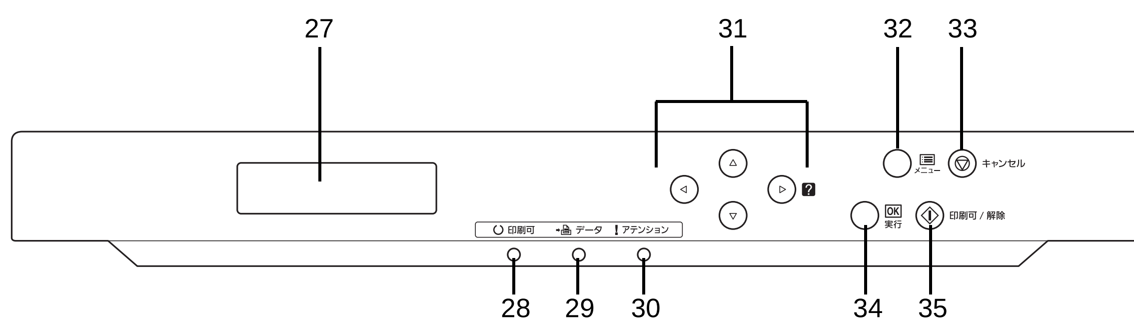
23　ハードウェア拡張スロット

24　電源コードコネクタ

25　右カバー

26　搬送用取っ手

操作パネル



27　メッセージディスプレイ
28　［印刷可］インジケータ
29　［データ］インジケータ
30　［アテンション］インジケータ
31　矢印キー
32　［メニュー］キー
33　［キャンセル］キー
34　［実行］キー
35　［印刷可 / 解除］キー

2　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタードライバーのインストールについて説明します。

ネットワークの設定

本機は TCP/IP、TCP/IP（IPv6）および NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルに対応しております。

設定が必要な項目は下表の通りです。

ご使用の PC、ネットワーク環境に合わせて、本機のネットワーク条件を設定してください。

詳しい設定方法は、4 **操作パネル**の該当ページを参照してください。

参考：COMMAND CENTER を使用すると、PC からネットワーク設定やセキュリティ設定の変更または確認ができ便利です。詳しくは、2-3 ページの **COMMAND CENTER について**を参照してください。

メニュー	サブメニュー			設定
ネットワーク	TCP/IP 設定	TCP/IP		設定する / 設定しない
		IPv4 設定	DHCP	設定する / 設定しない
			Auto-IP	設定する / 設定しない
			IP アドレス	IP アドレス
			サブネットマスク	IP アドレス
			デフォルトゲートウェイ	IP アドレス
			Bonjour	設定する / 設定しない
		IPv6 設定	TCP/IP (IPv6)	設定する / 設定しない
			RA (Stateless)	設定する / 設定しない
			DHCPv6	設定する / 設定しない
セキュリティ	ネットワークセキュリティ	Netware		Off/On フレームタイプ
		AppleTalk		設定する / 設定しない
		IPP		設定する / 設定しない
		SSL 設定	SSL	設定する / 設定しない
			IPP over SSL	設定する / 設定しない
			HTTPS	設定する / 設定しない
		IPSec		設定する / 設定しない

参考：すべてのネットワーク設定が終わったら、プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

ステータスページの印刷

ネットワークの設定後、ステータスページを印刷してください。ステータスページでは、ネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。

ステータスページは、**「レポート印刷」**メニューから**「ステータスページの印刷」**を選択します。

詳しい設定方法は、4-10 ページの**「ステータスページの印刷」（ステータスページの印刷）**の項を参照してください。

COMMAND CENTER について

COMMAND CENTER は、PC から Web ブラウザーを使用してアクセスし、プリントシステムの設定や管理を行うツールです。本機の状態や設定内容の確認、ネットワークやセキュリティの設定変更などができます。



COMMAND CENTER の主な項目

	主な項目
基本	• 時刻設定や表示言語設定などのデバイスの設定 • IPアドレスやDHCP設定などの基本的なネットワークの設定 • 操作パネルロックやインターフェースブロックなどのデバイスのセキュリティ設定 • プロトコルの使用制限や証明書の設定などのネットワークセキュリティの設定 など
プリンタ	• デフォルト印刷解像度や印刷部数などの印刷機能の設定
ジョブ	• ジョブの状態やジョブ履歴の確認
文書ボックス	• 文書ボックスの追加や削除､文書ボックス内の文書の削除などの文書ボックスの設定
詳細	• TCP/IPやNetWareなどのネットワークプロトコルの詳細設定 • 本機の認証設定やLDAPの設定などの管理設定 • SSLやIPSecなどのネットワークセキュリティの詳細設定 など

詳しくは、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**を参照してください。

プリンタードライバーのインストール

インストールガイドに従って本機に PC と電源を接続し、プリンタードライバーをインストールします。プリンタードライバーは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。プリンタードライバーの詳細は、CD-ROM 収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

Windows PC へのインストール

本機を Windows PC に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタードライバーをインストールします。ここでは、Windows 7 にインストールをする例で説明します。

参考：Windows 7/Vista/XP/2000 および Windows Server 2008/2003 にインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

インストール方法は、**高速モード**と**カスタムモード**の 2 種類があります。**高速モード**は、接続されたプリンタを自動的に検出し、必要なソフトウェアをインストールします。**カスタムモード**は、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

1 PC の電源を入れ、Windows を起動します。

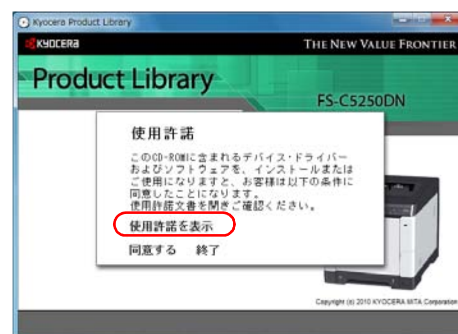
新しいハードウェアの検索ウィザードが表示された場合、**キャンセル**をクリックします。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を、PC の光学ドライブにセットします。Windows 7、Windows Server 2008、Windows Vista の場合、**ユーザアカウント制御**画面が表示されますので、**はい（許可）**をクリックします。

インストールプログラムが起動すると、**メインメニュー**が表示されます。

参考：**ソフトウェアインストールウィザード**が自動で起動しない場合、Windows のエクスプローラーで CD-ROM の内容を表示させ、Setup.exe をダブルクリックしてください。

3 **使用許諾を表示**をクリックして、使用許諾契約をお読みください。**同意する**をクリックします。



4 **ソフトウェアのインストール**をクリックします。

ソフトウェアインストールウィザードが起動します。**次へ**をクリックします。

この後の手順は、Windows の種類と接続方法によって異なる部分があります。該当する手順に進んでください。

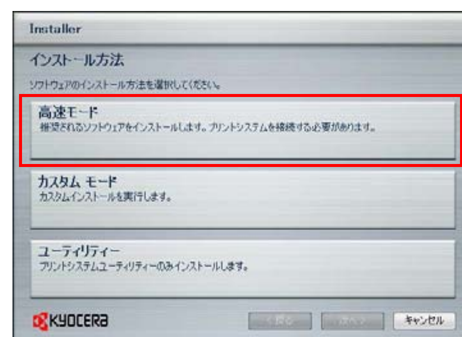
- **高速モード**
- **カスタムモード**



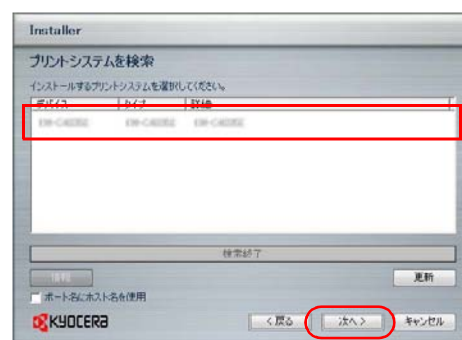
高速モード

高速モードは、電源を入れるとインストーラーが自動的にプリンタを検出します。通常は、**高速モード**を使用します。

1 **インストール方法の選択**画面で、**高速モード**を選択します。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラーがプリンタの検出を行います。プリントシステムが検出されない場合、プリントシステムが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻り、**更新**をクリックしてください。インストール方法については、CD-ROM 収録の**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。



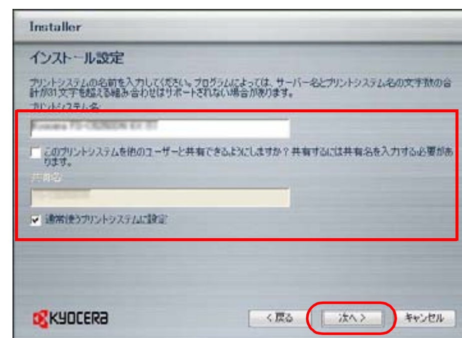
2 インストールするプリントシステムを選択し、**次へ**をクリックします。



参考：Windows 7 または Windows Vista で、プリントシステムが USB 接続され、PC が Web にアクセス可能な環境では、Microsoft Windows Update から認証ドライバーがダウンロードされます。ただし、KX ドライバーの拡張機能を利用できるように、CD からのドライバーインストールを続行することをお勧めします。Windows で、インストール中に**新しいハードウェアの検出ウィザード**ダイアログボックスが開いた場合は、**キャンセル**をクリックします。**ハードウェアのインストール警告**ダイアログボックスが開いたら、**続行**をクリックします。

3　**インストール設定**画面では、プリントシステムの名前をカスタマイズできます。これは、**プリンタ**ウィンドウおよび各アプリケーションのプリンタ一覧に表示される名前です。

プリントシステムを共有するか、または既定のプリンタとして設定するかを指定し、**次へ**をクリックします。



注意：手順 3 は、ネットワーク接続の場合のみ表示されます。USB 接続では表示されません。

4　設定内容を確認する画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

参考：Windows **セキュリティ画面**が表示された場合、**このドライバーソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。

5　**インストールが完了しました**画面が表示されます。**終了**をクリックして**プリンタインストールウィザード**を終了し、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

参考：**ステータスモニターを有効にする**にチェックをすると、ステータスモニターを使用することができます。ステータスモニターについては、2-11 ページの**ステータスモニター**を参照してください。

終了を押した後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、プリントシステムに装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタードライバー操作手順書**の**デバイス設定**を参照してください。

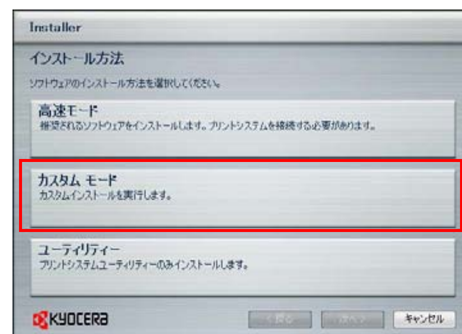
これで、プリンタードライバーのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動します。

カスタムモード

カスタムモードは、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

たとえば、PC にインストールされているフォントを上書きしない時、**カスタムモード**を選択し、**カスタムインストール画面**の**ユーティリティー**タブを選択して、Fonts のチェックを外します。

1　**カスタムモード**を選択します。



2 **インストールウィザード**画面の指示に従い、インストールするソフトウェアパッケージの選択やポートの指定などを行ってください。

詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタードライバー操作手順書**の**カスタムインストール**を参照してください。

Macintosh へのインストール

参考：インストールする前に、次のプリンタ本体の設定を確認してください。

- 4-45 ページの「**エミュレーション**」（**エミュレーションモードの選択**）で「KPDL」または「KPDL(**自動**)」を設定する。
- 4-56 ページの「Bonjour」（Bonjour **の設定**）で「**設定する**」を設定する。

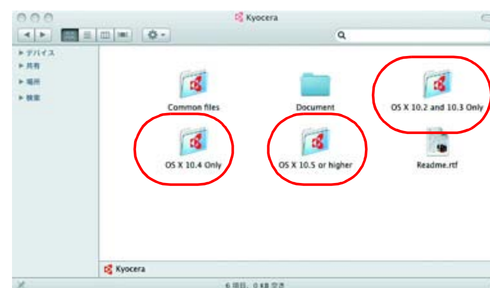
---

1 本機と Macintosh の電源を入れてください。

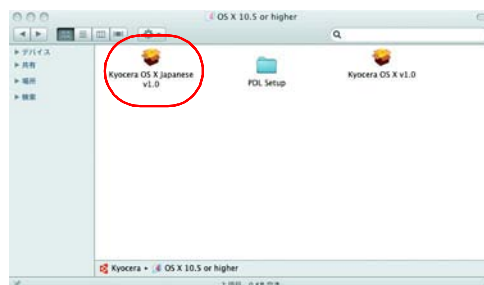
2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.2 and 10.3 only、OS X 10.4 only または OS X 10.5 or higher をダブルクリックしてください。



5 Kyocera OS X Japanese x.x をダブルクリックしてください。



6 プリンタードライバーのインストールプログラムが起動します。



7　インストールプログラムの表示に従って、**インストール先、インストールの種類**を選び、プリンタードライバーをインストールしてください。

参考：インストールの種類では、**標準インストール**の他にインストール内容を指定する**カスタムインストール**を選択することができます。

注意：管理者の名前とパスワード画面では、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

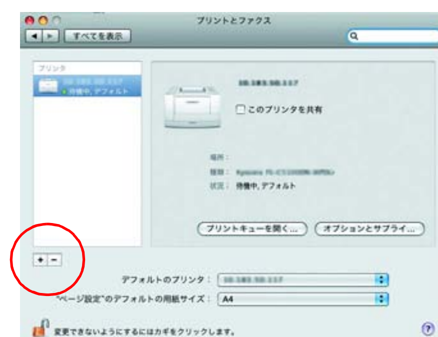
これで、プリンタードライバーがインストールされました。続いて、印刷設定を行います。

IP、AppleTalk または Bonjour で接続する場合、以下の設定が必要になります。USB 接続の場合、自動的にプリンタの認識と接続が行われます。

8　**システム環境設定**画面を開き、**プリントとファックス**をクリックします。



9　インストールしたプリンタードライバーを追加するため、＋をクリックします。



10　IP 接続する場合は IP アイコン、AppleTalk 接続する場合は AppleTalk アイコンをクリックし、IP アドレスとプリンタ名を入力します。



参考：AppleTalk は 10.6 には対応していません。

Bonjour で接続する場合はデフォルトアイコンをクリックし、種類に「Bonjour」が表示されているプリンタを選択します。



11 インストールしたプリンタードライバーを選択し、**追加**をクリックします。

参考：Bonjour で接続した場合は、使用するプリンタードライバーを自動的に選択します。



12 プリンタに設置されているオプションを選択し、**続ける**をクリックします。



13 設定したプリンタが追加され、印刷設定作業は終了です。



アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1 給紙カセットに用紙を入れてください。

2 アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択してください。印刷ダイアログボックスが表示されます。

3 プリンタのリストから印刷するプリンタを選択してください。

4 印刷したい部数を**部数**に入力してください。

5 OK をクリックしてください。印刷が始まります。

参考：プリンタードライバーのその他の機能については、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

ステータスモニター

ステータスモニターは、プリンタの状態を監視し、報告する機能を備えています。また、プリンタードライバーに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。プリンタードライバーをインストールすると、**ステータスモニター**も自動的にインストールされます。

ステータスモニターの起動

プリンタードライバーの**プロパティー**から**印刷設定**ボタンをクリックしてください。**印刷設定**の**拡張機能**タブにある**ステータスモニター**ボタンをクリックすると**ステータスモニター**ダイアログボックスが表示されます。



- **ステータスモニター**：
  印刷時にステータスモニターを起動します。複数台のプリンタで印刷する場合は、その数だけステータスモニターを起動します。
- **ステータスモニターを起動**：
  ステータスモニターを起動します。

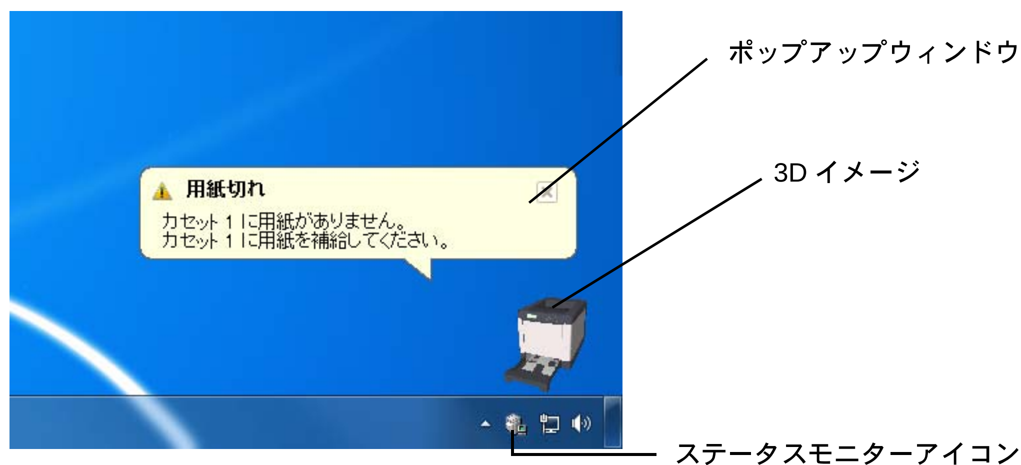
ステータスモニターの終了

ステータスモニターは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：
  タスクバーのステータスモニターアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニター**が終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で 5 分経過すると、**ステータスモニター**が自動的に終了します。

ステータスモニターの構成

ステータスモニターの構成は次のとおりです。



ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3D イメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

3D イメージ

監視対象のプリンタの状態を 3D イメージで表示します。ステータスモニターアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、2-13 ページの**ステータスモニターの設定**を参照してください。

ステータスモニターアイコン

ステータスモニターが起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンタの名称が表示されます。**ステータスモニターアイコン**を右クリックすると、以下のオプション設定ができます。

- **ステータスモニターを表示（ステータスモニターを非表示）**

  ステータスモニターアイコンの表示と非表示を切り替えます。

- **プリントシステムの設定**

  TCP/IP ネットワーク環境で接続し、IP アドレスを所有している場合、Web ブラウザーを使って COMMAND CENTER にアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。詳しくは、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**を参照してください。

- **ステータスモニターの設定**

  ステータスモニターの**音声通知**と**表示**の設定を行います。詳しくは、2-13 ページの**ステータスモニターの設定**を参照してください。

- www.kyoceramita.com

  京セラミタホームページを開きます。(京セラミタの日本語 Web サイトは、www.kyoceramita.co.jp です。)

- **アプリケーションの終了**

  ステータスモニターが終了します。

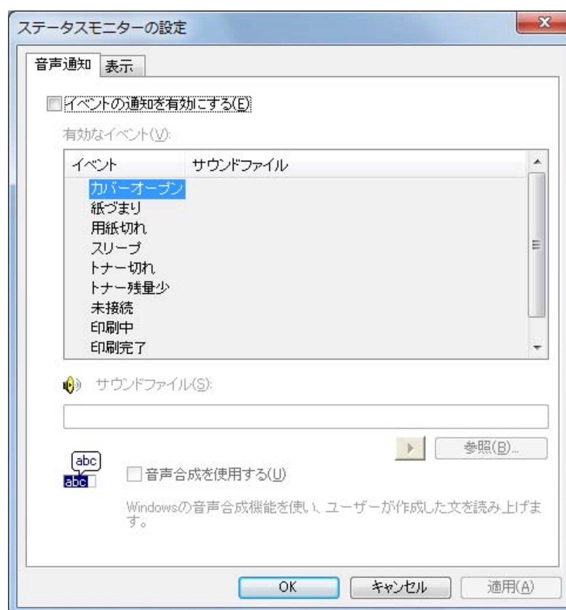
ステータスモニターの設定

ステータスモニターアイコンを右クリックして表示されるメニューから **ステータスモニターの設定**を選択すると、2 つのタブで構成されるウィンドウが表示されます。このタブからステータスモニターの各種設定ができます。

音声通知タブ

音声通知タブでは、次のような設定ができます。

重要：**音声通知**タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカーなど音声を再生する環境が必要です。



イベントの通知を有効にする

イベントリストに該当するエラーが発生した場合、音声で通知を行うかどうかを設定します。

サウンドファイル又は読み上げるテキスト

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**ファイルの参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP 以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

音声通知タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 **イベントの通知を有効にする**を選択します。

2 **有効なイベント**リストから、イベントを選択します。

3 サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

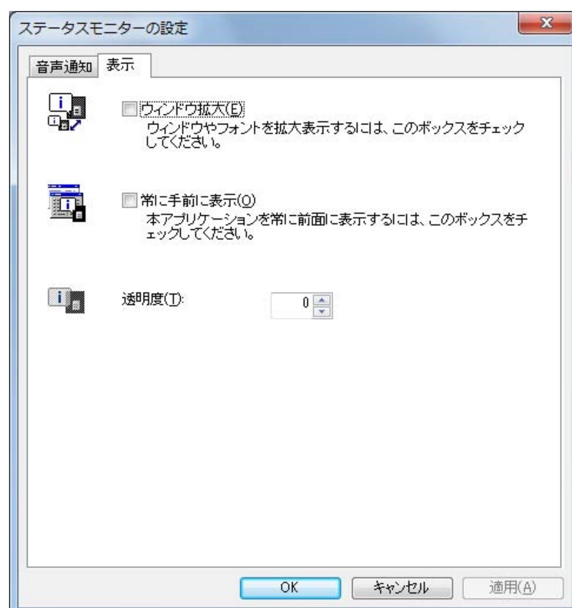
参考：使用できるファイルの形式は WAV ファイルです。

音声合成を使用するを選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。

4 **再生** をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

表示タブ

表示タブでは、次のような設定ができます。



ウィンドウ拡大

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**のサイズやフォントを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を常にウィンドウの前面に配置します。複数の**ステータスモニター**でこの設定が有効になっている場合、**3D イメージ**は重ねて表示されます。

透明度

3D イメージと**ポップアップウィンドウ**を半透明なウィンドウとして表示します。0%（透過なし）から 50% まで設定できます。

ソフトウェアのアンインストール（Windows PC の場合）

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

注意：Macintosh の場合、PPD（PostScript Printer Description）ファイルを使用して印刷設定を行うため、CD-ROM（Product Library）を使用してアンインストールすることはできません。

1. すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。
2. 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。
3. プリンタードライバーのインストールと同じ手順で進み、**ソフトウェアの削除**をクリックします。**ソフトウェア アンインストール**ウィザードが表示されます。
4. 削除したいソフトウェアを選択します。
5. **アンインストール**をクリックします。

   参考：KMnet Viewer や、KM-NET for Direct Printing をインストールしているときは、個別のアンインストーラーが別途起動しますので、画面の指示に従い、それぞれのアンストール作業を行ってください。

   ソフトウェアの削除が開始されます。
6. アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。
7. システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

参考：プログラムメニューからもアンインストールすることができます。
（Windows XP の場合）
スタート→**すべてのプログラム**→ Kyocera →**プロダクトライブラリーのアンインストール**を順にクリックして、アンインストールプログラムを起動し、ソフトウェアのアンインストールを行ってください。

3　用紙について

この章では次の内容について説明します。

重要：本機にインクジェットプリンタ用の用紙を使用しないでください。故障の原因になります。

用紙の基本仕様

本機は、ページプリンタおよび乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）に印刷できるように設計してありますが、本章の制限の範囲内で様々な用紙に印刷できます。

プリンタに適さない用紙を使用すると、紙づまりになったり紙にシワがよったりするので、用紙の選択は慎重に行ってください。

重要：再生紙は**用紙の基本仕様**のうち、保水度やパルプ含有率などの基本条件が本機に使用するために必要な仕様を満たさないものがあります。このため、再生紙は少量をご購入になってサンプル印刷を行ってください。印刷結果が良好で、紙粉が極端に多くないものを選んでご使用ください。

規格に合わない用紙を使用して生じた問題については、当社は責任を負いかねます。

使用できる用紙

通常のページプリンタまたは乾式複写機用のコピー用紙（普通紙）を使用してください。

用紙の品質は、プリンタの印刷品質にも影響を与えます。質の悪い用紙を使うと満足のできる結果が得られません。

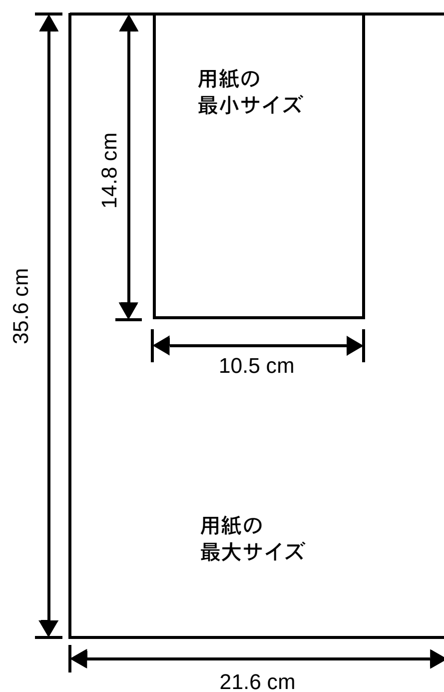
用紙の基本仕様

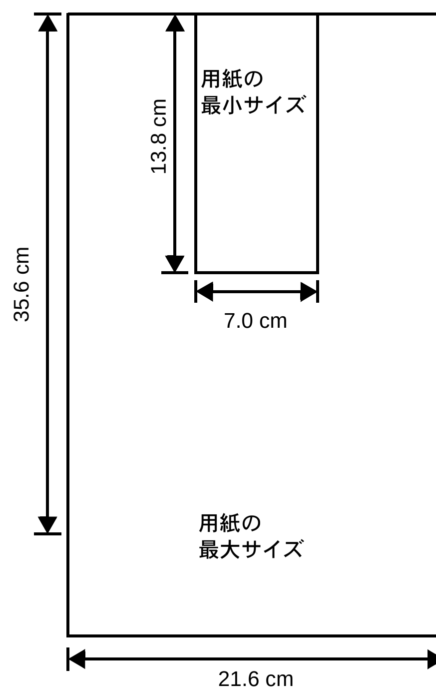
次の表は、本機で使用できる用紙の基本的な仕様です。詳細は以降のページで説明します。

項目	**仕様**
重さ	給紙カセット , PF-520（オプション）: 60 〜 163 g/m² 手差しトレイ , PF-530（オプション）: 60 〜 220 g/m²
厚さ	0.086 〜 0.110 mm
寸法	3-4 ページの**用紙サイズ**を参照してください。
寸法誤差	±0.7 mm
四隅の角度	90 ±0.2 °
保水度	4 〜 6 %
繊維の方向	縦目（給紙方向）
パルプ含有率	80 % 以上

用紙の最大サイズと最小サイズ

用紙の最大サイズと最小サイズは次のとおりです。また、OHP フィルム、ラベル用紙、薄い用紙、はがき、封筒、コート紙、厚紙に印刷する場合、手差しトレイから給紙してください。





適正な用紙の選択

ここでは、用紙を選ぶ際のガイドラインについて説明します。

ガイドライン

紙の状態

角の折れているもの、全体が丸まっているもの、汚れているもの、破れているもの、または繊維が毛羽立っていたり、表面が粗かったり、ちぎれやすい用紙は避けてください。このような用紙を使用すると仕上がりが悪くなるだけでなく、用紙送りがうまくいかないために紙づまりを起こし、プリンタの寿命を縮めることになりかねません。用紙表面が滑らかで均一なものを選んでください。

用紙の成分

アート紙のようなコーティング加工された用紙や、表面処理された用紙、プラスチックやカーボンを含む用紙は使用しないでください。そのような用紙は、熱により有害なガスを発生することがあり、またドラムを傷めます。

普通紙は、少なくとも 80 % 以上のパルプを含むものにしてください。コットンやその他の繊維が用紙成分の 20 % を超えないものをご使用ください。

用紙サイズ

次の表に記載したサイズの用紙が給紙カセット（本体）または手差しトレイで使用できます。詳細およびペーパーフィーダ（オプション：PF-520、PF-530）の用紙サイズについては、4-35 ページの**「カセット （1 〜 4）用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）**を参照してください。

寸法誤差の許容範囲は縦横ともに ±0.7 mm です。用紙四隅の角度は、90 ° ±0.2 ° のものを使用してください。

手差しトレイのみ	サイズ	給紙カセット（本体） または手差しトレイ	サイズ
Envelope Monarch	3-7/8 × 7-1/2 インチ	Legal	8-1/2 × 14 インチ
Envelope #10	4-1/8 × 9-1/2 インチ	Letter	8-1/2 × 11 インチ
Envelope #9	3-7/8 × 8-7/8 インチ	Executive	7-1/4 × 10-1/2 インチ
Envelope #6	3-5/8 × 6-1/2 インチ	Folio	21 × 33 センチ
Envelope DL	11 × 22 センチ	Envelope C5	16.2 × 22.9 センチ
JIS B6	12.8 × 18.2 センチ	ISO A6	10.5× 14.8 センチ
はがき	10 × 14.8 センチ	ISO B5	17.6 × 25 センチ
往復はがき	14.8 × 20 センチ	ISO A4	21 × 29.7 センチ
洋形 2 号	11.4 × 16.2 センチ	ISO A5	14.8 × 21 センチ
洋形 4 号	10.5 × 23.5 センチ	JIS B5	18.2 × 25.7 センチ
		Oficio II	8-1/2 × 13 インチ
		16K	19.7 × 27.3 センチ
		Statement	5-1/2 × 8-1/2 インチ
カスタム	給紙カセット : 10.5 × 14.8 〜 21.6 × 35.6 センチ 手差しトレイ : 7.0 × 13.8 〜 21.6 × 35.6 センチ		

用紙の特性

滑らかさ

用紙表面は滑らかで均一であることが重要ですが、コーティングされているものは使用しないでください。滑らか過ぎる用紙を使うと、同時に複数枚の用紙が送られて、紙づまりの原因になります。

基本重量

基本重量とは、用紙 1 枚を 1 m² の大きさに換算した時の重量です。重すぎたり軽すぎたりする用紙は、用紙送りの失敗や紙づまりの原因となるばかりでなく、プリンタの消耗の原因にもなります。用紙の重さ、つまり紙の厚さが一定していないと、同時に複数枚の用紙を給紙してしまったり、トナーの定着不良によって印刷がぼやけるなどの印刷品質の問題を引き起こすことがあります。

用紙の適正な重さは給紙カセットで 60 〜 163 g/m²、手差しトレイで 60 〜 220 g/m² の範囲です。

厚さ

ページプリンタで使用する用紙は極端に厚いものや、または薄いものは避けてください。同時に複数枚の用紙が給紙されたり、紙づまりが頻繁に起きたりする場合は紙が薄すぎることが考えられます。反対に紙が厚すぎる場合も、紙づまりが起こることがあります。適正な用紙の厚さは 0.086 〜 0.110 mm の範囲です。

保水度

用紙の保水度は、乾燥度に対する湿り気のパーセントで表されます。湿り気は紙送りや静電気の発生状況、トナーの定着性、定着後のカールなどに影響を与えます。

用紙の保水度は室内の湿度によって変わります。室内の湿度が高すぎて紙が湿り気を帯びると、紙の端が伸びて波打つことがあります。逆に湿度が低すぎて紙に極端に湿り気がなくなると、用紙の端が縮んでかさかさになり、コントラストの弱い印刷になります。

波打ったり乾燥していると、紙送りにずれが起きることがあります。用紙の保水度は 4 〜 6 % の範囲に収まるようにしてください。

保水度を正しいレベルで維持するために、次の点に留意してください。

- 風通しのよい低湿の場所に保管してください。
- 未開封のまま水平な状態で保管してください。開封後すぐ使用しない紙は、もう一度密封してください。
- 用紙は購入時の箱や梱包紙に封をして保管してください。箱の下には台などを置いて、床から離してください。特に梅雨時の板張りやコンクリート張りの床からは十分離してください。
- 長時間放置した用紙は、少なくとも 48 時間は正しいレベルの保水度を満たしてからご使用ください。
- 熱、日光、湿気にさらされる場所に紙を放置しないでください。

参考：コート紙を使用する場合、湿度の高い環境では複数の用紙が貼り付くことがあります。

繊維の方向

用紙が製造されるとき、用紙の長さに対して紙の繊維が垂直（縦目）になるようにカットされているものと、用紙の幅に対して繊維が垂直（横目）になるようにカットされているものがあります。横目の用紙はプリンタの給紙時に問題を起こす原因になりますので、用紙は縦目のものをお使いください。

その他の仕様

多孔性

紙の繊維の密度を表します。

硬さ

柔らかすぎる紙は、プリンタ内部で折れ曲がりやすく紙づまりの原因になります。

カール

ほとんどの用紙は、開封した状態で放置しておくとどちらかの方向へ自然にカールして丸まる性質を持っています。

静電気

トナーを付着させるために、印刷の過程で用紙は静電気を帯びます。この静電気がすみやかに放電される用紙を選んでください。

用紙の白さ

印刷されたページのコントラストは使用した用紙の白さによって変わります。より白い用紙を使用したほうがシャープで鮮明な印刷がえられます。

品質について

サイズの不揃い、角がきちんとされていない、粗雑な裁断面、切りそこなってつながっている用紙、角や端のつぶれなどが原因でプリンタが正しく機能しないことがあります。特にご自分で裁断された用紙を使用する場合はご注意ください。

梱包について

きちんと梱包され、さらに箱に詰められている紙をお選びください。梱包紙は内面が防湿用にコーティングされているものが最良です。

参考：湿気を帯びた用紙を使用すると、上トレイ付近から湯気が出る場合がありますが、そのまま印刷を続けても問題はありません。

特殊処理

次のような処理をほどこした用紙については、基本仕様を満たす用紙であっても使用しないようお勧めします。使用される場合は、多くの量を購入される前にサンプル印刷を行ってください。

- つやのある用紙
- 透かしの入った用紙
- 表面に凹凸のある用紙
- ミシン目の入った用紙

特殊な用紙

ここでは、普通紙以外の特殊な用紙に印刷する場合について説明します。

本機には、次のような特殊な用紙を使用できます。次にしたがって用紙種類を設定してください。

用紙	用紙種類設定
薄い用紙（60 ～ 64 g/m²）	薄紙
厚い用紙（105 ～ 220 g/m²）	厚紙
OHP フィルム	OHP フィルム
はがき	はがき
封筒	封筒
ラベル用紙	ラベル紙
再生紙	再生紙
カラー紙	カラー紙
プレ印刷用紙	プレプリント
ボンド紙	ボンド紙
レターヘッド	レターヘッド
パンチ済み用紙	パンチ済み紙
上質紙	上質紙
加工紙（コート紙、その他の加工紙）	加工紙
カスタム	カスタム（1 ～ 8）

以上の用紙を使用するときはコピー用またはページプリンタ用として指定されているものをお使いください。また、カラー紙と再生紙以外は手差しトレイから給紙してください。詳細については、4-42 ページの「給紙元」（給紙元の選択）を参照してください。

特殊な用紙の選択

特殊用紙は次で示す条件を満たすものであれば本機で使用することが可能ですが、これらの用紙は構造および品質に大きなばらつきがあるために、規定紙よりも印刷中に問題が発生する可能性が高くなります。特殊用紙はサンプル用紙をプリンタで印刷してみて、満足のいく仕上がりとなるかを確認してからご購入ください。主な特殊紙について、印刷時の注意について次で説明します。印刷中に、湿気などが特殊紙に与える影響が原因で、機械または操作員に被害が生じても当社は一切の責任を負いかねます。

OHP フィルム

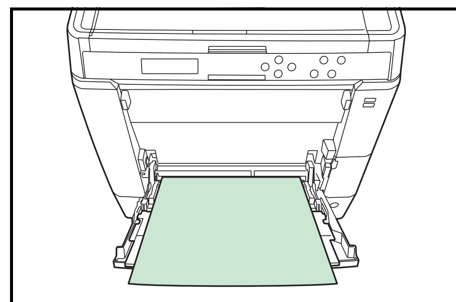
OHP フィルムは、印刷中の定着熱に耐えるものである必要があります。次の製品をお勧めします。

3M CG3700（Letter, A4）

次の表は、本機で使用できる OHP フィルムの条件です。

項目	仕様
耐熱性	最低 190 ℃までの熱に耐えること。
厚さ	0.100 ～ 0.110 mm

項目	仕様
材質	ポリエステル
サイズ誤差許容範囲	±0.7 mm
四隅の角度	90° ±0.2°



トラブルを避けるために、OHP フィルムは手差しトレイから 1 枚ずつ給紙してください。その際、必ず縦に（用紙の長手方向をプリンタに向けて）セットしてください。また、OHP フィルムの裁断面にバリがある場合、給紙不良の原因になります。バリを取り除くか、表裏を逆にする、あるいは前後を入れ替えてセットしてください。

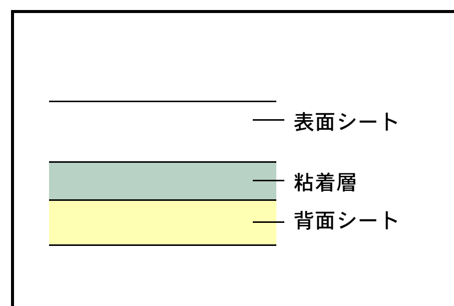
OHP フィルムが頻繁に紙づまりを起こす場合は、排紙される際に OHP フィルムの先を引いてください。

ラベル用紙

ラベル用紙は、手差しトレイもしくはペーパーフィーダ PF-530（オプション）から給紙してください。

ラベル用紙を選択する際は、糊がプリンタのどこにも触れないことや、ラベルが台紙から容易にはがれないことなどに注意してください。転写ベルトやローラ類に糊が付着したり、はがれたラベルがプリンタ内に残ると故障の原因になります。

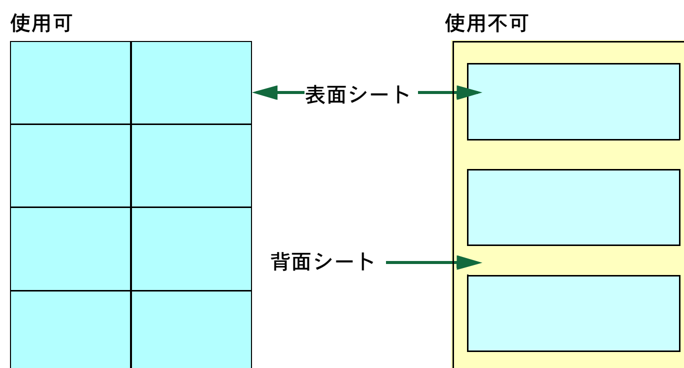
参考：ラベル用紙での印刷の場合は、その印刷品質やトラブル発生の可能性などについては、お客様ご自身の責任で行ってください。



ラベル用紙は、図のような 3 層からなる構造をしています。粘着層はプリンタ内部で加わる力による影響を受けやすい素材でできています。背面シートはラベルが使用されるまで表面シートを保持しています。このように構造が複雑なため、ラベル用紙はトラブルが発生しがちです。

ラベル用紙の表面は、表面シートで隙間なく完全に覆われていなくてはなりません。ラベルの間に隙間のあるものはラベルがはがれやすく、大きな故障の原因となります。

ラベル用紙には、用紙の端を完全に覆うため、表面シートに広いマージンを設けているものがあります。このような用紙をお使いの場合、印刷が終了するまで、このマージン部分を背面シートからはがさないでください。



次の仕様に合ったラベル用紙を選んでください。

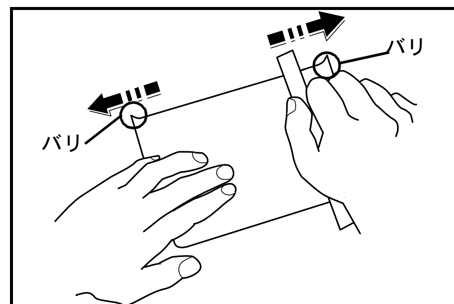
項目	仕様
表面シートの重さ	44 〜 74 g/m²
基本重量（用紙全体の重さ）	104 〜 151 g/m²
表面シートの厚さ	0.086 〜 0.107 mm
用紙全体の厚さ	0.115 〜 0.145 mm
保水度	4 〜 6 %（混合）

はがき

はがきは、さばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。はがきに反りがある場合は、まっすぐに直してからセットしてください。反りがあるまま印刷を行うと、紙づまりの原因になります。

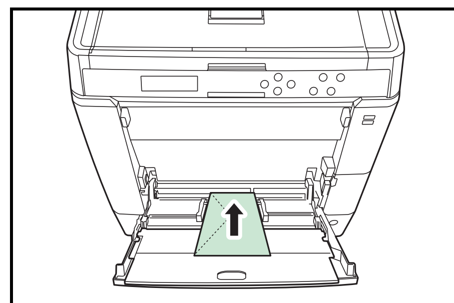
往復はがきに印刷する場合は、折り目のないものを使用してください。

また、はがきによっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は、はがきを平らなところに置き、定規のようなもので軽く 1 〜 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。



封筒

封筒は印刷面を上にして、手差しトレイもしくはペーパーフィーダ PF-530（オプション）から給紙してください。封筒を頻繁に印刷する場合は、ペーパーフィーダ PF-530（オプション）をお勧めします。

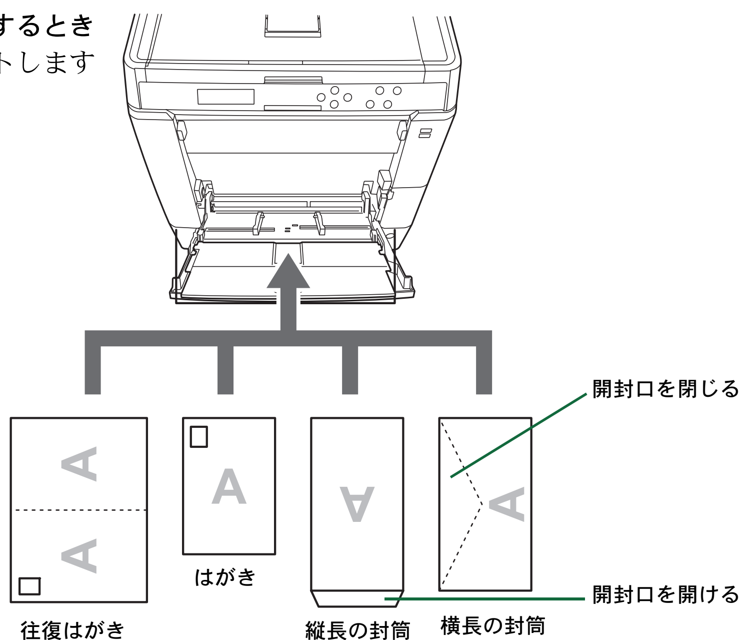


封筒は構造上、表面全体に均一な印刷ができない場合があります。特に薄手の封筒の場合は、プリンタを通り抜ける間にシワになることがあります。封筒を購入する前に、その封筒での印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。封筒は長時間放置しておくとシワが発生することがあります。使用する直前に開封してください。

さらに、次の点に留意してください。

- 糊が露出している封筒はどのような封筒でも使用できません。たとえ露出していなくても、紙をはがすと糊が現れるワンタッチ式のタイプもご使用になれません。糊をカバーしている小さな台紙が、プリンタ内部ではがれ落ちると大きな故障の原因となります。
- 封筒に特殊加工のあるタイプも使用できません。紐を巻き付ける丸い鳩目の打ってあるものや、窓の開いているもの、窓部にフィルム加工がされているものなどは使用できません。
- 紙づまりが起きる場合は、一度にセットする封筒の枚数を少なくしてみてください。
- 複数の封筒を印刷する際は、紙づまりを避けるため上トレイに 10 枚以上残らないようご注意ください。

封筒、はがきをセットするとき
印刷面を上にしてセットします

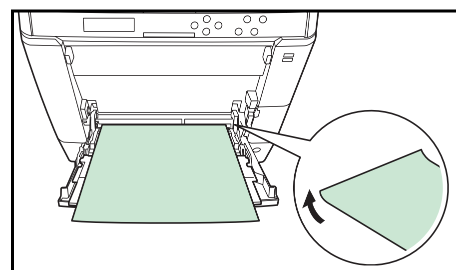


参考：往復はがきは折られていないものをセットしてください。

厚い用紙

厚い用紙はさばいて端を揃えてから、手差しトレイにセットしてください。用紙によっては、裏面にバリ（紙を裁断した際にできる返し）があるものがあります。その場合は用紙を平らなところに置き、3-10 ページの**はがき**と同様に定規のようなもので軽く 1 ～ 2 回こするようにして、バリを取り除いてください。バリのあるまま印刷を行うと紙づまりの原因になります。

参考：バリを取り除いても給紙されない場合は、図のように用紙の先端を数ミリ上にそらせてから手差しトレイにセットしてください。



カラー紙

カラー紙は 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。さらに、用紙に含まれている色素は印刷中の熱（最高 200 ℃）に耐えるものでなければなりません。

参考：カラー紙を頻繁に印刷する場合は、ペーパーフィーダ PF-530（オプション）をお勧めします。

プレ印刷用紙

印刷済み用紙は 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。着色に使われているインクはプリンタでの印刷中の熱に耐えられるもので、シリコンオイルの影響を受けないものであることが必要です。カレンダーなどに使われる表面加工を施してある紙は使用しないでください。

再生紙

再生紙は、用紙の白さ以外の項目が 3-2 ページの**用紙の基本仕様**を満たすものでなければなりません。

参考：再生紙を購入する前に、印刷が満足いくものであるかをサンプル印刷で確認してください。

コート紙

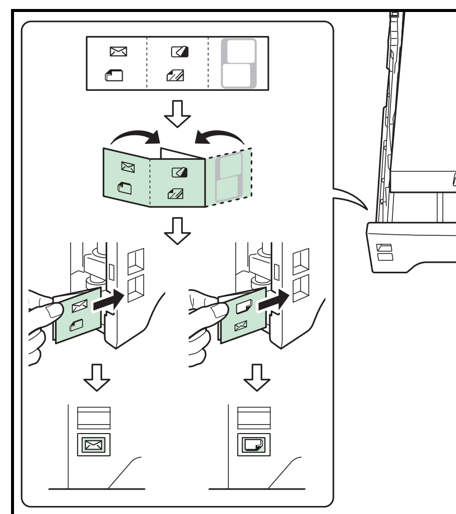
コート紙は、原紙の表面をコーティングすることによって、普通紙よりもよい印刷品質を得ることができる用紙です。高品位の印刷用紙として利用されています。

上質紙あるいは中質紙の表面に特殊な薬品を塗布し、表面を滑らかにすることによって、インクの乗りをよくしています。薬品を塗布する面は表裏両面の場合もあれば、片面のみの場合もあります。塗布された面は少し光沢が出ます。

注意：コート紙を湿度の高い環境で印刷すると、重なって給紙されることがありますので、高湿度にならないようにしてください。

用紙種類表示シート、ペーパーフィーダ PF-530（オプション）

オプションのペーパーフィーダ PF-530 で特殊な用紙を使用する場合、付属の用紙種類シートを三つ折りにし、使用する用紙をおもての上側にしてカセットのフォルダに差し込んでください。



：封筒を使用するとき

：厚紙を使用するとき

：ラベル紙を使用するとき

：コート紙を使用するとき

（空白のシート）は名称や記号を自由に記入して使用してください。シートの下側は、上下を逆にして記入します。

4　操作パネル

この章では、操作パネルの使用方法を説明します。操作パネルでの設定は、お使いの環境に合わせた初期設定を行うときに使用します。通常は、アプリケーションソフトからのプリンタードライバーによる設定が優先されます。

プリンタの各種設定は、操作パネルやプリンタードライバーの他に COMMAND CENTER や他のユーティリティーを使用することにより、リモートで行うことも可能です。
プリンタユーティリティーは、プリンタ付属の CD-ROM からインストールできます。

メッセージディスプレイ

メッセージディスプレイには、プリンタの各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

ステータス情報

次のメッセージは、通常使用時の状態（ステータス）を表示するメッセージです。

メッセージ表示	意味
Self test	電源投入後のプリンタの自己診断中です。
しばらく お待ちください	プリンタはウォーミングアップ中です。印刷はできません。最初にプリンタの電源を入れた際は、このメッセージがしばらく表示されます。
お待ちください （カセット準備中）	オプションのペーパーフィーダ（PF-530）で、コート紙（**加工紙**）の印刷準備中に表示されます。
お待ちください （トナー補給中）	トナーの補給中です。写真など多くのトナーを消費するデータを連続して印刷すると、このメッセージが表示されることがあります。
お待ちください （カラー調整中）	自動キャリブレーションシステムにより、カラーを調整中です。操作パネルからこの機能を実行するには、4-92 ページ**「カラー調整の実行」**（カラー調整）を参照してください。
お待ちください （清掃中）	清掃中です。メインチャージャを清掃中に表示されます。
お待ちください （冷却中）	冷却中です。
プリントできます	印刷できます。
データ処理中です	プリンタは印刷中か、データ処理中です。または、USB メモリやハードディスクのデータを読み込んでいます。
待機中です	プリンタはスリープモード（省電力モード）です。印刷データを受信すると、スリープモードから復帰し、ウォーミングアップ後に印刷できる状態になります。 プリンタがスリープモードへ移行するまでの時間は、4-68 ページ**「スリープ時間」**（スリープ（待機）時間の設定）を参照してください。
データキャンセル中	印刷データをキャンセルしています。印刷データのキャンセルの方法は、4-4 ページキーを参照してください。

エラーコード

メッセージディスプレイには、障害が発生した場合のエラーコードも表示されます。エラーコードについては、**6 困ったときは**を参照してください。

メッセージディスプレイ内の表示



インジケータの表示

インジケータとその意味を説明します。

表示	表示
印刷可	**点滅：** 解除可能なエラーが発生しています。6　困ったときはの**エラーメッセージ**を参照してエラーの処理をしてください。 **点灯：** プリンタはオンライン状態です。受信した印刷データは印刷されます。 **消灯：** 印刷の手動停止、または障害発生による自動停止によってプリンタはオフライン状態です。印刷データの受信は可能です。障害発生時による自動停止の場合は、6　困ったときはの**エラーメッセージ**を参照してください。
データ	**点滅：** プリンタは印刷データを受信しています。 **点灯：** 印刷処理中、またはハードディスク、USB メモリや RAM ディスクにデータをアクセス中です。
アテンション	**点滅：**「**しばらく お待ちください**」が表示されている場合、プリンタは準備中です。 その他は、給紙カセット内の用紙がないなどの理由で印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処理を行ってください。詳しくは、6　困ったときはの**エラーメッセージ**を参照してください。 **点灯：** エラーが発生して印刷できません。メッセージディスプレイの表示を確認して必要な処置を行ってください。詳しくは、6　困ったときはの**エラーメッセージ**を参照してください。

キー

各キーの機能は次のとおりです。複数の機能を持っています。

印刷可 / 解除キー



- 特定のエラー解除を行います。
- 「スリープ」からの復帰を行います。

キャンセルキー



- 実行中の印刷を中止します。
- ブザーが鳴ったときに、ブザーを止めます。
- 入力した数値をリセットしたり、設定を途中で中止します。

印刷のキャンセルのしかた

1 メッセージディスプレイに**「データ処理中です」**が表示されていることを確認して、[**キャンセル**] キーを押します。

「印刷のキャンセル ?」が表示され、現在のジョブ名が表示されます。

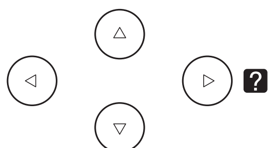
2 [△] または [▽] キーで中止したいジョブ名を選択して、[**実行**] キーを押してください。メッセージディスプレイに**「データキャンセル中」**が表示され、現在印刷中のページが出力された後、印刷を中止します。

メニューキー



- モード選択メニューからプリンタの初期設定を変更するときや設定を終了するときに押します。

矢印キー



- 目的のメニューを表示させるときや、設定値の変更を行うときに使用します。[△][▽]キーでメニューを切り換えて、[◁][▷]キーでサブメニューに移ります。
- 紙づまりなどが発生したときに［?］キーを押すと、メッセージディスプレイにオンラインヘルプメッセージを表示します。オンラインヘルプを中止するときは、もう一度押します。
- メッセージディスプレイに**「代用給紙しますか ?」**が表示された際に、[△][▽]キーで代用する給紙元を選択します。

実行キー



- モード選択メニューで設定した内容を確定します。
- メッセージディスプレイに**「代用給紙しますか ?」**が表示された際に、給紙元を確定します。

操作パネルの使いかた

ここでは、モード選択メニューについて説明します。

操作パネルの［**メニュー**］キーを使って、印刷ページ数やエミュレーションなどプリンタの環境を設定、変更できます。各設定はプリンタのメッセージディスプレイが「**プリントできます**」（または「**データ処理中です**」など）の表示のときに行えます。

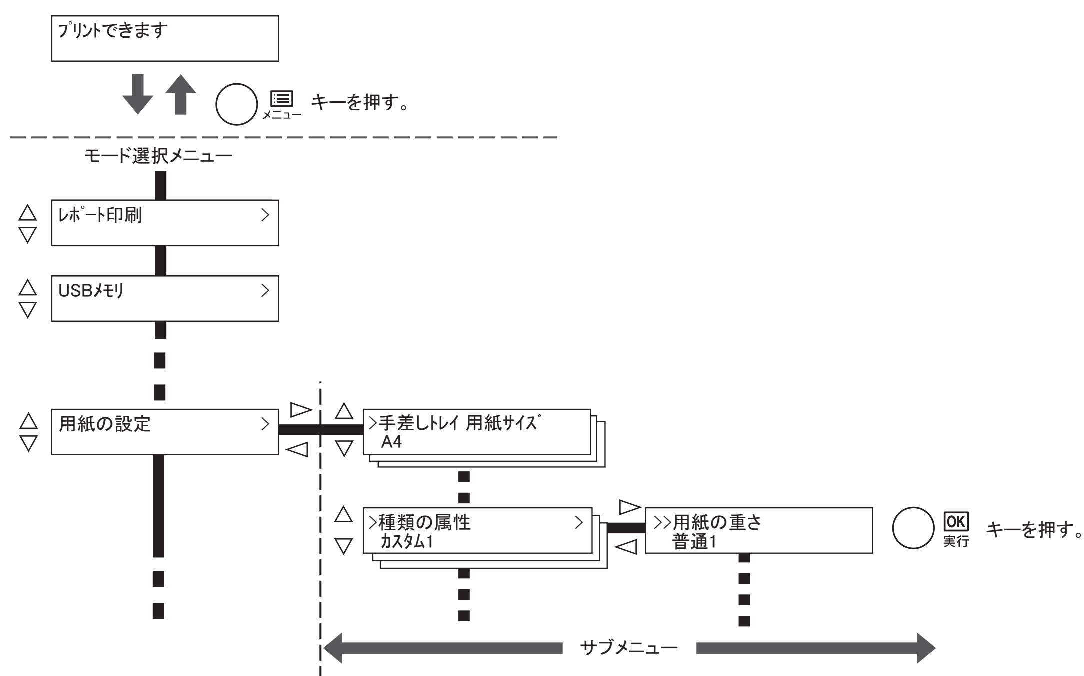
参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタードライバーからの設定が優先されます。

メニュー選択の基本操作

モード選択メニューへの入りかた

プリンタが「**プリントできます**」表示状態のときに［**メニュー**］キーを押してください。

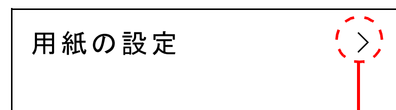
モード選択メニューが表示されます。



メニューの選択

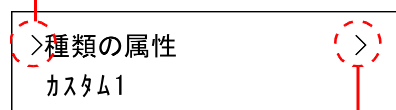
モード選択メニューは階層構造（ツリー構造）をしています。［△］または［▽］キーを押して、目的のメニューを表示させます。

- 選択したメニューにサブメニューがある場合は、メニュー名に続いて「>」が表示されます。

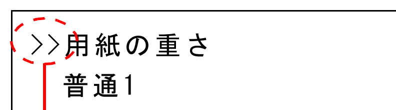


- サブメニュー名の前には「>」が表示されます。

  さらにサブメニューがある場合は、サブメニュー名に続いて「>」が表示されます。さらに下の階層へ移動するときは［▷］を押してください。
  上の階層に戻るときは［◁］を押してください。



  2 階層目のサブメニュー名の前には「>>」が表示されます。



メニューの設定

目的のメニューを選択してから［**実行**］キーを押してください。そのメニューの設定操作に入りますので、［△］または［▽］キーを押して希望の表示を選択し、［**実行**］キーを押して確定してください。

メニュー操作の中断

メニュー操作中に［**メニュー**］キーを押すと、「**プリントできます**」表示状態に戻ります。

参考：操作パネルの設定よりも、アプリケーションやプリンタードライバーからの設定が優先されます。

モード選択メニューの設定方法

ここではモード選択メニューから行う設定手順について、各メニューごとに説明します。

1 **「プリントできます」**、**「しばらく お待ちください」**、**「待機中です」**、**「データ処理中です」**と表示されているときに［**メニュー**］キーを押すと、モード選択メニューが表示されます。（例：**「レポート印刷」**）

ﾚﾎﾟｰﾄ印刷 >

2 ［△］または［▽］キーを押すと、以下のモード選択メニューが循環して表示されます。

- **「レポート印刷」**（レポート印刷の選択）
- **「USB メモリ」**（USB メモリの選択）
- **「ユーザボックス」**（ユーザボックスの選択）
- **「ジョブボックス」**（ジョブボックスの選択）
- **「カウンタ」**（カウンタ値の選択）
- **「用紙の設定」**（用紙の設定）
- **「印刷設定」**（印刷の設定）
- **「ネットワーク」**（ネットワークの設定）
- **「デバイス全般」**（デバイス全般の選択 • 設定）
- **「セキュリティ」**（セキュリティ機能の設定）
- **「部門管理」**（部門管理の選択 • 設定）
- **「管理者」**（管理者の設定）
- **「調整 / メンテナンス」**（調整 / メンテナンスの選択 • 設定）

注意：選択メニュー**の「ユーザボックス」**はハードディスク装着時に表示され、**「ジョブボックス」**は、ハードディスク装着もしくは RAM ディスク設定時に表示されます。詳しくは、4-17 ページ**「ユーザボックス」**（ユーザボックスの選択）、4-22 ページ**「ジョブボックス」**（ジョブボックスの選択）もしくは、4-63 ページ**「RAM ディスクモード」**（RAM ディスクの操作）を参照してください。

参考：電源を入れ最初のモード選択をした場合、**「レポート印刷」**が表示されます。2 回目以降は、前回最後に選択されたメニューが表示されます。

「レポート印刷」（レポート印刷の選択）

レポートの印刷をします。レポート印刷には以下の項目があります。

- **「メニューマップの印刷」**（メニューマップの印刷）
- **「ステータスページの印刷」**（ステータスページの印刷）
- **「フォントサンプルの印刷」**（フォントサンプルの印刷）
- **「ハードディスクファイル リストの印刷」**（ハードディスク・ファイルリストの印刷）
- **「RAM ディスクファイル リストの印刷」**（RAM ディスク・ファイルリストの印刷）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「レポート印刷 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ﾚﾎﾟｰﾄ印刷                    >
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「メニューマップの印刷」（メニューマップの印刷）

モード選択メニューで表示されるすべてのメニューを印刷します。

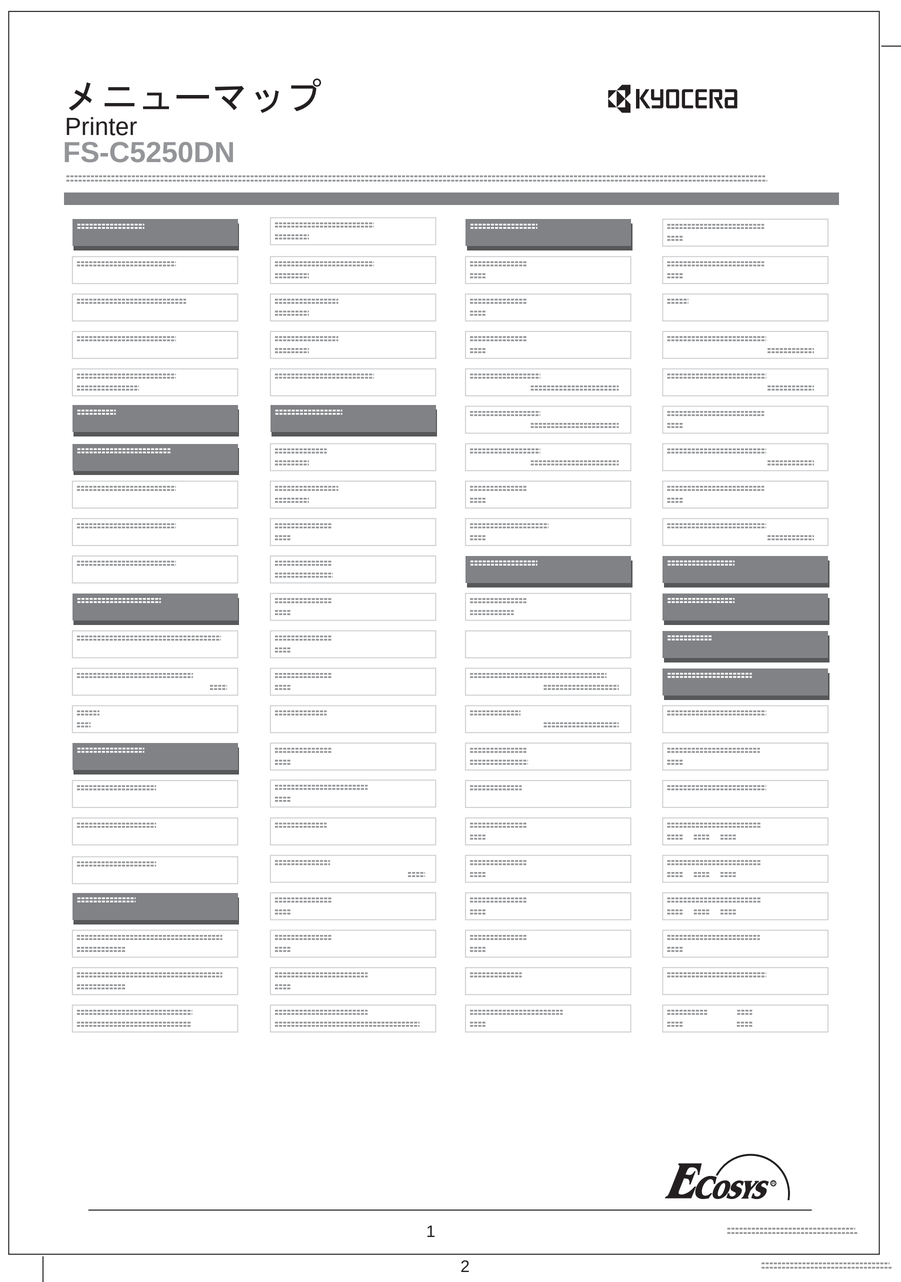
1 **「レポート印刷 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞メニューマップの印刷」**が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>ﾒﾆｭｰﾏｯﾌﾟの印刷?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、メニューマップを印刷します。



「ステータスページの印刷」（ステータスページの印刷）

ステータスページを印刷して、プリンタの現在の設定状況、装着しているオプション機器などの情報を確認できます。

1 「レポート印刷 ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ステータスページの印刷」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が表示されます。

```
>ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞの印刷?
```

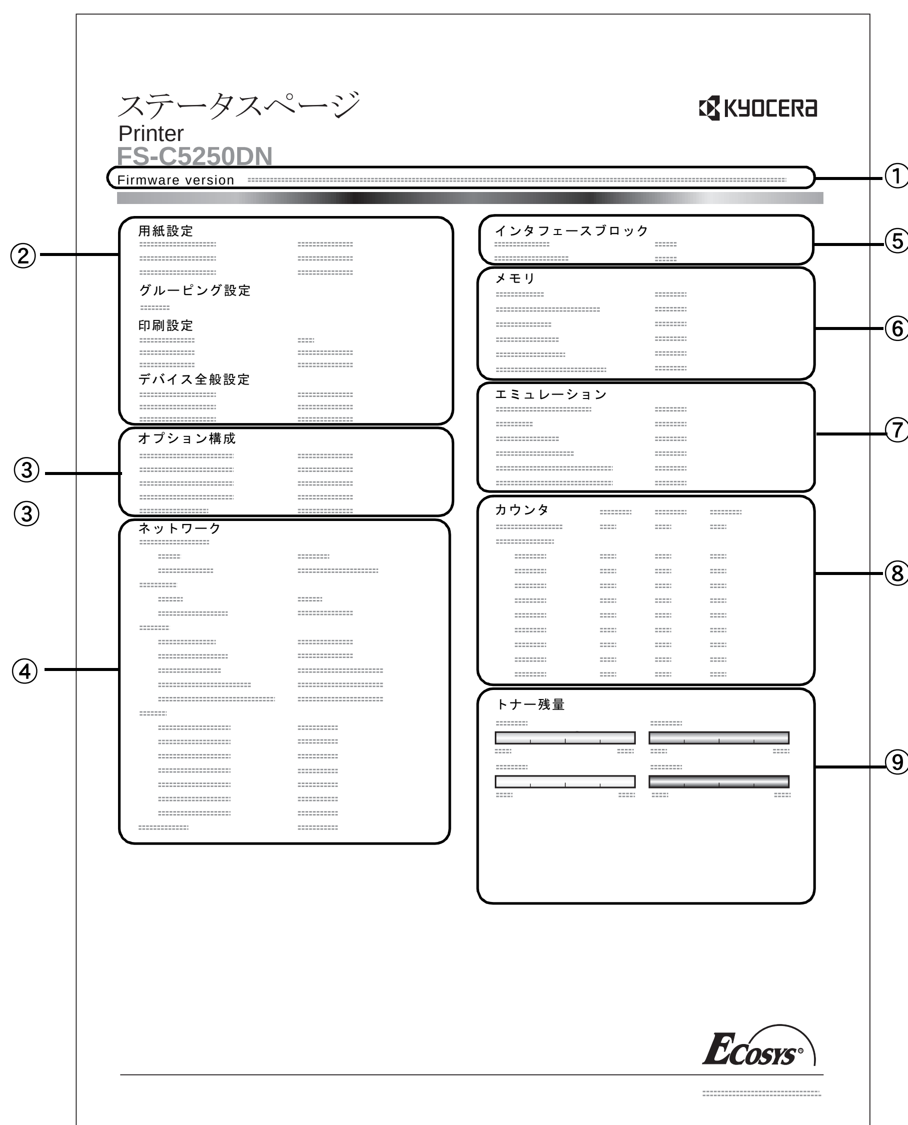
4 もう一度、［**実行**］キーを押すと、「**データ処理中です**」が表示され、ステータスページを印刷します。

ステータスページに記載されている各項目の説明は、次の**ステータスページの内容**を参照してください。

ステータスページの内容

次はステータスページの印刷例です。各項目については次ページに説明があります。

参考：プリンタのファームウェアのバージョンにより、ステータスページに印刷される項目や値が異なる場合があります。



① **ファームウェア**（Firmware Version）

ファームウェアのバージョンと発行日です。

② **プリンタ設定状況（用紙設定、グルーピング設定、印刷設定、デバイス全般設定）**

カセットにセットされている用紙サイズと用紙種類、プリンタの主な設定項目についての情報を表示します。

③ **装着オプション（オプション構成）**

プリンタに装着されている、オプション機器の状態を表示します。

④ **ネットワークステータス（ネットワーク）**

ネットワーク関係の設定状態を表示します。TCP/IP欄には、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスを表示します。

⑤ **インタフェース（インタフェースブロック）**

USBメモリスロットや、USBインターフェースのブロック状況を表示します。

⑥ **メモリ使用状況（メモリ）**

プリンタに装着されている総メモリ、および現在のRAMディスクの状態が表示されます。

⑦ **エミュレーション（エミュレーション）**

現在設定されているエミュレーションに関する情報が表示されます。出荷時にはPCL 6エミュレーションに設定されています。

⑧ **ページ情報（カウンタ）**

課金カウンタ情報が表示されます。総印刷ページ数、用紙サイズ毎の印刷ページ数が表示され、それぞれのカウンタについて、カラー/白黒/合計ごとに表示されます。

⑨ **消耗品（トナー残量）**

トナーコンテナ各色の、およそのトナー残量を表示します。100から0に近づくほどトナーの残量が少なくなります。

「フォントサンプルの印刷」（フォントサンプルの印刷）

フォント選択の目安となる、フォントリストを印刷できます。

1 「**レポート印刷 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞フォントサンプルの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

＞ﾌｫﾝﾄｻﾝﾌﾟﾙの印刷?

4 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、フォントサンプルを印刷します。

「ハードディスクファイル リストの印刷」（ハードディスク・ファイルリストの印刷）

ハードディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：ハードディスクが装着され、正しくフォーマットされている場合のみ表示されます。

1 **「レポート印刷 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>ハードディスクファイル リストの印刷」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾌｧｲﾙ
 ﾘｽﾄの印刷?
```

4 **［実行］**キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、ハードディスク・ファイルリストを印刷します。

「RAM ディスクファイル リストの印刷」（RAM ディスク・ファイルリストの印刷）

RAM ディスク内にあるファイルのリストを印刷できます。

注意：RAM ディスクモードが ON のとき表示されます。

1 **「レポート印刷 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「> RAM ディスクファイル リストの印刷」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>RAMﾃﾞｨｽｸﾌｧｲﾙ
 ﾘｽﾄの印刷?
```

4 **［実行］**キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、RAM ディスク・ファイルリストを印刷します。

「USB メモリ」(USB メモリの選択)

USB メモリの取り外しやメモリ内の印刷設定をします。

USB メモリを装着すると、USB メモリメニューが自動的に表示されます。

注意:このメニューは、USB メモリスロットのブロック設定が **「ブロックしない」** に設定されている場合のみ表示されます。詳細は、4-73 ページ **「インタフェースブロック」**(インタフェース(外部機器)ブロックの設定)を参照してください。

USB メモリの選択には以下の項目があります。

- **「ファイルの印刷」**(USB メモリのファイルの印刷)

  「部数」(ファイル印刷のコピー枚数の設定)
  「給紙元」(ファイル印刷の給紙元の選択)
- **「デバイスの取り外し」**(USB メモリの取り外し)
- **「ファイルリストの印刷」**(ファイルリストの印刷)

1 [**メニュー**] キーを押してください。

2 「**USB メモリ >**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
USBﾒﾓﾘ              >
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「ファイルの印刷」(USB メモリのファイルの印刷)

USB メモリ内にあるファイルの印刷設定ができます。

1 「**USB メモリ >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>ファイルの印刷**」が表示されます。他の表示の場合、表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押してください。「**?**」が表示されます。もう一度、[**実行**] キーを押すと、フォルダもしくはファイルが表示されます。(例:フォルダ 1)

```
/
  /00:ﾌｫﾙﾀﾞ1
```

[△] または [▽] キーを押すと、フォルダもしくはファイルを循環して表示します。

下位のフォルダもしくはファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例:フォルダ 2)

```
/00:ﾌｫﾙﾀﾞ1
  /01:ﾌｫﾙﾀﾞ2
```

さらに、下位のファイルがある場合、[▷] キーを押すと表示します。(例:ファイル 3)

```
/.../01:ﾌｫﾙﾀﾞ2
    02:ﾌｧｲﾙ3
```

注意：フォルダもしくはファイル表示は 3 階層までです。USB メモリの容量やファイル数によっては、表示に時間がかかる場合があります。

［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押すことにより、フォルダの階層を移動できます。

4 ［実行］キーを押してください。「?」が表示されます。（例：ファイル 3）

```
/.../01:ﾌｫﾙﾀﾞ2
?  02:ﾌｧｲﾙ3
```

5 ［実行］キーを押してください。**「部数」**（ファイル印刷のコピー枚数の設定）が表示されます。

```
部数
                001
```

「部数」（ファイル印刷のコピー枚数の設定）

USB メモリ内で指定したファイルの印刷部数を設定します。

注意：ハードディスクまたは RAM ディスクが設定されている場合のみ表示されます。

1 上記手順 5 の**「部数」**表示中に、［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押して印刷部数を表示させてください。（例：10 部）

```
部数
                010
```

2 ［実行］キーを押してください。**「給紙元」**（ファイル印刷の給紙元の選択）と「?」が表示されます。

```
給紙元
? ｶｾｯﾄ 1
```

「給紙元」（ファイル印刷の給紙元の選択）

USB メモリ内で指定したファイルの印刷用紙を設定します。

1 上記手順 2 の**「給紙元」**表示中に、［△］または［▽］キーを押して給紙元を表示させてください。（例：カセット 2）

```
給紙元
? ｶｾｯﾄ 2
```

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

2 ［実行］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、USB メモリ内のファイルを印刷します。

「デバイスの取り外し」（USB メモリの取り外し）

USB メモリの取り外しを設定します。

1 「**USB メモリ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞デバイスの取り外し**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>デバイスの取り外し?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。メニューが終了し、USB メモリを取り外すことができます。

「ファイルリストの印刷」（ファイルリストの印刷）

USB メモリ内にあるファイルのリストを印刷できます。

1 「**USB メモリ ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞ファイルリストの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>ファイルリストの印刷?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示されファイルリストを印刷します。

「ユーザボックス」（ユーザボックスの選択）

重要：ユーザボックスを使用するには、ハードディスクをプリンタに装着する必要があります。

ハードディスクは、必ずプリンタでフォーマットしてください。詳細は、4-64 ページ「ハードディスク」（ハードディスクの操作）を参照してください。

ユーザボックスは、ユーザがプリンタのハードディスクに印刷データを保存し、必要なときに再利用することができる汎用のボックスです。

ユーザボックスの作成 • 削除は、COMMAND CENTER より行い、ボックスに保存するデータの送信は、プリンタードライバーより行います。詳細は、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**および**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

ユーザボックスに保存された印刷データは、プリンタの操作パネルより印刷します。

「ユーザボックス」（ユーザボックスの選択）には以下の項目があります。

- **「ボックスの選択**（ボックス番号 : ボックス名）**」**（ユーザボックスの選択）
- **「ボックスリストの印刷」**（ユーザボックス内のリスト印刷）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「ユーザボックス ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ﾕｰｻﾞﾎﾞｯｸｽ            >
```

「ボックスの選択（ボックス番号 : ボックス名）」（ユーザボックスの選択）

文書が保存されているユーザボックスを選択します。

注意：**「ボックスの選択」**メニューは、ユーザボックスが存在するときに表示されます。

1 **「ユーザボックス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞ボックスの選択 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。ボックス番号とボックス名が表示されます。（例：0001、ボックス 1）

3 ［**実行**］キーを押すと、ボックス番号の前に「**?**」が点滅します。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択
?0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

4 ［△］または［▽］キーを押して希望するボックス番号とボックス名を表示させてください。

ボックス番号は、0001 ～ 1000 の範囲で表示されます。ボックス名が長い場合、［◁］または［▷］キーを押すと、スクロールして表示されます。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択
?0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

5 ［実行］キーを押して、希望するユーザボックスを表示させます。

次に**「ユーザボックス内のデータ操作」**に移ります。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択          >
 0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

注意：ユーザボックスにパスワードを設定した場合、次の手順**「ボックスパスワード」**（**パスワードの入力**）を行ってください。

「ボックスパスワード」（パスワードの入力）

ユーザボックスにパスワードをつけて、アクセスできるユーザを制限することができます。パスワードの設定は COMMAND CENTER より行います。

1 ユーザボックスにパスワードが設定されている場合、**「＞ボックスの選択 ＞」**が表示中に［▷］キーを押すと、**「ボックスパスワード」**が表示され、カーソル（_）が点滅します。

```
ﾎﾞｯｸｽﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ
_
```

2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

3 ［実行］キーを押して、パスワードを確定してください。次に**「ユーザボックス内のデータ操作」**に移ります。

注意：パスワードの入力後、照合が行われます。間違ったパスワードの場合、**「パスワードが違います」**が表示され、入力画面に戻ります。正しいパスワードを入力し直してください。

ユーザボックス内のデータ操作

ユーザボックス内のデータ操作には以下の項目があります。

- **「すべての文書を印刷」**（全データの印刷）
- 「（ボックス番号：ボックス名）（文書番号：文書名）」（データの選択）
- **「すべての文書を削除」**（全データの削除）
- **「ファイルリストの印刷 」**（文書リストの印刷）

注意：**「（ボックス番号：ボックス名）（文書番号：文書名）」**、**「すべての文書を印刷」**、**「すべての文書を削除」**メニューは、1 つ以上の文書が存在するときに表示されます。

「すべての文書を印刷」（全データの印刷）

ユーザボックス内にあるすべての文書を印刷します。

1 **「＞ボックスの選択 ＞」**および、ボックス番号とボックス名が表示中に［▷］キーを押してください。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択          >
 0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

［△］または［▽］キーを押して、「**>>すべての文書を印刷**」と表示させ、［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

>>すべての文書を印刷 ?

2 ［**実行**］キーを押してください。コピー枚数設定画面に移ります。［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押して、印刷部数を表示させてください。（例：10 部）

>>すべての文書
部数 010

印刷枚数は、001 ～ 999 の範囲で選択できます。

3 ［**実行**］キーを押してください。給紙元の選択画面に移ります。［△］または［▽］キーを押して、希望する給紙元を表示させてください。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。

>>すべての文書
? 手差しﾄﾚｲ

手差しトレイ
カセット（プリンタの標準カセットのみ使用）
カセット 1 ～ 4（オプションのペーパーフィーダのカセット装着時）
自動

4 ［**実行**］キーを押してください。印刷後のデータ削除の選択画面に移り、「**?**」が点滅します。

>>印刷後削除
? ｵﾌ

5 ［△］または［▽］キーを押して、「**オフ**」または「**オン**」を選択してください。

6 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、すべての文書を設定したページ数で印刷します。また、印刷後のデータ削除画面で「**オン**」を選択した場合、印刷後にすべての文書が削除されます。

「(ボックス番号：ボックス名)（文書番号：文書名)」(データの選択)

文書を選択し、選択した文書の印刷 / 削除を行います。

1 「**>ボックスの選択 >**」および、ボックス番号とボックス名が表示中に、［**実行**］キーを押してください。

>ﾎﾞｯｸｽの選択 >
0001:ﾎﾞｯｸｽ1

ボックス番号：ボックス名の下に、文書番号：文書名が表示され、文書番号の前に「**?**」が点滅します。文書名を選択します。（例：0001、データ 1）

>>0001:ﾎﾞｯｸｽ1
? 0001:ﾃﾞｰﾀ1

2 ［△］または［▽］キーを押して希望する文書番号と文書名を表示させてください。

3 ［**実行**］キーを押してください。コピー枚数設定画面に移ります。［△］または［▽］、［◁］または［▷］キーを押して、印刷部数を表示させてください。（例：10 部）

>>0001:ﾃﾞｰﾀ1
部数 010

印刷枚数は、001 ～ 999 の範囲で選択できます。

参考：ボックス内の文書を印刷しないで削除する場合、「**削除**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。給紙元の選択画面に移ります。［△］または［▽］キーを押して、希望する給紙元を表示させてください。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。

```
>>0001:ﾃﾞｰﾀ1
? 手差しﾄﾚｲ
```

手差しトレイ
カセット（プリンタの標準カセットのみ使用）
カセット１～４（オプションのペーパーフィーダのカセット装着時）
自動

5 ［**実行**］キーを押してください。印刷後のデータ削除の選択画面に移り、「**?**」が点滅します。

```
>>印刷後削除
? ｵﾌ
```

6 ［△］または［▽］キーを押して、**「オフ」**または**「オン」**を選択してください。

7 ［**実行**］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、選択した文書を設定したページ数で印刷します。また、印刷後のデータ削除画面で**「オン」**を選択した場合、印刷後に選択した文書が削除されます。

「すべての文書を削除」（全データの削除）

ユーザボックス内にあるすべての文書を削除します。

1 「**>ボックスの選択 >**」および、ボックス番号とボックス名が表示中に［▷］キーを押してください。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択        >
 0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

［△］または［▽］キーを押して、「**>>すべての文書を削除**」を表示させ、［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>すべての文書を削除?
```

2 ［**実行**］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、ユーザボックス内のすべての文書が削除されます。

「ファイルリストの印刷 」（文書リストの印刷）

選択したユーザボックス内にある文書リストを印刷します。

1 「**>ボックスの選択 >**」および、ボックス番号とボックス名が表示中に［▷］キーを押してください。

```
>ﾎﾞｯｸｽの選択        >
 0001:ﾎﾞｯｸｽ1
```

［△］または［▽］キーを押して、「**>>ファイルリストの印刷**」を表示させ、［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>ﾌｧｲﾙﾘｽﾄの印刷 ?
```

2 ［**実行**］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、選択したユーザボックス内にある文書のリストを印刷します。

「ボックスリストの印刷」（ユーザボックス内のリスト印刷）

ユーザボックスのリストを印刷します。

1 **「ユーザボックス >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>ボックスリストの印刷 」**と**「?」**を表示させ、**［実行］**キーを押してください。

```
>ボックスリストの印刷 ?
```

3 **［実行］**キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、ユーザボックスのリストを印刷します。

「ジョブボックス」（ジョブボックスの選択）

重要：ジョブボックスを使用するには、ハードディスクをプリンタに装着する必要があります。

ハードディスクは、必ずプリンタでフォーマットしてください。詳細は、4-64 ページ「ハードディスク」（ハードディスクの操作）を参照してください。試し刷り後、保留モードとプライベートプリントモードは、RAM ディスクでも使用できます。

ジョブボックスは、ジョブリテンション機能を実現する印刷機能です。設定はプリンタードライバーより行います。プリンタードライバーでの設定については、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

ジョブリテンション機能

ジョブリテンション機能は、プリンタのハードディスクに印刷データを保存し、必要なときに印刷できます。次の 4 種類のモードがあり、プリンタードライバーから選択できます。

ジョブ リテンション	クイックコピーモード	試し刷り後、 保留モード	プライベート プリントモード	ジョブ保留 モード
機能	プリンタの操作パネルから、必要部数を追加印刷できます。	複数部数の印刷の際、1 部だけ印刷出力します。印刷の内容を確認してから、残りを印刷します。キャンセルすることもできるので、用紙を節約できます。	他人に見られたくない文書などを、アクセスコードを入力してから印刷させることができます。	FAX 送信用紙などのフォームをプリンタに保存し、必要なとき必要なものを必要な枚数だけ印刷できます。
アプリケーションからの印刷終了時	同時に印刷する	同時に 1 部だけ印刷する	印刷しない	印刷しない
印刷出力操作	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う	プリンタの操作パネルから行う
初期印刷部数	ドライバーから設定した部数（変更可能）	試し刷り後の残り部数（変更可能）	ドライバーから設定した部数（変更可能）	1（変更可能）
最大格納ジョブ数†	32（50 まで拡張可能）	32（50 まで拡張可能）	ハードディスク容量に依存（印刷すると、そのジョブは自動的に消去）	ハードディスクの容量に依存
アクセスコード	不要	不要	必要	任意
印刷後のデータ	保存	保存	消去	保存
電源オフ時のデータ	消去	消去	消去	保存
ハードディスク	必要	不要（RAM ディスクでも動作）	不要（RAM ディスクでも動作）	必要

† 設定された数を超えると、古いジョブから順に削除されます。

設定方法は 4-23 ページ**「クイックコピージョブ」**（クイックコピーモード）、4-25 ページ試し刷り後、保留モード、4-26 ページ**「個人 / 保存ジョブ」**（プライベートプリント / ジョブ保留モード）を参照してください。

参考：プリンタードライバーでの設定と印刷（保存）方法については、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

ジョブボックスの選択には以下の項目があります。

- クイックコピーモード / 試し刷り後、保留モード

  「クイックコピージョブ　（ユーザー名）」（ユーザー選択）
  「（ユーザー名）（データ名）」（データ選択）
  「（データ名）コピー　（部数）」（コピー枚数 / 消去の選択）

- プライベートプリント / ジョブ保留モード

  「個人 / 保存ジョブ　（ユーザー名）」（ユーザー選択）
  「（ユーザー名）（データ名）」（データ選択）
  「（データ名）ID　（部数）」（パスワード入力）
  「（データ名）コピー　（部数）」（コピー枚数／消去の選択）

- **「ジョブボックス詳細設定」**（ジョブボックスの詳細設定）

1 **［メニュー］**キーを押してください。

2 **「ジョブボックス ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ　＞

メッセージディスプレイの表示と同じように、オプションの機器の装着状態によって内容が変わります。

「クイックコピージョブ」（クイックコピーモード）

このモードは、一度印刷した文書を追加印刷するモードです。

プリンタードライバーでクイックコピーを設定して文書を印刷すると、同時にハードディスクに保存します。印刷が必要になったときに操作パネルから必要な枚数を再印刷できます。

ハードディスクに保存できる最大文書数は、初期設定で 32 個（**ジョブボックス詳細設定**で最大 50 個まで変更可能）です。設定を変えるときは、4-28 ページクイックコピージョブの最大登録可能数の設定を参照してください。設定された最大数を越えて書類を保存すると、古いジョブから順に新しいジョブに上書きされます。

プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

クイックコピーを使った印刷のしかた

最初にクイックコピーモードでジョブの印刷を行います。設定手順は**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

1 **「ジョブボックス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>クイックコピージョブ**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。プリンタードライバーに入力したユーザ名が表示されます。(例：ユーザ 1)

3 **[実行]** キーを押すと、ユーザ名の前に「**?**」が点滅します。

```
>ｸｲｯｸｺﾋﾟｰｼﾞｮﾌﾞ
?ﾕｰｻﾞ1
```

4 [△] または [▽] キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

```
>ｸｲｯｸｺﾋﾟｰｼﾞｮﾌﾞ
?ﾕｰｻﾞ1
```

5 **[実行]** キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に「**?**」が点滅します。文書名は、プリンタードライバーから入力します。(例：データ 1)

```
>ﾕｰｻﾞ1
?ﾃﾞｰﾀ1
```

6 [△] または [▽] キーを押して、希望する文書名を表示させてください。

参考：「**すべての文書**」を選択した場合、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書を一括して扱います。

7 **[実行]** キーを押してください。印刷ページ数を増やす場合には [△] キーを、減らす場合には [▽] キーで印刷ページ数を変更できます。

```
>ﾃﾞｰﾀ1
 部数          001
```

参考：「**すべての文書**」を選択した場合、[△] キーを押して印刷枚数を設定してください。印刷ジョブに設定されている部数で印刷する場合、「**部数　- - -**」を選択してください。

8 **[実行]** キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

クイックコピー文書の削除

クイックコピーで保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 前の項目の 1 から 6 の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、**[実行]** キーを押してください。印刷ページ数のカーソル（__）が点滅します。

```
>ﾃﾞｰﾀ1
 部数              001
```

3 印刷ページ数に「**削除**」が表示されるまで [▽] キーを押してください。

```
>ﾃﾞｰﾀ1
 削除
```

参考：「**すべての文書**」を選択した場合、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書を一括して扱います。

4　［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、指定した文書が削除されます。

試し刷り後、保留モード

プリンタードライバーで［**試し刷り後、保留**］を設定し、必要な部数を設定して印刷すると、プリンタは 1 部だけを出力し、文書データをハードディスクまたは RAM ディスクに保存します。残りの部数を印刷するときは操作パネルから印刷します。その際、印刷ページ数を変更することもできます。

プリンタの電源を切ると、このモードで保存したジョブは消去されます。

保留されている残り部数の印刷のしかた

設定手順は**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

1　「**ジョブボックス ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2　「**＞クイックコピージョブ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。プリンタードライバーに入力したユーザ名が表示されます。（例：ユーザ 1）

3　［**実行**］キーを押すと、ユーザ名の前に「**?**」が点滅します。

>ｸｲｯｸｺﾋﾟｰｼﾞｮﾌﾞ
?ﾕｰｻﾞ1

4　［△］または［▽］キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

>ｸｲｯｸｺﾋﾟｰｼﾞｮﾌﾞ
?ﾕｰｻﾞ1

5　［**実行**］キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に「**?**」が点滅します。文書名は、プリンタードライバーから入力します。（例：データ 1）

>ﾕｰｻﾞ1
?ﾃﾞｰﾀ1

6　［△］または［▽］キーを押して、希望する文書名を表示させてください。

参考：「**すべての文書**」を選択した場合、クイックコピーおよび試し刷り後、保留モードの文書を一括して扱います。

7　［**実行**］キーを押してください。印刷ページ数を増やす場合には［△］キーを、減らす場合には［▽］キーで印刷ページ数を変更できます。

>ﾃﾞｰﾀ1
部数　001

参考：「**すべての文書**」を選択した場合、［△］キーを押して印刷枚数を設定してください。印刷ジョブに設定されている部数で印刷する場合、「**部数　- - -**」を選択してください。

8　［**実行**］キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

保留されている文書の削除

保存されているジョブは、電源を切ると自動的に消去されますが、次の手順で個別に消去できます。

1 前の項目の 1 から 6 の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、**[実行]** キーを押してください。印刷ページ数のカーソル（__）が点滅します。

```
>ﾃﾞｰﾀ1
 部数          001
```

3 印刷ページ数に **「削除」** が表示されるまで［▽］キーを押してください。

```
>ﾃﾞｰﾀ1
 削除
```

4 **[実行]** キーを押してください。**「データ処理中です」** が表示され、指定した文書が削除されます。

「個人 / 保存ジョブ」（プライベートプリント / ジョブ保留モード）

プライベートプリントは、印刷の際にドライバーから設定したアクセスコードと同じ 4 桁の数字を、操作パネルから入力して印刷出力を可能にする機能です。データは印刷後に消去されます。

ジョブ保留モードはアクセスコードは使用せず、印刷出力後は印刷データをハードディスクに保持します。それぞれのドライバーの設定方法は、**プリンタードライバー操作手順書**を参照してください。

プライベートプリントおよびジョブ保留の印刷のしかた

1 **「ジョブボックス >」** 表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>個人 / 保存ジョブ」** が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。プリンタードライバーに入力したユーザ名が表示されます。（例：ユーザ 2）

3 **[実行]** キーを押すと、ユーザ名の前に **「?」** が点滅します。

```
>個人/保存ｼﾞｮﾌﾞ
?ﾕｰｻﾞ2
```

4 ［△］または［▽］キーを押して希望するユーザ名を表示させてください。

5 **[実行]** キーを押してください。ユーザ名の下に、文書名（ジョブ名）が表示され、文書名の前に **「?」** が点滅します。文書名は、プリンタードライバーから入力します。（例：データ 2）

```
>ﾕｰｻﾞ2
?ﾃﾞｰﾀ2
```

6 ［△］または［▽］キーを押して希望する文書名を表示させてください。

参考：**「すべての文書」**を選択した場合、プライベートプリントおよびジョブ保留の文書を一括して扱います。

7 **［実行］**キーを押してください。プリンタードライバーで入力したアクセスコードを入力し、**［実行］**キーを押してください。

>ﾃﾞｰﾀ2
ID　　　　0000

アクセスコードの入力は［◁］または［▷］キーを押して変更する桁にカーソルを移動させ、［△］または［▽］キーを押して数値を変更してください。

参考：**「すべての文書」**を選択した場合、登録されているアクセスコードがどの文書とも一致しない、あるいはアクセスコードが設定されていない場合、**「ID が違います」**と表示されます。

8 印刷ページ数を増やす場合には［△］キーを、減らす場合には［▽］キーを押して印刷ページ数を変更できます。

>ﾃﾞｰﾀ2
部数　　　　001

参考：**「すべての文書」**を選択した場合、**「部数　- - -」**の表示後、［△］キーを押して印刷枚数を設定してください。

9 **［実行］**キーを押してください。設定したページ数を印刷します。

保存ジョブの削除

保存されているジョブは、次の手順で個別に消去できます。また、プライベートプリントモードで保存されているジョブは、印刷後や電源を切ると自動的に消去されますが、ジョブ保留モードで保存したジョブは消去されません。

1 前の項目の 1 から 6 の手順を行ってください。

2 削除する文書名を表示させて、**［実行］**キーを押してください。アクセスコードを入力して、**［実行］**キーを押してください。

>ﾃﾞｰﾀ2
部数　　　　001

3 印刷ページ数に**「削除」**が表示されるまで［▽］キーを押してください。

>ﾃﾞｰﾀ2
削除

4 **［実行］**キーを押してください。指定した文書が削除されます。

ジョブボックス詳細設定

ハードディスクに保存できる最大文書件数や自動消去など、ジョブボックスの設定を変更できます。

ジョブボックスの詳細設定には以下の項目があります。

- クイックコピージョブの最大登録可能数の設定
- 一時保存文書の自動消去を設定

クイックコピージョブの最大登録可能数の設定

1 **「ジョブボックス >」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 **「>ジョブボックス詳細設定 >」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ詳細設定 >

3 [▷] キーを押してください。

4 **「>>クイックコピーの個数」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

5 **[実行]** キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>>ｸｲｯｸｺﾋﾟｰの個数
32

6 [△] または [▽] キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。設定値は 0 ～ 50 です。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

7 希望の最大保存件数を表示させて、**[実行]** キーを押してください。

8 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

一時保存文書の自動消去を設定

1 **「ジョブボックス >」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 **「>ジョブボックス詳細設定 >」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

>ｼﾞｮﾌﾞﾎﾞｯｸｽ詳細設定 >

3 [▷] キーを押してください。

4 **「>>削除」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

5 **[実行]** キーを押すと、**「?」**が点滅します。

6 ［△］または［▽］キーを押して、希望する自動消去の時間を表示させてください。



表示される時間は次のとおりです。

オフ（自動消去しない）
1 時間（1 時間後に自動消去する）
4 時間（4 時間後に自動消去する）
1 日（翌日に自動消去する）
1 週間（1 週間後に自動消去する）

7 ［**実行**］キーを押してください。

8 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カウンタ」（カウンタ値の選択）

印刷ページ数の表示を行います。

カウンタ値の選択には以下の項目があります。

- **「合計ページ数」**（総印刷ページ数の表示）
- **「カラーページ数」**（カラー印刷ページ数の表示）
- **「白黒ページ数」**（白黒印刷ページ数の表示）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「カウンタ >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ｶｳﾝﾀ                >
```

「合計ページ数」（総印刷ページ数の表示）

総印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 **「カウンタ >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>合計ページ数」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：2000000）

```
>合計ﾍﾟｰｼﾞ数
          2000000
```

3 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「カラーページ数」（カラー印刷ページ数の表示）

カラー印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 **「カウンタ >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>カラーページ数」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：1000000）

```
>ｶﾗｰﾍﾟｰｼﾞ数
          1000000
```

3 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「白黒ページ数」（白黒印刷ページ数の表示）

白黒印刷ページ数は表示のみで、変更はできません。

1 **「カウンタ >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞白黒ページ数**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。総印刷ページが表示されます。（例：1000000）

```
>白黒ﾍﾟｰｼﾞ数
         1000000
```

3 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「用紙の設定」（用紙の設定）

手差しトレイやカセット、各給紙元の用紙サイズと用紙の種類を設定します。

用紙の設定には以下の項目があります。

- **「手差しトレイ 用紙サイズ」**（手差しトレイの用紙サイズの設定）
- **「手差しトレイ 用紙種類」**（手差しトレイの用紙種類の設定）
- **「カセット （1 ～ 4） 用紙サイズ」**（給紙カセットの用紙サイズの設定）
- **「カセット（1 ～ 4）用紙種類」**（給紙カセットの用紙種類の設定）
- **「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）
- **「種類の属性のリセット」**（カスタム設定のリセット）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「用紙の設定 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

用紙の設定	＞

用紙種類の設定

給紙カセットや手差しトレイの用紙種類を設定します。印刷時にプリンタードライバーで用紙種類を選択できるようになります。

また、本機に登録されている用紙種類の他に、任意の用紙種類を設定できます。詳しくは、4-39 ページ**「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

設定できる用紙の種類は、給紙元によって違います。次の表を参照してください。詳しくは、**用紙について**を参照してください。

給紙元 用紙種類	手差しトレイ	給紙カセット ペーパーフィーダ （オプション、PF-520）	ペーパーフィーダ （オプション、PF-530）
普通紙［64 ～ 105 g/m²］	○	○	○
OHP フィルム	○	×	×
プレプリント	○	○	○
ラベル紙	○	×	○
ボンド紙	○	○	○
再生紙［64 ～ 105 g/m²］	○	○	○
薄紙［60 ～ 64 g/m²］	○	×	×
レターヘッド	○	○	○
カラー紙［64 ～ 105 g/m²］	○	○	○
パンチ済み紙	○	○	○
封筒	○	×	○
はがき	○	×	○
加工紙（コート紙、その他の加工紙）	○	×	○

厚紙［105 ～ 220 g/m²］	○	○	○
上質紙	○	○	○
カスタム＃	○	○	○

○：用紙種類を設定できます。　×：用紙種類を設定できません。

「手差しトレイ 用紙サイズ」（手差しトレイの用紙サイズの設定）

手差しトレイから給紙する用紙に正しく印刷するために、次の手順で用紙サイズを設定してください。工場出荷時は、A4 サイズに設定されています。

手差しトレイから給紙できる用紙サイズについては、**用紙について**を参照してください。

参考：本メニューで設定した用紙サイズと同じサイズの用紙を、手差しトレイにセットしてください。サイズが一致しないと紙づまりの原因になります。

1 **「用紙の設定 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞手差しトレイ 用紙サイズ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>手差しﾄﾚｲ 用紙ｻｲｽﾞ
? A4
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する用紙サイズを表示させてください。表示されるサイズは次のとおりです。

Envelope Monarch
Envelope #10
Envelope #9
Envelope #6
Envelope DL
Envelope C5
A6
B6
A5
B5
ISO B5
A4
Executive
Letter
Legal
カスタム
はがき
往復はがき
Oficio II
Statement
Folio
洋形2号
洋形4号
16K

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「手差しトレイ 用紙種類」（手差しトレイの用紙種類の設定）

手差しトレイから給紙できる用紙種類を設定できます。工場出荷時の設定は「**普通紙**」に設定されています。

用紙の種類については、**用紙について**を参照してください。

1 「**用紙の設定 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>手差しトレイ 用紙種類**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>手差しﾄﾚｲ 用紙種類
? 普通紙
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
OHPフィルム
プレプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒
はがき
加工紙
厚紙
上質紙
カスタム 1 (〜8)

参考：「**カスタム**」を選択した場合、任意の用紙種類を定義してプリンタに登録しておくことができます。詳しくは、4-39 ページ「**種類の属性**」（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

5 ［実行］キーを押してください。

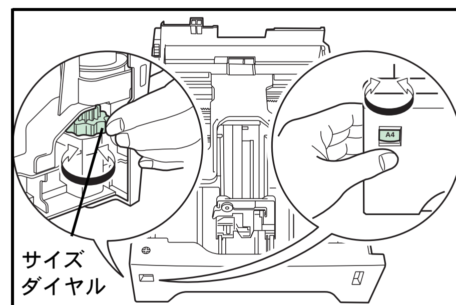
6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カセット （1 ～ 4）用紙サイズ」（給紙カセットの用紙サイズの設定）

本機の給紙カセットに用紙をセットする場合は、次の手順で給紙カセットのサイズダイヤルを設定してください。規格紙（A6、A5、A4、B5、Letter、Legal）以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、4-35 ページカスタム用紙サイズを参照してください。カセット内の用紙ガイドの調整手順は、5-2 ページ用紙の補給を参照してください。

また、オプションの**ペーパーフィーダ** PF-520、PF-530 を装着している場合には、ペーパーフィーダの給紙カセットも同じ手順で設定します。

1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを使用する用紙のサイズに合わせてください。



2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

カスタム用紙サイズ

A6、A5、A4、B5、Letter、Legal の規格紙以外のサイズの用紙を給紙カセットにセットする場合は、次の手順で設定してください。

サイズダイヤルの設定

1 プリンタから給紙カセットを引き出し、サイズダイヤルを Other に合わせてください。詳しくは、4-35 ページ**「カセット （1 ～ 4）用紙サイズ」**（給紙カセットの用紙サイズの設定）の手順 1 を参照してください。

2 印刷する用紙のサイズに合わせて、給紙カセット内の用紙ガイドを調整し、用紙をカセットにセットしてください。

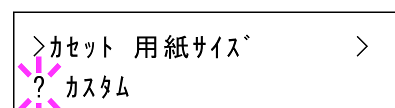
操作パネルからの用紙サイズの設定

操作パネルから、給紙カセットにセットした用紙のサイズをプリンタに設定します。このメニューは、給紙カセットのサイズダイヤルを Other に設定した場合に表示されます。

1 **「用紙の設定 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カセット 用紙サイズ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**「カセット 1 用紙サイズ」**がプリンタの給紙カセットとして、**「カセット 2 用紙サイズ」**、**「カセット 3 用紙サイズ」**、**「カセット 4 用紙サイズ」**がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。



4 ［△］または［▽］を押して、セットする用紙サイズを表示させてください。表示される用紙サイズは次のとおりです。

Envelope Monarch
Envelope #10
Envelope #9
Envelope #6
Envelope DL
Envelope C5
A6
A5
B5
ISO B5
A4
Executive
Letter
Legal
カスタム
往復はがき
Oficio II
Statement
Folio
洋形2号
洋形4号
16K

参考：「A6」は、**「カセット 用紙サイズ」**もしくは**「カセット 1　用紙サイズ」**の場合に表示されます。

「Envelope Monarch」、「Envelope #10」、「Envelope #9」、「Envelope #6」、「Envelope DL」、**「往復はがき」**、**「洋形 2 号」**、**「洋形 4 号」**は、ペーパーフィーダ（オプション：PF-520、PF-530）のカセット（2 ～ 4）を装着した場合に表示されます。

5 希望の用紙サイズを表示させて［**実行**］キーを押してください。給紙カセットの用紙サイズが設定されます。手順 4 で**「カスタム」**を選んだ場合は次の項目で用紙の幅と長さを設定してください。

「単位」（単位の設定）

まず、次の手順で単位を設定します。

1 ［▷］キーを押してください。

2 **「>>単位」**が表示されます。単位はミリまたはインチが選択でき、現在設定されている単位が表示されます。（初期設定は**「ミリ」**です）

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

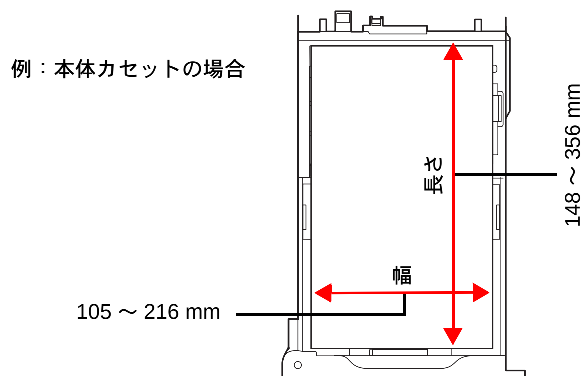


4 ［△］または［▽］キーを押して**「ミリ」**または**「インチ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

用紙幅と用紙長さの設定

次に、次の手順で用紙の幅と長さを設定します。図のように用紙サイズの「**幅**」と「**長さ**」を入力してください。



1 [▽] キーを押してください。下のような「**>>幅**」(用紙幅設定) が表示されます。

2 **[実行]** キーを押すと、カーソル (__) が点滅します。

>>幅
216 ミリ

3 [△] または [▽] キーを使って、カーソルが点滅している場所の数値を変更してください。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

各カセットで設定できる用紙幅の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：105 ～ 216mm
- ペーパフィーダ（オプション）PF-520、PF-530：92 ～ 216 mm

4 希望の用紙幅を表示させて、**[実行]** キーを押してください。

5 用紙幅を設定後、[▽] キーを押してください。「**>>長さ**」(用紙長設定) が表示されます。用紙幅と同様の手順で用紙長を設定してください。

各カセットで設定できる用紙長の範囲は、以下の通りです。

- 本体カセット：148 ～ 356 mm
- ペーパフィーダ（オプション）PF-520、PF-530：162 ～ 356 mm

6 希望の用紙長を表示させて、**[実行]** キーを押してください。

7 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カセット（1 ～ 4）用紙種類」（給紙カセットの用紙種類の設定）

給紙カセットごとに用紙種類を設定すると、印刷時にアプリケーションから指定した用紙種類に合わせて、自動的に給紙カセットが選択されて給紙します。工場出荷時は**「普通紙」**に設定されています。

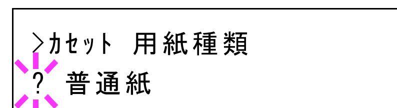
オプションの**ペーパーフィーダ** PF-520、PF-530 を装着している場合は、ペーパーフィーダの給紙カセットにも、同様の手順で用紙種類を設定できます。

給紙カセットから給紙できる用紙の種類について、詳しくは**用紙について**を参照してください。

1 **「用紙の設定 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>カセット 用紙種類」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。オプションのペーパーフィーダを装着している場合は、**「カセット 1 用紙種類」**がプリンタの給紙カセットとして、**「カセット 2 用紙種類」**、**「カセット 3 用紙種類」**、**「カセット 4 用紙種類」**がオプションのペーパーフィーダとして表示されます。

3 **［実行］**キーを押すと、「?」が点滅します。



4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するカセットの用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次のとおりです。

普通紙
プレプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒
はがき
加工紙
厚紙
上質紙
カスタム 1 (～ 8)†

注意：「ラベル紙」、「封筒」、「はがき」、「加工紙」は、オプションのペーパフィーダ（PF-530）を装着した場合のみ表示されます。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

† 任意の用紙種類を定義して、プリンタに登録しておくことができます。詳しくは、4-39 ページ**「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）を参照してください。

「種類の属性」（用紙種類のカスタム設定）

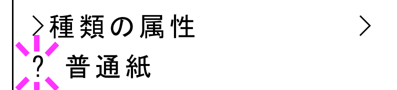
プリンタに任意の用紙種類を設定するカスタム設定は、最大 8 個まで登録できます。設定後は、各給紙元の用紙種類設定時に呼び出すことができます。

用紙種類のカスタム設定を行った後に、紙の厚さと両面印刷の設定を行います。詳しくは 4-39 ページ**「用紙の重さ」**（紙の厚さ設定）と、4-41 ページ**「両面印刷の 給紙」**（両面印刷給紙の設定）を参照してください。カスタム設定をリセットするには、4-41 ページ**「種類の属性のリセット」**（カスタム設定のリセット）を参照してください。

1 **「用紙の設定 >」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 **「>種類の属性 >」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押すと、**「?」**が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して、希望する用紙種類を表示させてください。表示される用紙種類は次の通りです。

普通紙
OHPフィルム
プレプリント
ラベル紙
ボンド紙
再生紙
薄紙
レターヘッド
カラー紙
パンチ済み紙
封筒
はがき
加工紙
厚紙
上質紙
カスタム 1 (〜8)

5 **[実行]** キーを押してください。

6 [▷] キーを押して、次の**紙の厚さ設定**へ進んでください。

「用紙の重さ」（紙の厚さ設定）

カスタム設定で選択した用紙種類の紙の厚さを設定します。

1 カスタム設定の用紙種類を表示し（4-39 ページ**「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）を参照してください）、[▷] キーを押してください。

2 **「>>用紙の重さ」**が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>用紙の重さ
?  普通1
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する紙の厚さを表示させてください。表示される紙の厚さは次のとおりです。（坪量は目安です。）

軽い（60～64g/m²）
普通1（60～75 g/m²）
普通2（75～90 g/m²）
普通3（90～105 g/m²）
重い1（105～135 g/m²）
重い2（135～163 g/m²）
重い3（164～220 g/m²）
OHP

初期設定は「**普通 1**」です。各用紙で最適な印刷になるように、下記のように紙の厚さを調整してお使いください。

用紙種類	紙の厚さ
普通紙	普通 1
OHP フィルム	OHP
プレプリント	普通 2
ラベル紙	重い 1
ボンド紙	普通 3
再生紙	普通 1
薄紙	軽い
レターヘッド	普通 2
カラー紙	普通 1
パンチ済み紙	普通 1
封筒	重い 2
はがき	重い 1
加工紙	普通 3
厚紙	重い 2
上質紙	普通 1
カスタム 1（～ 8）	普通 1

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

用紙種類を「**カスタム**」に設定している場合は、両面印刷の設定ができます。次の「**両面印刷の 給紙**」（**両面印刷給紙の設定**）を参照してください。

「両面印刷の 給紙」（両面印刷給紙の設定）

用紙種類を**「カスタム」**に設定している場合は、両面印刷の設定を次の手順で行えます。初期設定は**「可能」**に設定されています。

1 カスタム設定の用紙種類を表示させて（詳しくは 4-39 ページ**「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）を参照してください)、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞**両面印刷の 給紙**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>両面印刷の給紙
 ?可能
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「可能」**または**「不可能」**を選択してください。それぞれの用紙種類の初期設定について、詳しくは 3-2 ページ用紙の基本仕様を参照してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「種類の属性のリセット」（カスタム設定のリセット）

4-39 ページ**「種類の属性」**（用紙種類のカスタム設定）で設定したすべての種類について属性の設定をリセットします。

1 「**用紙の設定 ＞」表示中に**、［▷］キーを押してください。

2 「＞**種類の属性のリセット**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が表示されます。

```
>種類の属性のﾘｾｯﾄ ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。設定した紙の厚さの設定および両面印刷の設定は、すべて初期設定値にリセットされます。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「印刷設定」（印刷の設定）

印刷時の階調設定、光沢の強弱、印刷枚数や縮小印刷、印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- **「給紙元」**（給紙元の選択）
- **「給紙指定動作」**（給紙元の設定）
- **「両面印刷」**（両面印刷モードの設定）
- **「A4/LT 共通」**（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）
- **「エミュレーション」**（エミュレーションモードの選択）
- **「カラーモード」**（カラーモードと白黒モードの選択）
- **「印刷品質」**（印刷品質の設定）
- **「印刷環境」**（印刷環境の設定）

1 ［メニュー］キーを押してください。

2 「印刷設定 ＞」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

印刷設定 ＞

「給紙元」（給紙元の選択）

給紙元を設定します。アプリケーションからの印刷で給紙元を指定しないときは、ここで設定した給紙元から給紙されます。給紙カセットや手差しトレイのほかに、オプションのペーパーフィーダを給紙元として設定することもできます。

1 「印刷設定 ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞給紙元」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。

＞給紙元
? カセット

4 ［△］または［▽］キーを押して希望する給紙元を表示させてください。装着されているオプション機器によって、次のように表示されます。

カセット（プリンタの標準カセットのみ使用）
カセット 1～4（オプションのペーパーフィーダのカセット装着時）
手差しトレイ

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「給紙指定動作」（給紙元の設定）

給紙元（カセット、トレイ）と用紙の種類を指定している場合、給紙の仕方を指定する機能です。**「自動」**にすると、用紙のサイズ、種類が合致した給紙元を検索し、一致した給紙元より用紙を送ります。**「固定」**にすると、指定した給紙元が合致しない場合、**「エラー処理」**の**「用紙ミスマッチエラー」**で設定した動作を行います。**「固定」**時の給紙動作については、4-66 ページ**「用紙ミスマッチエラー」**（給紙元固定時の用紙サイズ • 種類のエラー検知設定）を参照してください。初期設定は**「自動」**です。設定を変更する場合は、次の手順で行ってください。

1 **「印刷設定 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>給紙指定動作」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>給紙指定動作
?自動
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「自動」**または**「固定」**を表示させてください。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

印刷途中で用紙がなくなったとき

給紙指定動作を**「固定」**に設定した場合、印刷途中で給紙カセットの用紙がなくなると、**「カセット 1 から給紙します」**と表示して待機します。この場合は、用紙がなくなった給紙カセットに用紙を補給するか、次の手順で他の給紙元から印刷を行います。

1 **「カセット 1 から給紙します」**を表示中に、**「代用給紙しますか ?」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 希望する給紙元およびサイズが表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

［△］または［▽］キーを押すごとに、他の給紙カセットあるいは手差しトレイの現在使用できる給紙サイズが表示されます。

3 **［実行］**キーを押してください。印刷が続行されます。

「両面印刷」（両面印刷モードの設定）

両面印刷が可能な用紙の種類は、給紙カセットから給紙できる用紙です。手差しトレイからのみ給紙できる用紙種類（OHP フィルム、ラベル紙、薄紙、封筒、はがき、加工紙）は、両面印刷できません。（4-32 ページ用紙種類の設定を参照）。

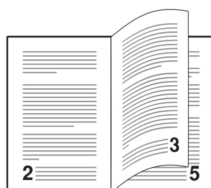
注意：手差しトレイから両面印刷する場合、給紙カセットから給紙できる用紙を使用しないと、紙づまりの原因となりますのでご注意ください。

参考：オプションのペーパーフィーダ（PF-530）を装着した場合、コート紙（加工紙）の両面印刷をすることができます。

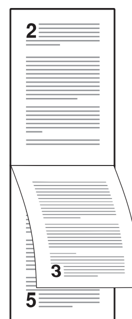
製本モードの設定

製本モードには縁の長い側をとじるロングエッジ（長辺とじ）と、縁の短い側をとじるショートエッジ（短辺とじ）の 2 種類があります。ロングエッジまたはショートエッジは、プリンタの縦置き（ポートレート）印刷や横置き（ランドスケープ）印刷と組み合わせて選択できます。したがって、製本の種類および印刷方向によって、製本モードは次の 4 通りが設定できます。

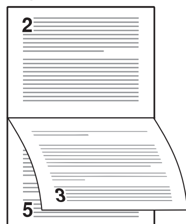
(1) 縦置き・ロングエッジ



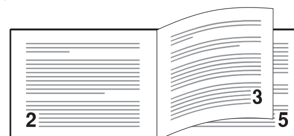
(2) 縦置き・ショートエッジ



(3) 横置き・ロングエッジ



(4) 横置き・ショートエッジ



参考：プリンタードライバーのブックレット機能と組み合わせると、中とじ製本の可能な、ページ割付け印刷ができます。

1 「**印刷設定 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞両面印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**?**」が点滅します。



4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する製本モードを表示させてください。表示されるモードは次のとおりです。

オフ（初期設定）
短辺とじ
長辺とじ

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「A4/LT 共通」（A4/Letter 用紙の共通給紙設定）

この設定を「**オン**」にすると、A4 サイズと Letter を区別せずに給紙を行います。工場出荷時の設定は「**オフ**」（A4 サイズと Letter を区別する）になっています。

1 「**印刷設定 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞ A4/LT **共通**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>A4/LT 共通
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「エミュレーション」（エミュレーションモードの選択）

インタフェースごとに異なるエミュレーションを設定できます。次の手順で選択してください。

1 「**印刷設定 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞**エミュレーション ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。現在選択されているエミュレーションが表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
? KPDL （自動）
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するエミュレーションを表示させてください。次のエミュレーションが、選択できます。

PCL 6（初期設定）
KPDL（PostScriptレベル3互換）
KPDL（自動）（自動選択）

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「エラーレポート」（KPDL エラーの印刷）

KPDL エミュレーションモードで印刷中に、エラーが発生した際にその内容を印刷します。初期設定は、印刷しない設定（オフ）です。KPDL エラーを印刷するには、次の手順で設定を変更してください。

1 **「印刷設定 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>エミュレーション >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ
? PCL 6
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「KPDL」**または**「KPDL（自動）」**を選択して、**［実行］**キーを押してください。

```
>ｴﾐｭﾚｰｼｮﾝ            >
? KPDL (自動)
```

5 ［▷］キーを押してください。**「>>エラーレポート」**が表示されます。初期設定は**「オフ」**になっています。

6 **［実行］**キーを押すと、**「?」**が点滅します。

7 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**を表示させてから、**［実行］**キーを押してください。

```
>>ｴﾗｰﾚﾎﾟｰﾄ
? ｵﾝ
```

8 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「カラーモード」（カラーモードと白黒モードの選択）

カラーモードまたは白黒モードを選択します。初期設定では、カラーモードに設定されています。次の手順でモードを変更できます。

1 **「印刷設定 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>カラーモード」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、**「?」**が点滅します。

```
>ｶﾗｰﾓｰﾄﾞ
? ｶﾗｰ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望するモード（**「カラー」**または**「白黒」**）を表示させてください。

5 **［実行］**キーを押してください。モードが変更されます。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「印刷品質」（印刷品質の設定）

印刷時、光沢の強弱とエコプリント（トナー消費をおさえて印刷）の選択を設定します。

印刷品質の設定には以下の項目があります。

- **「光沢モード」**（光沢モードの設定）
- **「エコプリント モード」**（エコプリントモードの設定）

1 **「印刷設定 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞印刷品質 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>印刷品質          >
```

「光沢モード」（光沢モードの設定）

光沢モードを**「強い」**に設定すると、印刷物の光沢を増すことができます。ただし、印刷時間が長くなります。

重要：光沢モードの**「強い」**は、用紙種類が**「ラベル紙」**や「**OHP フィルム」**以外の設定で有効です（4-32 ページ用紙種類の設定を参照）。

光沢モードで印刷を行うと、用紙の種類や状態によっては用紙にシワが入ることがあります。その場合はシワの入りにくい、厚めの用紙に代えてみてください。

光沢モードは、次のように切り換えます。初期設定は**「弱い」**です。

1 **「＞印刷品質 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞光沢モード」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>光沢ﾓｰﾄﾞ
? 弱い
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「弱い」**か**「強い」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「エコプリント モード」(エコプリントモードの設定)

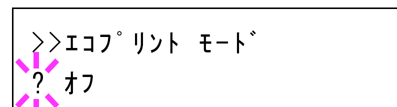
エコプリントモードを**「オン」**にすると、トナー消費量をおさえて印刷することができます。印刷結果は標準解像度に比べ、画像がやや粗くなるため、試しプリントなど高品質な出力紙が必要でないときに使用してください。

エコプリントモードは、次のように切り換えます。初期設定は**「オフ」**です。

1 「**>印刷品質 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>エコプリント モード**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、「?」が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して、**「オン」**か**「オフ」**を選択してください。

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「印刷環境」(印刷環境の設定)

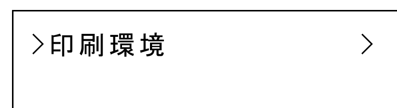
印刷枚数や印刷方向など、印刷環境の設定を行います。

印刷環境の設定には以下の項目があります。

- **「コピー枚数」**(印刷枚数の設定)
- **「印刷の向き」**(印刷方向の選択)
- **「ワイド A4」**(ワイド A4 の設定)
- **「XPS 印刷範囲設定」**(XPS データ 印刷範囲の設定)
- **「TIFF/JPEG サイズ」**(TIFF/JPEG データ印刷方法の設定)

1 「**印刷設定 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>印刷環境 >**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「コピー枚数」(印刷枚数の設定)

現在選択しているインタフェースから印刷する枚数を設定します。

1 「**>印刷環境 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>コピー枚数**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>ｺﾋﾟｰ枚数
          001
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。1 〜 999 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

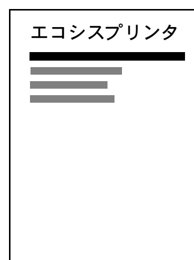
5 希望の印刷枚数を表示させて、**［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

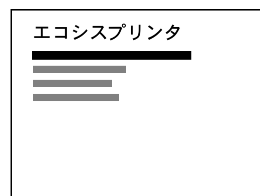
「印刷の向き」（印刷方向の選択）

印刷方向を縦向き、または横向きのどちらかを選択します。

縦向き「たて」



横向き「よこ」



1 **「>印刷環境 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>印刷の向き」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>印刷の向き
? たて
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「たて」**または**「よこ」**を選択してください。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「ワイド A4」（ワイド A4 の設定）

この設定を**「オン」**にすると、A4 ページ 1 行に印刷できる文字数が 80 文字に増加します（10 cpi）。この設定は PCL 6 のエミュレーションでのみ有効になります。

1 **「>印刷環境 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>ワイド A4」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>ﾜｲﾄﾞ A4
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「XPS 印刷範囲設定」（XPS データ 印刷範囲の設定）

この設定を**「オン」**にすると、XPS ドキュメントを、印刷領域に合わせたサイズに拡大または縮小して印刷します。

1 「**>印刷環境 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>> XPS 印刷範囲設定**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>XPS印刷範囲設定
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「TIFF/JPEG サイズ」（TIFF/JPEG データ印刷方法の設定）

TIFF/JPEG データを直接出力するときの出力方法を選択します。初期設定は、**「用紙サイズに合わせる」**です。

1 「**>印刷環境 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>> TIFF/JPEG サイズ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［実行］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>TIFF/JPEG ｻｲｽﾞ
?用紙ｻｲｽﾞに合わせる
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、希望する印刷方法を表示させてください。表示される印刷方法は次のとおりです。

- **「用紙サイズに合わせる」**

  画像サイズが用紙サイズ一杯になるように、拡大または縮小されて出力されます。

- **「画像解像度」**（画像解像度に合わせる）

  画像データの解像度情報を参照して出力されます。解像度情報が無いときは、**「用紙サイズに合わせる」**選択時と同様に出力されます。

- **「印刷解像度」**（印刷解像度に合わせる）

  画像データの 1 dot を印刷データの 1 dot として出力します。例えば 600 dot × 300 dot の画像データは 25.4 mm × 12.7 mm のサイズで出力されます。

5 ［実行］キーを押してください。

6 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

参考：出力される画像は、画像データと出力用紙の縦横比がより近くなる向きに、自動的に回転して出力されます。

「ネットワーク」（ネットワークの設定）

本機は、TCP/IP、TCP/IP（IPv6）プロトコルに対応しています。

IP とは、インターネットプロトコルを意味します。通常 IP は TCP/IP（IPv4）を使用し、次世代の IP である IPv6（バージョン 6）と区別しています。

TCP/IP（IPv4）では、IP アドレスに 32 ビットが使用されていますが、インターネット • ユーザーの急速な拡大に伴って、IP アドレスが不足するようになりました。このため、IP アドレスに 128 ビットを使用し、広範囲に適応できる IPv6 が開発されました。

ネットワークの設定には以下の項目があります。

- 「TCP/IP」（TCP/IP（IPv4）の設定）
- 「TCP/IP（IPv6）」（TCP/IP（IPv6）の設定）

注意：設定するネットワークは、ネットワーク管理者に確認してください。ネットワーク設定後は、本機の電源を入れ直して設定の確認をしてください。

参考：COMMAND CENTER を使用すると、PC からネットワーク設定やセキュリティ設定の変更または確認ができ便利です。詳しくは、京セラ COMMAND CENTER 操作手順書を参照してください。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 「**ネットワーク ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ネットワーク                >
```

「TCP/IP」（TCP/IP（IPv4）の設定）

TCP/IP（IPv4）の各種設定を行います。

TCP/IP システムは、インターネット • システムを示し、インターフェイス層、リンク層、ネットワーク（IP）層、トランスポート（TCP/UDP）層、アプリケーション層の 5 つのレイヤ構成になっています。

インタフェース層は、TCP/IP システムの 1 つの特徴となっている層で、IP モジュール（IP 層）に対してリンク（通信回線：フレーム • リレーや Ethernet など）に依存しない、抽象化されたインタフェースを提供します。このため、IP モジュールは、この抽象化された（リンク種別に依存しない）インタフェースを用いて、IP パケットをリンク層に渡し、リンク層から受け取っています。

TCP/IP（IPv4）の設定には以下の項目があります。

- 「DHCP」（DHCP の設定）
- 「Auto-IP」(Auto IP の設定)
- 「IP アドレス」（IP アドレスの設定）
- 「**サブネットマスク**」（サブネットマスクの設定）
- 「**デフォルトゲートウェイ**」（ゲートウェイの設定）
- 「Bonjour」（Bonjour の設定）

注意：TCP/IP の DHCP、IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、Bonjour のメニューは、TCP/IP オン時に表示されます。

1 **「ネットワーク ＞」**表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞ TCP/IP ＞」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>TCP/IP        >
? ｵﾌ
```

4 [△] または [▽] キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **「オン」**を選択し、**[実行]** キーを押してください。以下の各種設定を行なってください。

「DHCP」（DHCP の設定）

DHCP は、動的ホスト構成プロトコルで、ホストがネットワーク（インターネット）に接続しようとする際に、自ノードの IP アドレスやデフォルト・ルータ（自分が属するネットワーク・システム内にあるルータ）の IP アドレス、DNS（Domain Name System、ドメイン名解決システム）サーバなどの、ネットワーク接続に必要な情報を与えるプロトコルです。DHCP は、BOOTP （Bootstrap Protocol、起動プロトコル。ブート・ピーと読む）を拡張しています。

1 「＞ TCP/IP **オン** ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞ DHCP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>DHCP
? ｵﾌ
```

4 [△] または [▽] キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **[実行]** キーを押してください。

6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「Auto-IP」(Auto IP の設定)

DHCP サーバがない小規模なネットワークに接続されたとき、IP アドレスを自動的に割り振るためのプロトコルです。予約範囲 169.254.0.1 ～ 169.254.255.254 の中から任意のアドレスを 1 つ選択してネットワーク上で他の機器が使用していなければそのアドレスを使います。

1 「＞ TCP/IP **オン** ＞」または「＞ TCP/IP **オフ** ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞ Auto-IP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>Auto-IP
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「IP アドレス」（IP アドレスの設定）

IP アドレスとは、インターネットのデータ（IP パケット）を送受信するため、必要な IP パケットの中に含まれている、PC などの住所のことを示します。（宛先アドレスと送信アドレスがある）。

具体的には、インターネットに接続された PC（ホスト）を識別する「ホスト・アドレス（ホスト部とも言う）」と、その PC（ホスト）が属しているネットワーク（具体的には PC のネットワーク・インタフェースを指す）を識別する「ネットワーク・アドレス（ネットワーク部）」の 2 つで構成され、ビット列となっています。インターネット・システム全体の中で唯一の（一意の）ビット列（IP アドレス）が、それぞれの PC あるいはインタフェースに割り当てられます。

現在のインターネット（IPv4：IP バージョン 4）で用いられている IP アドレスは、32 ビットの固定長となっています。

注意：IP アドレスを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 「＞ TCP/IP **オン** ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ IP **アドレス**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>IPｱﾄﾞﾚｽ
 000.000.000.000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ～ 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望の IP アドレスを表示させて、［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「サブネットマスク」（サブネットマスクの設定）

サブネットマスクは、IP アドレスのネットワーク • アドレス部を増やす方法です。

サブネット • マスクは、ネットワーク • アドレス部をすべて 1 として表現し、ホスト • アドレス部をすべて 0 として表現します。プレフィックス長は、ネットワーク • アドレス部の長さをビット数で表します。プレフィックス（Prefix）とは、「接頭辞」つまり、「前に付けるもの」という意味があり、IP アドレスの「先頭部分」を指します。

IP アドレスを表記するときに、ネットワーク • アドレス部の長さまで表現したい場合は、“133.201.2.0/24”のように“/”（スラッシュ）の後にプレフィックス長（この場合は「24」）を書くことになっています。したがって、「133.201.2.0/24」は、プレフィックス長（つまりネットワーク部）が 24 ビットの「133.201.2.0」という IP アドレスということになります。

サブネット • マスクによって新しく増えたネットワーク • アドレス部（本来のホスト • アドレス部の一部分）をサブネット • アドレスと呼びます。

注意：サブネットマスクを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 **「> TCP/IP オン >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>>サブネットマスク」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>>ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ
 000.000.000.000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 ～ 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望のサブネットマスクを表示させて、**［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「デフォルトゲートウェイ」（ゲートウェイの設定）

ゲートウェイとは、一般的にプロトコル体系が異なるネットワーク間を相互接続するためのプロトコル変換器のことを示します。

例えば、異なる閉じたネットワーク（独自のプロトコル環境）と、オープンなインターネット（TCP/IP プロトコル環境）をつなぐ装置として「ゲートウェイ」が必要となります。

ゲートウェイを導入することによって、異なるネットワーク間で「通信プロトコル」や「データの表示方法」が相互に変換できるようになります。

TCP/IP ネットワークでは、ルータを指してゲートウェイ（デフォルト • ゲートウェイ）といいます。

注意：ゲートウェイを入力するときは、DHCP の設定をオフにしてください。

1 「＞ TCP/IP **オン** ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞**デフォルトゲートウェイ**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲ
 000.000.000.000
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。000 〜 255 まで設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 希望のゲートウェイを表示させて、［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「Bonjour」（Bonjour の設定）

Bonjour は、ゼロコンフィギュレーション • ネットワークとも呼ばれています。IP ネットワーク上の PC、デバイス、およびサービスを自動的に検出するサービスです。

Bonjour は、業界標準の IP プロトコルが使用されているので、IP アドレスを入力したり DNS サーバを設定しなくても、デバイスが相互に自動的に検出されます。

また、Bonjour は、UDP ポート 5353 上でネットワークパケットを送受信します。ファイアウォールを有効にしている場合は、Bonjour が正しく動作するように UDP ポート 5353 が開いていることを確認する必要があります。一部のファイアウォールは、Bonjour パケットの一部だけを拒否するように設定されていることがあります。Bonjour の動作が不安定な場合には、ファイアウォールの設定を確認して、Bonjour が例外リストに登録されていて受信パケットを受け入れるように設定されていることを確認してください。Bonjour を Windows XP Service Pack 2 以降にインストールする場合、Windows ファイアウォールは Bonjour によって適切に設定されます。

1 「＞ TCP/IP **オン** ＞」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「＞＞ Bonjour」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>Bonjour
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「TCP/IP（IPv6)」(TCP/IP（IPv6）の設定）

TCP/IP（IPv6）の各種設定を行います。

TCP/IP（IPv6）は、アドレスの不足が心配される現行のインターネットプロトコル TCP/IP（IPv4）をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコルを示します。

TCP/IP（IPv6）の設定には以下の項目があります。

- 「RA（Stateless)」(RA（Stateless）の設定）
- 「DHCPv6」(DHCPv6 の設定）

注意：TCP/IP（IPv6）の RA (Stateless)、DHCPv6 のメニューは、TCP/IP（IPv6）オン時に表示されます。

---

1 「**ネットワーク >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「> TCP/IP （IPv6）>」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>TCP/IP (IPv6)      >
? ｵﾌ
```

4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 「**オン**」を選択し、[**実行**] キーを押してください。以下の各種設定を行なってください。

「RA（Stateless)」(RA（Stateless）の設定）

IPv6 ルータは、グローバルアドレスのプレフィックスなどの情報を ICMPv6 で知らせます。この情報が Router Advertisement（RA）です。

また、ICMPv6 はインターネット制御メッセージ プロトコルのことで、RFC 2463 「Internet Control Message Protocol（ICMPv6）for the Internet Protocol Version 6 (IPv6) Specification」で定義されている IPv6 標準です。

1 「> TCP/IP （IPv6）**オン**>」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「>> RA（Stateless)」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>RA(Stateless)
? ｵﾌ
```

4 [△] または [▽] キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「DHCPv6」（DHCPv6 の設定）

DHCPv6 は、次世代のインターネットプロトコルである IPv6 をサポートする動的ホスト構成プロトコルのことで、構成情報をネットワーク上のホストに渡すためのプロトコルを定義している BOOTP の拡張します。

DHCPv6 を使うと、DHCP サーバーは拡張機能を使って IPv6 ノードに構成パラメータを送信できるようになります。再利用可能なネットワークアドレスが自動的に割り当てられるため、管理者が IP アドレスの割り当てを細かく制御する必要がある環境では、IPv6 ノードの管理が低減されます。

1 「> TCP/IP （IPv6）**オン>**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>> DHCPv6」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>DHCPv6
? ｵﾌ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「デバイス全般」（デバイス全般の選択・設定）

本機の機能全般を選択・設定します。

デバイス全般の選択・設定には以下の項目があります。

- **「表示言語」**（表示言語の選択）
- **「日時設定」**（日付と時刻の設定）
- **「ブザー」**（ブザーの設定）
- **「RAM ディスクモード」**（RAM ディスクの操作）
- **「ハードディスク」**（ハードディスクの操作）
- **「エラー処理」**（エラー検知の設定）
- **「時間」**（時間の設定）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「デバイス全般 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ﾃﾞﾊﾞｲｽ全般          >
```

「表示言語」（表示言語の選択）

メッセージディスプレイに表示するメッセージの言語を、日本語または英語に設定できます。

1 **「デバイス全般 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞表示言語**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 表示言語を変えるときは、［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>表示言語
?日本語
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、言語を変更してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「日時設定」（日付と時刻の設定）

日付と時刻を設定します。

日付と時刻の設定には以下の項目があります。

- **「日時 (年 / 月 / 日)」**（日付の設定）
- **「時刻 (時 / 分 / 秒)」**（時刻の設定）
- **「日付形式」**（日付表示形式の選択）

1 **「デバイス全般 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>日時設定 >**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
>日時設定         >
```

「日時 (年 / 月 / 日)」(日付の設定)

1 「**>日時設定 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>日時 (年 / 月 / 日)**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、カーソル (_) が点滅します

```
>>日時 (年/月/日)
2010 / 01 / 01
```

4 矢印キーを使って、「**年**」、「**月**」、「**日**」を設定してください。

[△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

参考:「年」、「月」、「日」の表示される順番は、4-61 ページ「**日付形式**」(日付表示形式の選択) によって変わります。

---

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「時刻 (時 / 分 / 秒)」(時刻の設定)

1 「**>日時設定 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>時刻 (時 / 分 / 秒)**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押すと、カーソル (_) が点滅します。

```
>>時刻(時/分/秒)
11 : 19 : 21
```

4 矢印キーを使って、「**時**」、「**分**」、「**秒**」を設定してください。

[△] または [▽] キーを押して、点滅しているカーソルの位置の数値を増減してください。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルを左右に移動できます。

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「日付形式」（日付表示形式の選択）

1 「＞**日時設定** ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞**日付形式**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 [**実行**] キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>>日付形式
?  年/月/日
```

4 [△] または [▽] キーを押して、希望する日付形式を表示させてください。

次の日付形式が選択できます。

- **（月 / 日 / 年）**
- **（日 / 月 / 年）**
- **（年 / 月 / 日）**

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「ブザー」（ブザーの設定）

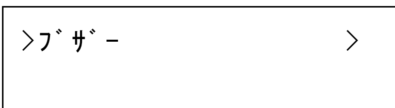
プリンタの状況や操作をブザーを鳴らして知らせる機能です。プリンタが離れた場所にある場合などに便利です。

ブザーの設定には以下の項目があります。

- 「**キー操作**」（操作確認音の設定）
- 「**印刷完了**」（印刷完了音の設定）
- 「**準備完了**」（準備完了音の設定）
- 「**警告**」（警告音の設定）

1 「**デバイス全般** ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞**ブザー** ＞」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。



「キー操作」（操作確認音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、キーの操作時に音が鳴ります。初期設定は「**オン**」です。

1 「＞**ブザー** ＞」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「＞＞**キー操作**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>キー操作
?オン
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「印刷完了」（印刷完了音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、印刷の完了時に音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「**>ブザー >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>印刷完了**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>印刷完了
?オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「準備完了」（準備完了音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、印刷準備が整ったとき音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「**>ブザー >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>準備完了**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>準備完了
?オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「警告」（警告音の設定）

この設定を「**オン**」にすると、印刷中に起きる用紙切れや紙づまりなど不具合時に音が鳴ります。初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ブザー ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞＞警告**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押すと、「?」が点滅します。

```
>>警告
?オフ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「RAM ディスクモード」（RAM ディスクの操作）

本機は RAM ディスク機能を搭載しています。RAM ディスクはプリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定できます。この機能により電子ソートが可能になり、トータルの印刷時間を短縮できます。RAM ディスクは初期設定では「**オフ**」に設定されています。

RAM ディスクを有効にした場合、最大設定値は標準で 16 MB、オプションメモリを装着した時はその装着したオプションメモリの 1/2 の値になります。

RAM ディスク機能を使用する前に、次のセクションで説明する方法で RAM ディスクを「**オン**」に設定し、RAM ディスクのデータサイズを設定後、再起動してください。

参考：本機はオプションのハードディスクと RAM ディスクの 2 種類のストレージ装置を使用できます。ハードディスクは、プリンタの専用スロットに装着して使用します。RAM ディスクは、プリンタのメモリの一部を RAM ディスクに割り当てて使用します。

注意：ハードディスクを装着した場合、RAM ディスク機能は使用できません。

RAM ディスクは一時的にデータを保存する機能です。プリンタを再起動したり電源を切った場合は消去されます。

RAM ディスクは、ジョブボックスの一部の機能が使用できます。

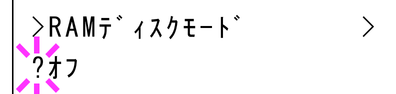
RAM ディスクはプリンタのユーザ使用可能メモリの中に割り当てられます。したがって、RAM ディスクの設定値によっては、印刷速度が落ちたり、メモリ不足のために正常に印刷されない場合があります。

---

1 「**デバイス全般 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞ RAM ディスクモード ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押すと、「?」が点滅します。



4 ［△］または［▽］キーを押して**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

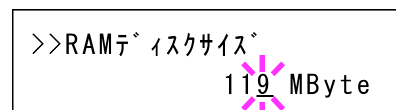
「RAMディスクサイズ」（RAMディスクのデータサイズ設定）

RAMディスクに使用するメモリ量を設定します。

注意：RAMディスクサイズメニューは、RAMディスクモード オン時に表示されます。

1 **「> RAMディスクモード オン >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **［実行］**キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。［△］または［▽］キーでRAMディスクのサイズを変更してください。001～512の範囲で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルを左右に移動できます。



設定できる範囲はプリンタの総メモリによって変わります。

希望のRAMディスクサイズを表示させて、**［実行］**キーを押してください。

3 **［メニュー］**キーを押してください。この後プリンタの電源を入れ直してください。再起動後に設定が有効になります。

「ハードディスク」（ハードディスクの操作）

オプションのハードディスクを装着すると、次の操作が可能になります。

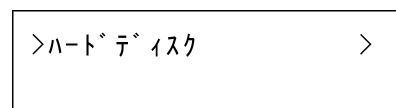
- **「ハードディスクのフォーマット」**（ハードディスクの初期化）

ハードディスクのフォーマットは、ハードディスクを初めてプリンタに装着した際に必要な操作です。

参考：ハードディスクを装着すると、ユーザボックスおよびジョブボックスの機能を使用できます。

1 **「デバイス全般 >」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「>ハードディスク >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。



「ハードディスクのフォーマット」（ハードディスクの初期化）

未使用のハードディスクを使用するためには、最初に本機でハードディスクのフォーマットを行う必要があります。初期化すると、ハードディスクへのデータの書き込みが可能になります。

参考：すでにデータの書き込まれているハードディスクに対してフォーマットを行った場合は、そのハードディスク内のデータはすべて消去されます。

ハードディスクのフォーマットは、必ずプリンタで行ってください。

ハードディスクをフォーマットするときは、次の手順で行ってください。本機でフォーマットしていないハードディスクを装着した場合は、**「ハードディスクを フォーマットしてください」**が表示されます。

1 「**>ハードディスク >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>ハードディスクのフォーマット**」が表示されます。

3 ［**実行**］キーを押すと、「**?**」が点滅します。

```
>>ハードディスクのフォーマット ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。

「データ処理中です」が表示され、ハードディスクのフォーマットが実行されます。フォーマットが終了すると、メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「エラー処理」（エラー検知の設定）

両面印刷時のエラーや給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラーの検知方法を設定できます。

エラー検知の設定には以下の項目があります。

- **「両面印刷処理」**（両面印刷時のエラー検知設定）
- **「用紙ミスマッチエラー」**（給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定）
- **「手差し紙なし表示」**（手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定）

1 「**デバイス全般 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>エラー処理 >**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>エラー処理                >
```

「両面印刷処理」（両面印刷時のエラー検知設定）

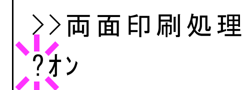
両面印刷を行う時、両面印刷できないラベルなどの用紙種類を指定した場合に、**「両面印刷できません 解除を押してください」**のメッセージを表示するか、しないかを選択できます。

オン	• **[印刷可/解除]**キーを押すと、片面印刷を行います。 • **[キャンセル]**キーを押すと、印刷そのものをキャンセルします。
オフ	片面印刷を行います。

1 「**>エラー処理 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>両面印刷処理** 」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押してください。「**?**」が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **[実行]** キーを押してください。

6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

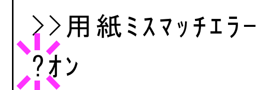
「用紙ミスマッチエラー」（給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知設定）

給紙元を固定して印刷するときに、用紙サイズまたは種類が異なる場合、そのまま給紙する（オフ）、もしくは給紙エラーを表示する（オン） を選択できます。

1 「**>エラー処理 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>用紙ミスマッチエラー** 」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押してください。「**?**」が点滅します。



4 [△] または [▽] キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **[実行]** キーを押してください。

6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「手差し紙なし表示」（手差しトレイに用紙が無い場合の表示設定）

給紙元を手差しトレイに固定して印刷するときに、手差しトレイに用紙が無い場合、用紙なしメッセージを表示する（オン）、もしくは表示しない（オフ）を選択できます。

「オン」にすると、手差しトレイに用紙が無い場合、常に用紙なしメッセージが表示されます。

1 「**>エラー処理 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>手差し紙なし表示** 」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

```
>>手差し紙なし表示
?ｵﾝ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「時間」（時間の設定）

自動改ページの待ち時間やオートスリープの待ち時間など、時間に関する設定を行います。

時間の設定には以下の項目があります。

- **「改ページ待ち時間」**（自動改ページ待ち時間（タイムアウト）の設定）
- **「スリープ時間」**（スリープ（待機）時間の設定）
- **「オートエラークリア」**（オートエラークリアの設定）
- **「エラークリア時間」**（オートエラークリアの復帰時間の設定）
- **「オートパネルリセット」**（オートパネルリセットの設定）
- **「パネルリセット時間」**（パネルリセット時間の設定）

1 「**デバイス全般 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>時間 >**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>時間                >
```

「改ページ待ち時間」（自動改ページ待ち時間（タイムアウト）の設定）

プリンタは PC からの印刷データを受け取る際に、PC からのデータ送信が終了したことを示す情報がないと、最後のページを印刷せずに待機します。あらかじめ設定された待ち時間が経過すると、自動的に改ページして残りのデータを印刷します。初期設定では 5 秒です。

1 「**>時間 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>改ページ待ち時間**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>改ﾍﾟｰｼﾞ待ち時間
       005sec.
```

4 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 5 秒単位で 5 〜 495 秒の間で設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 **[実行]** キーを押してください。

6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「スリープ時間」（スリープ（待機）時間の設定）

プリンタがスリープモードに入るまでの時間を設定します。印刷データを受信したり、操作パネルの **[印刷可 / 解除]** キーを押すと、プリンタはスリープモードより復帰します。初期設定では 1 分です。

1 「**>時間 >**」表示中に、[▷] キーを押してください。

2 「**>>スリープ時間**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

3 **[実行]** キーを押すと、カーソル（_）が点滅します。

```
>>ｽﾘｰﾌﾟ時間
       001 min.
```

4 [△] または [▽] キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。希望の時間を設定してください。待ち時間は 1 〜 240 分の間で設定できます。[◁] または [▷] キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 **[実行]** キーを押してください。

6 **[メニュー]** キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「オートエラークリア」（オートエラークリアの設定）

継続印刷の可能なエラーが発生した場合、一定時間が経過した後に次に受信しているデータを自動的に継続印刷します。たとえばプリンタを共有している場合、前に印刷していた人がそれらのエラーを発生させても、一定時間後には他の人の印刷を継続して印刷できます。初期設定は**「オフ」**（自動継続印刷しない）です。

継続印刷可能なエラー：

- **「メモリオーバーフロー 解除を押してください」**
- **「プリントオーバーラン 解除を押してください」**
- **「KPDL エラー 解除を押してください」**
- **「ハードディスクエラー 解除を押してください」**
- **「RAM ディスクエラー 解除を押してください」**
- **「部門コードが違います 解除を押してください」**
- **「印刷制限を超えました 解除を押してください」**
- **「印刷制限されています 解除を押してください」**
- **「部門管理設定エラー ## 解除を押してください」**
- **「両面印刷できません 解除を押してください」**
- **「ジョブを保存できません 解除を押してください」**
- **「複数印刷できません 解除を押してください」**
- **「USB メモリエラー 解除を押してください」**

継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの時間は、次の**エラークリアの復帰時間の設定**で行ってください。

1 **「＞時間 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞＞オートエラークリア」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が点滅します。

>>ｵｰﾄｴﾗｰｸﾘｱ
?ｵﾌ

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

5 **［実行］**キーを押してください。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「エラークリア時間」（オートエラークリアの復帰時間の設定）

オートエラークリアを**「オン」**に設定した場合、継続印刷が可能なエラーが発生してから印刷を再開するまでの復帰時間を設定します。

1 **「＞時間 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>>**エラークリア時間**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

```
>>ｴﾗｰｸﾘｱ時間
          030sec.
```

4 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 〜 495 秒の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「オートパネルリセット」（オートパネルリセットの設定）

オートパネルリセットは、一定時間操作がないと、設定内容が自動的にリセットされて初期値に戻る機能です。初期設定は「**オン**」（解除する）です。

リセットするまでの時間は、次の**パネルリセット時間の設定**で行ってください。

1 「>**時間** >」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>>**オートパネルリセット**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>>ｵｰﾄﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ
? ｵﾝ
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「パネルリセット時間」（パネルリセット時間の設定）

オートパネルリセットを「**オン**」に設定した場合、操作終了後、オートリセットされるまでの時間を設定できます。初期設定では 120 秒です。

1 「>**時間** >」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>>**パネルリセット時間**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

```
>>ﾊﾟﾈﾙﾘｾｯﾄ時間
          120sec.
```

4 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の時間を設定してください。設定時間は 5 秒単位で 005 ～ 495 秒の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「セキュリティ」（セキュリティ機能の設定）

本機の操作およびデータを保護するため、セキュリティ機能の設定ができます。

セキュリティ機能の設定には以下の項目があります。

- 「ID」（管理者 ID の入力）
- **「パスワード」**（管理者パスワードの入力）
- **「インタフェースブロック」**（インタフェース（外部機器）ブロックの設定）
- 「NetWare」（NetWare の設定）
- 「AppleTalk」（AppleTalk の設定）
- 「IPP」（IPP の設定）
- **「SSL サーバ」**（SSL サーバの設定）
- 「IPSec」（IPSec の設定）
- **「セキュリティレベル」**（セキュリティレベルの設定）

参考：COMMAND CENTER を使用すると、PC からネットワーク設定やセキュリティ設定の変更または確認ができ便利です。詳しくは、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**を参照してください。

---

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「セキュリティ ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
セキュリティ                >
```

「ID」（管理者 ID の入力）

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。

1 **「セキュリティ ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル（__）が点滅します。

```
ID
_
```

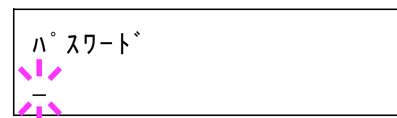
3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。次の手順**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

セキュリティ機能を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。

1 前の手順**「ID」（管理者 ID の入力）**で正しい ID を入力すると、**「パスワード」**（管理者パスワードの入力）が表示され、カーソル（__）が点滅します。



2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0（設定なし）～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、**「ID が違います」**もしくは**「パスワードが違います」**が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

---

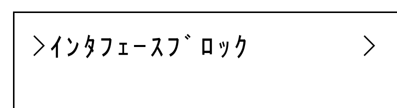
3 ［**実行**］キーを押してください。セキュリティ機能設定画面に移ります。

「インタフェースブロック」（インタフェース（外部機器）ブロックの設定）

インタフェースをブロックして、データ通信を行わないように設定できます。インタフェースブロックの設定には以下の項目があります。

- **「USB ホスト」**（USB メモリスロットの設定）
- **「USB デバイス」**（USB インタフェースの設定）
- **「オプションインタフェース」**（ネットワーク インタフェース（NIC：Network Interface Card）の設定）

1 管理者 ID とパスワード入力後、**「>インタフェースブロック >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

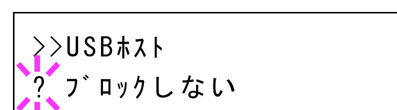


「USB ホスト」（USB メモリスロットの設定）

USB メモリスロット（USB ホスト）をブロックして保護します。初期設定は**「ブロックしない」**です。

1 **「>インタフェースブロック >」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「>> USB ホスト」**が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。**「?」**が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、**「ブロックする」**または**「ブロックしない」**を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「USB デバイス」（USB インタフェースの設定）

USB インタフェースをブロックして保護します。初期設定は**「ブロックしない」**です。

1 **「>インタフェースブロック >」**表示中に、**［▷］**キーを押してください。**「>> USB デバイス」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が点滅します。

```
>>USBﾃﾞﾊﾞｲｽ
? ﾌﾞﾛｯｸしない
```

3 **［△］**または**［▽］**キーを押して、**「ブロックする」**または**「ブロックしない」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「オプションインタフェース」（ネットワーク インタフェース（NIC：Network Interface Card）の設定）

ネットワーク インタフェース（NIC）をブロックして保護します。初期設定は**「ブロックしない」**です。

注意：「オプションインタフェース」は、ネットワークインタフェースが装着されている場合のみ表示されます。

---

1 **「>インタフェースブロック >」**表示中に、**［▷］**キーを押してください。**「>>オプションインタフェース」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が点滅します。

```
>>ｵﾌﾟｼｮﾝｲﾝﾀﾌｪｰｽ
? ﾌﾞﾛｯｸしない
```

3 **［△］**または**［▽］**キーを押して、**「ブロックする」**または**「ブロックしない」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「NetWare」（NetWare の設定）

NetWare（ネットウェア）は、PC で動作するサーバ専用のネットワーク • オペレーティング • システムです。

NetWare は、クライアント • サーバ型のシステムであり、サーバ機に NetWare OS を、クライアント機（MS-DOS、OS/2、Windows など）に専用のクライアントモジュール（NetWare クライアント）を導入して運用します。ネットワーク層のプロトコルは、独自の IPX (Internetwork Packet eXchange)/SPX (Sequenced Packet eXchange) を用いるのが基本ですが、TCP/IP にも対応しています。

NetWare OS の特徴は、完全にサーバ用途に特化しており、Windows NT や UNIX などの汎用 OS とは異なります。サーバ機の NetWare OS のコンソールからはサーバの運用に必要な最低限の操作しかできず、基本的にサーバやファイルの管理はクライアント機から管理ツールを用いて行います。また、ドライバーやプロトコルスタックなどがすべて NetWare Loadable Module (NLM) というモジュール形式になっており、NLM の動的なロード • アンロードが自在に行えることも大きな特徴です。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「> NetWare >」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>NetWare          >
```

2 **［実行］**キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>NetWare          >
?オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「フレームタイプ」（フレームタイプの設定）

NetWare のフレームタイプを設定します。フレームとは、ネットワークを流れるひとかたまりのデータを示します。初期設定は**「自動」**です。

1 「> NetWare **オン**>」表示中に、［▷］キーを押してください。**「>>フレームタイプ」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>>フレームタイプ
? 自動
```

3 ［△］または［▽］キーを押して希望するフレームタイプを表示させて、**［実行］**キーを押してください。表示されるタイプは次のとおりです。

- **「自動」**（自動選択）
- 「802.3」
- 「Ethernet-II」
- 「802.2」
- 「SNAP」

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「AppleTalk」（AppleTalk の設定）

AppleTalk（アップルトーク）は、主に Macintosh で使用されている通信プロトコル、または Mac OS のネットワーク機能を示します。

AppleTalk は 24 ビットのネットワークアドレス（16 ビットのネットワーク部と 8 ビットのノードアドレス）を実装し、ネットワーク上で各機器（PC やプリンタなど）の識別に利用します。

電源を投入すると、ブロードキャスト信号をネットワーク上に流し、自動的にアドレスとマシン名を割り当てます。

初期設定は**「オン」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「> AppleTalk」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>AppleTalk
```

2 **［実行］**キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>AppleTalk
?オン
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「IPP」（IPP の設定）

IPP（Internet Printing Protocol、インターネット プリンティング プロトコル）は、インターネット網に代表される TCP/IP ネットワークを利用して、遠隔地にあるプリンタと PC の間で印刷データなどのやりとりを行うための規格です。

Web ページの閲覧に使われる HTTP を拡張した規格であり、ルータによって隔てられた遠隔地のプリンタに対しても印刷操作を行うことが可能になります。また、HTTP の認証機構や、SSL によるサーバ認証、クライアント認証、および暗号化にも対応しています。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

---

1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPP」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
>IPP
```

2 [**実行**] キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>IPP
?ｵﾌ
```

3 [△] または [▽] キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 [**実行**] キーを押してください。

5 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「SSL サーバ」（SSL サーバの設定）

SSL（Secure Sockets Layer）はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するプロトコルを示します。現在、インターネットで広く使われている WWW や FTP などのデータを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができます。

SSL サーバは、このプロトコルを使用し、サーバおよびクライアントの認証を行います。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

---

1 管理者 ID とパスワード入力後、「> **SSL サーバ** >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
>SSLｻｰﾊﾞ          >
  ｵﾌ
```

2 [**実行**] キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>SSLｻｰﾊﾞ          >
? ｵﾌ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「DES」（SSL サーバの DES 設定）

DES（Data Encryption Standard）は、代表的な共通鍵暗号アルゴリズムで、データを 64 ビット長のブロックに分割し、各ブロックを 56 ビット長の鍵で暗号化する共通鍵暗号方式を使用しています。

参考：共通鍵暗号方式では、暗号鍵と復号鍵が共通なため、暗号情報をやり取りする双方で鍵を共有する。したがって鍵の漏えいを防ぐために、鍵の受け渡しや保管などにおいて厳重な管理が必要となります。

初期設定は**「オフ」**です。

1 **「＞ SSL サーバ オン＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「＞＞ DES」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「3DES」（SSL サーバの 3DES 設定）

3DES（Triple Data Encryption Standard）は、DES を 3 重に繰り返すことで、暗号強度を高めています。

初期設定は**「オン」**です。

1 **「＞ SSL サーバ オン＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。**「＞＞ 3DES」**が表示されます。

2 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 **［実行］**キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「AES」（SSL サーバの AES 設定）

AES（Advanced Encryption Standard）は、DES の安全性が低下してきたことを背景に、DES に代わる標準暗号として開発されました。AES は、SPN 構造（繰返し暗号の代表的な構成法）を採用したブロック長 128 ビットのブロック暗号で、鍵長は 128 ビット、192 ビット、256 ビットの 3 つを選択できます。

初期設定は「**オン**」です。

1 「**＞ SSL サーバ オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。「＞＞ AES」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「IPP over SSL」（SSL サーバの IPP over SSL 設定）

IPP over SSL は、ネットワークにおける印刷で、ユーザとサーバ間の通信を SSL を使って暗号化する機能のことです。IPP over SSL を利用するには、サーバとクライアントがともに対応している必要があります。

初期設定は「**オフ**」です。

1 「**＞ SSL サーバ オン＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。「＞＞ IPP over SSL」が表示されます。

2 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「HTTPS」（SSL サーバの HTTPS 設定）

HTTPS（HyperText Transfer Protocol Secure）は、 WWW サーバとクライアントの間でデータ転送を行う HTTP に SSL によるデータの暗号化、メッセージ認証、ディジタル署名の機能を付加したプロトコルのことです。

同様のプロトコルに S-HTTP がありますが、HTTPS は、SSL を利用しているという点が異なります。

初期設定は**「オン」**です。

1 「> SSL サーバ オン>」表示中に、［▷］キーを押してください。「>> HTTPS」が表示されます。

2 ［実行］キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>>HTTPS
? オン
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「IPSec」（IPSec の設定）

IPSec（IP Security Protocol）は、IETF で標準化された第 3 層のネットワーク層（IP 層）での認証および暗号化を行うためのセキュリティ プロトコルのことです。

IPv4 と IPv6 の双方に適用ができます。

参考：IPv4 では、IP アドレスに 32 ビットが使用され、IPv6 では、128 ビットが使用されます。

初期設定は**「オフ」**です。

参考：ネットワークの設定は、ネットワーク管理者に確認してください。

---

1 管理者 ID とパスワード入力後、「> IPSec」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>IPSec
```

2 ［実行］キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>IPSec
? オフ
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、**「オン」**または**「オフ」**を選択してください。

4 ［実行］キーを押してください。

5 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

「セキュリティレベル」（セキュリティレベルの設定）

「セキュリティレベル」（セキュリティレベルの設定）は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

「部門管理」（部門管理の選択・設定）

部門管理は、部門コードを入力することにより、部門別の使用枚数を管理できる機能です。

本機の部門管理には次の特長があります。

- 最大 100 部門までの管理ができます。
- 部門コードは、1 ～ 99999999 までの最大 8 桁を入力できます。
- 同じ部門コードで、印刷をまとめて管理できます。
- 使用枚数を部門ごとに集計することができます。
- 使用枚数を 1 ～ 9,999,999 枚の範囲で制限することができます。
- 使用枚数を部門ごとにリセットすることができます。

部門管理の選択 • 設定には以下の項目があります。

- 「ID」（管理者 ID の入力）
- **「パスワード」**（管理者パスワードの入力）
- **「部門管理」**（部門管理の設定）
- **「部門の選択」**（部門別の設定）
- **「部門の登録」**（部門の登録）
- **「部門の削除」**（部門の削除）
- **「部門管理リストの印刷」**（部門管理リストの出力）

注意：**「部門の選択」**および**「部門の削除」**は、部門コードが登録されている場合に表示されます。また、**「部門の登録」**は、登録部門数が最大を超えていない場合に表示されます。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 「**部門管理 ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
部門管理          >
```

「ID」（管理者 ID の入力）

部門管理を設定するには、管理者 ID の入力が必要です。管理者 ID の設定手順は、**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。

1 「**部門管理 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル（_）が点滅します。

```
ID
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。次の手順「**パスワード**」（**管理者パスワードの入力**）へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

部門管理を設定するには、管理者 ID の入力の後、管理者パスワードの入力が必要です。管理者パスワードの設定手順は、「**管理者**」（**管理者の設定**）を参照してください。

1 前の手順「**ID**」（**管理者 ID の入力**）で正しい ID を入力すると、「**パスワード**」（管理者パスワードの入力）が表示され、カーソル（__）が点滅します。



2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、「**ID が違います**」もしくは「**パスワードが違います**」が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

---

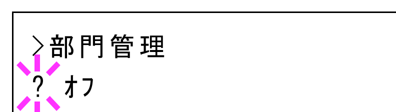
3 ［**実行**］キーを押してください。部門管理の選択 • 設定の画面に移ります。

「部門管理」（部門管理の設定）

部門管理の機能をオン • オフ設定できます。初期設定は「**オフ**」です。

1 管理者 ID とパスワード入力後、「**>部門管理**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押して、「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

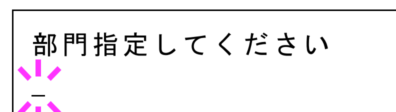
4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

部門管理がオンの場合

部門管理をオンにすると、ステータスページやリストを取り出すときに部門コードを入力する画面が表示されます。

1 部門コードを入力する画面で、カーソル（__）が点滅します。



2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された部門コードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。コードは 1 ～ 8 桁の数字で入力してください。

参考：間違った部門コードを入力すると、再び入力画面に戻ります。正しいコードを入力し直してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。部門が確定され、印刷が始まります。

「部門の選択」（部門別の設定）

部門コード別に管理する各種機能の設定をします。

部門別の設定には以下の項目があります。

- **「カウンタの表示」**（部門別カウンタ（カラー・白黒合計）の枚数管理）
- **「カラーカウンタの表示」**（部門別カウンタ（カラー）の枚数管理）
- **「制限の種類」**（印刷制限（カラー・白黒合計）の選択）
- **「カラー制限種類」**（印刷制限（カラー）の選択）
- **「印刷制限」**（印刷制限（カラー・白黒合計）枚数の設定）
- **「カラー印刷制限」**（印刷制限（カラー）枚数の設定）
- **「カウンタの初期化」**（カウンタの初期化）

1 「**部門管理 ＞**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**＞部門の選択 ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

>部門の選択 >
?00000000

4 ［△］または［▽］キーを押すと、登録されている部門コードが循環して表示されます。

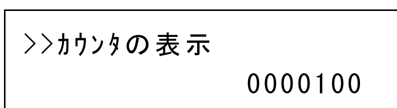
5 希望の部門コードを表示させて、［**実行**］キーを押してください。［▷］キーを押すと、部門別の設定画面に移ります。

「カウンタの表示」（部門別カウンタ（カラー・白黒合計）の枚数管理）

現在選択されている部門の全印刷枚数を表示します。

注意：部門別カウンタは、表示のみで変更はできません。

1 部門コードを確定後、「**＞＞カウンタの表示**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。（例：100）



カウンタの表示は、0000000 ～ 9999999 です。

2 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カラーカウンタの表示」（部門別カウンタ（カラー）の枚数管理）

現在選択されている部門のカラー印刷枚数を表示します。

注意：部門別カウンタは、表示のみで変更はできません。

1 部門コードを確定後、「**>>カラーカウンタの表示**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。（例：50）

```
>>ｶﾗｰｶｳﾝﾀの表示
        0000050
```

カウンタの表示は、0000000 ～ 9999999 です。

2 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「制限の種類」（印刷制限（カラー・白黒合計）の選択）

現在選択されている部門の全印刷における制限機能を設定します。使用制限すると、部門ごとに使用を禁止したり使用できる枚数を制限したりすることができます。

1 部門コードを確定後、「**>>制限の種類**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

```
>>制限の種類
? 制限なし
```

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用制限の種類を選んでください。表示される使用制限は以下の通りです。

- 「**制限なし**」（制限をしない場合）
- 「**カウンタ**」（枚数制限をする場合）
- 「**印刷禁止**」（印刷を禁止する場合）

4 ［**実行**］キーを押してください。使用制限が設定されます。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カラー制限種類」（印刷制限（カラー）の選択）

現在選択されている部門のカラー印刷における制限機能を設定します。使用制限すると、部門ごとに使用を禁止したり使用できる枚数を制限したりすることができます。

1 部門コードを確定後、「**>>カラー制限種類**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。

>>ｶﾗｰ制限種類
? 制限なし

3 ［△］または［▽］キーを押して、使用制限の種類を選んでください。表示される使用制限は以下の通りです。

- 「**制限なし**」（制限をしない場合）
- 「**カウンタ**」（枚数制限をする場合）
- 「**印刷禁止**」（印刷を禁止する場合）

4 ［**実行**］キーを押してください。使用制限が設定されます。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「印刷制限」（印刷制限（カラー・白黒合計）枚数の設定）

現在選択されている部門における全印刷の印刷枚数を制限します。

1 部門コードを確定後、「**>>印刷制限**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>>印刷制限
0000001

3 ［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の枚数を設定してください。設定枚数は 0000001 ～ 9999999 の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

4 ［**実行**］キーを押してください。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「カラー印刷制限」（印刷制限（カラー）枚数の設定）

現在選択されている部門におけるカラー印刷の印刷枚数を制限します。

1 部門コードを確定後、「**>>カラー印刷制限**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2 ［**実行**］キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>>ｶﾗｰ印刷制限
0000001

3　［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望の枚数を設定してください。設定枚数は 0000001 ～ 9999999 の間で設定できます。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

4　**［実行］**キーを押してください。

5　**［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「カウンタの初期化」（カウンタの初期化）

現在選択されている部門のカウンタ（使用枚数）をリセットします。

1　部門コードを確定後、「**>>カウンタの初期化**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

2　**［実行］**キーを押してください。「**?**」が点滅します。

>>ｶｳﾝﾀの初期化?

3　**［実行］**キーを押してください。カウンタが初期化されます。

4　**［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「部門の登録」（部門の登録）

印刷を許可する新しい部門を登録することができます。

注意：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理がオンの場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

1　「**部門管理 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2　「**>部門の登録**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3　**［実行］**キーを押してください。カーソル（_）が点滅します。

>部門の登録
_

4　［△］または［▽］キーを押すとカーソルが点滅している位置の数値が増減します。希望のコードを設定してください。設定は 1 ～ 8 桁の数字で設定できます［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。

参考：すでに存在する部門コードを重複して入力すると、**「部門の登録が できません」**が表示され、入力画面に戻ります。新しいコードを入力し直してください。

5　**［実行］**キーを押してください。部門の登録が完了します。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「部門の削除」（部門の削除）

登録している部門を削除することができます。

注意：部門コードは、数字列で管理されますので、「1」と「001」は区別され違う部門として管理されます。また、部門管理がオンの場合、印刷データをどの部門で印刷するかの情報を付加しないと出力されません。

---

1 「**部門管理 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>部門の削除**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。（例：001）

```
>部門の削除
?001
```

4 ［△］または［▽］キーを押すと、登録されている部門コードが循環して表示されます。

5 希望の部門コードを表示させて、［**実行**］キーを押してください。部門コードが削除されます。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「部門管理リストの印刷」（部門管理リストの出力）

全部門で集計された枚数を、部門管理リストとして印刷できます。

1 「**部門管理 >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>部門管理リストの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。

```
>部門管理ﾘｽﾄの印刷 ?
```

4 ［**実行**］キーを押すと、「**データ処理中です**」が表示され印刷が開始されます。

5 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「管理者」（管理者の設定）

本機を使用できるユーザを特定し、使用者を管理することができる管理者の管理者 ID と管理者パスワードを設定します。

セキュリティ機能および部門管理機能を使用するときに、ここで設定した管理者 ID と管理者パスワードで認証が行われ、正しく認証されたときに設定を行うことが可能になります。

管理者の設定には以下の項目があります。

- 「ID」（管理者 ID の入力）
- **「パスワード」**（管理者パスワードの入力）
- **「ID の変更」**（管理者 ID の変更）
- **「パスワードの変更」**（管理者パスワードの変更）

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「管理者 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。



「ID」（管理者 ID の入力）

管理者 ID を設定できます。工場出荷時は、「2600」となります。

1 **「管理者 ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「ID」が表示され、カーソル（_）が点滅します。



3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定された ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 ［**実行**］キーを押してください。次の手順**「パスワード」（管理者パスワードの入力）**へ移ります。

「パスワード」（管理者パスワードの入力）

管理者パスワードを設定できます。工場出荷時は、「2600」となります。

1 前の手順「ID」（管理者 ID の入力）で ID を入力すると、**「パスワード」**（管理者パスワードの入力）が表示され、カーソル（_）が点滅します。



2 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。設定されたパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。パスワードは 0 ～ 16 桁の数字で入力してください。

参考：ID とパスワードの入力後、照合が行われます。間違った管理者 ID やパスワードの場合、**「ID が違います」**もしくは**「パスワードが違います」**が表示され、入力画面に戻ります。正しい ID とパスワードを入力し直してください。

3 正しい ID とパスワードを入力すると、管理（変更）画面が表示されます。（例：管理者 ID が 00000001 の場合）

```
>IDの変更
00000001
```

［△］または［▽］キーを押すと、以下の変更項目が循環して表示されます。

- **「ID の変更」**
- **「パスワードの変更」**

参考：変更が必要な場合、次の**「ID の変更」**および**「パスワードの変更」**の手順を参照してください。

4 変更がなければ、**［実行］**キーを押してください。管理者 ID とパスワードが確定します。

5 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「ID の変更」（管理者 ID の変更）

管理者 ID の変更ができます。

1 上記**「パスワード」**の手順 3 で、管理（変更）画面を表示中に、［△］または［▽］キーを押して、**「ID の変更」**画面を表示させてください。（例：管理者 ID が 001 の場合）

```
>IDの変更
001
```

2 **［実行］**キーを**押すと、**カーソル（_）が点滅します。

```
>IDの変更
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更する ID を入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 1 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 **［実行］**キーを押してください。確認画面が表示されます。（例：管理者 ID を 002 に変更した場合）

```
よろしいですか?
002
```

5 **［実行］**キーを押してください。変更した管理者 ID が確定します。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「パスワードの変更」（管理者パスワードの変更）

管理者パスワードの変更ができます。

1 上記**「パスワード」**の手順 3 で、管理（変更）画面を表示中に、［△］または［▽］キーを押して、**「パスワードの変更」**画面を表示させてください。

```
>ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更
■■■■■■■■■■■■■■■■
```

注意：管理者パスワードは表示されません。

2 **［実行］**キーを押すと、カーソル（__）が点滅します。

```
>ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更
_
```

3 ［△］または［▽］キーを押すと、カーソルが点滅している桁の数値が増減します。変更するパスワードを入力してください。［◁］または［▷］キーを押すとカーソルが左右に移動します。ID は 0 ～ 16 桁の数字で入力してください。

4 **［実行］**キーを押してください。確認画面が表示されます。（例：管理者パスワードを 010 に変更した場合）

```
よろしいですか?
010
```

5 **［実行］**キーを押してください。変更した管理者パスワードが確定します。

6 **［メニュー］**キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「調整 / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- **「カラー調整の実行」**（カラー調整）
- **「カラー位置補正 標準」**（カラー印刷位置の補正（標準））
- **「カラー位置補正 詳細」**（カラー印刷位置の補正（詳細））
- **「プリンタの再起動」**（プリンタの再起動）
- **「サービス」**（保守・点検用）

注意：「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「調整 / メンテナンス ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
調整/メンテナンス            >
```

「カラー調整の実行」（カラー調整）

本機には、プリンタ周囲の温度や湿度、プリンタの経年変化などを補正して、最適なカラー印刷を行うよう調整する機能（キャリブレーション）があります。

カラー調整は、プリンタの電源を入れるごとに実行されます。また、スリープモードからの復帰時や印刷中にも自動的に実行されることがあります。手動でカラー調整を行う場合は、次の手順で行ってください。

1 **「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カラー調整の実行」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>カラー調整の実行 ?
```

4 ［**実行**］キーを押すと、**「お待ちください（カラー調整中）」**が表示されカラー調整が実行されます。

5 **終了すると、**メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「カラー位置補正　標準」（カラー印刷位置の補正（標準））

プリンタを初めて設置したときや移動などで再設置したとき、または印刷時にマゼンタ、シアン、イエローの色ずれが起こる場合、次の手順で色ずれを補正してください。

カラー印刷位置の補正（標準）には以下の項目があります。

- **「補正チャートの印刷」**（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- **「マゼンタの補正」**（マゼンタの補正）
- **「シアンの補正」**（シアンの補正）および**「イエローの補正」**（イエローの補正）

「補正チャートの印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1 **「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞カラー位置補正　標準 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

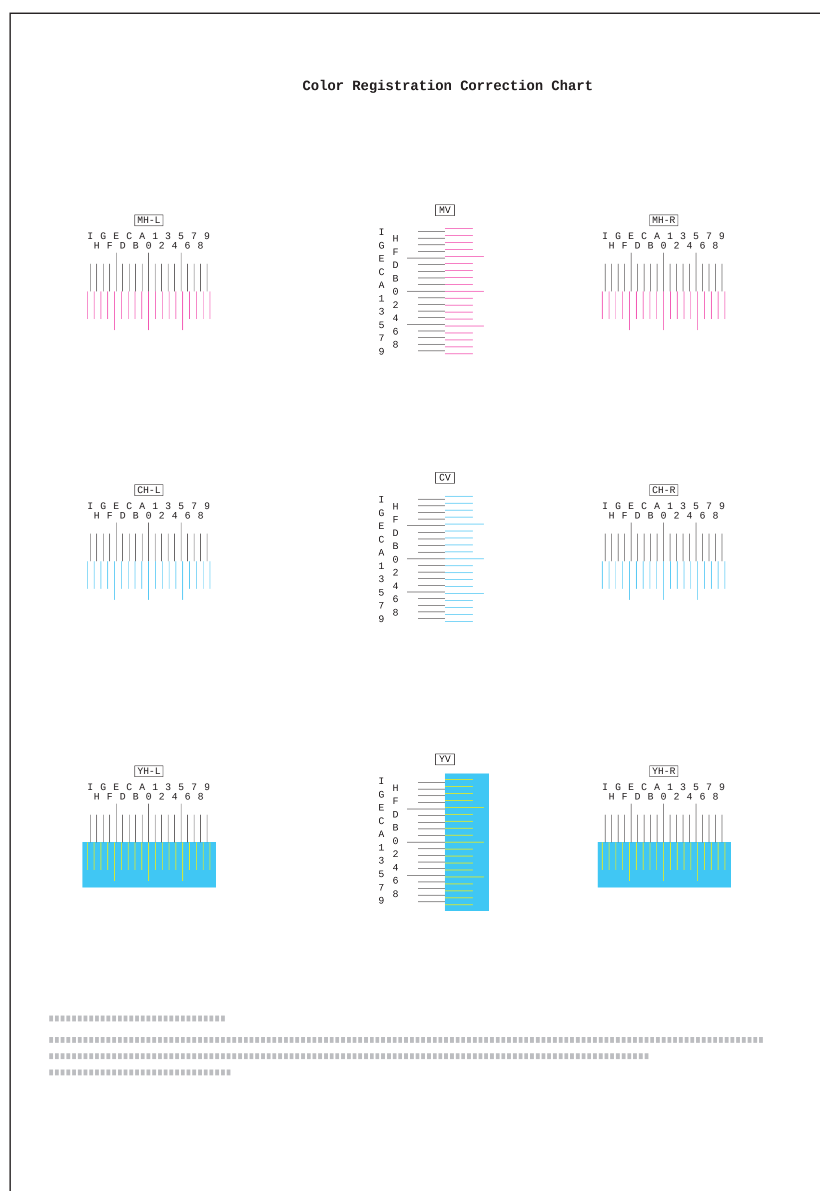
3 ［▷］キーを押してください。

4 **「＞＞補正チャートの印刷」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>>補正ﾁｬｰﾄの印刷 ?
```

6 ［**実行**］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、次の図のカラーレジスト補正チャートが印刷されます。カラーレジスト補正チャートには、マゼンタ、シアン、イエローそれぞれに、L（左）、V（垂直）、R（右）のチャートが印刷されています。



7 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「マゼンタの補正」（マゼンタの補正）

マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正を行います

1 **「調整 / メンテナンス >」表示中に**、［▷］キーを押してください。

2 **「>カラー位置補正 標準 >」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

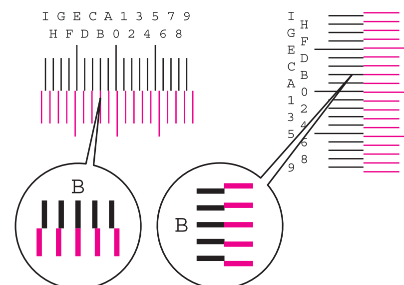
3 ［▷］キーを押してください。

4 **「>>マゼンタの補正」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。L、V、R の値に 0 が表示され、L の値でカーソル（＿）が点滅します。

```
>>ﾏｾﾞﾝﾀの 補 正
 L=0 V=0  R=0
```

6 上記の「**補正チャートの印刷**」手順で印刷したカラーレジスト補正チャートで、マゼンタの L のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。次の図の場合は B です。



7 ［△］または［▽］キーを押し、読み取った数値を表示させてください。

```
>>ﾏｾﾞﾝﾀの 補 正
 L=B  V=0  R=0
```

8 ［◁］または［▷］キーを押すと、カーソルが左右に移動します。L の値と同様に、V と R の値をカラーレジスト補正チャートから読み取って、数値表示させてください。

9 ［**実行**］キーを押してください。「**よろしいですか ?**」が表示されます。表示されている数値が正しければ、［**実行**］キーを押してください。マゼンタの設定が完了します。

引き続き、シアンとイエローの設定を行います。

「シアンの補正」（シアンの補正）および「イエローの補正」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正を行います。

10 上記手順 9 でマゼンタの設定が終了したら、［▽］キーを押してください。「**>>シアンの補正**」、「**>>イエローの補正**」が表示されますので、マゼンタ同様、シアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

11 3 色の数値の設定が終了したら、［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

以上で、カラー印刷位置の補正（標準）は終了です。

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度上記の手順 4 からの設定を行ってください。

重要：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「カラー位置補正 詳細」（カラー印刷位置の補正（詳細））

カラー印刷位置の補正を、水平および垂直方向へ詳細に行うことができます。

カラー印刷位置の補正（詳細）には以下の項目があります。

- **「補正チャートの印刷」**（カラーレジスト補正チャートの印刷）
- 「M 12345 3」（マゼンタの補正）
- 「C 12345 3」（シアンの補正）および「Y 12345 3」（イエローの補正）

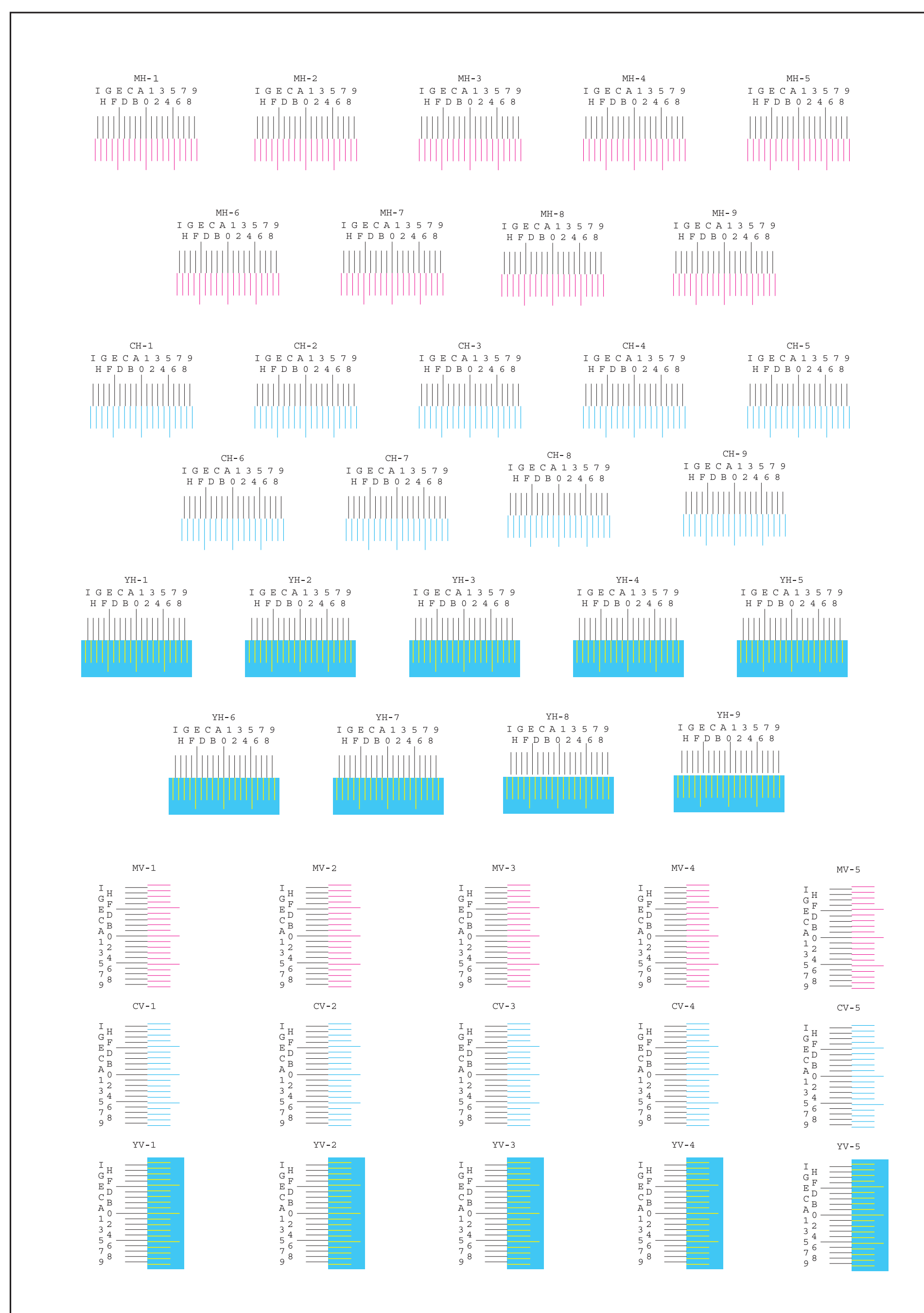
「補正チャートの印刷」（カラーレジスト補正チャートの印刷）

カラー印刷位置の補正に使用するカラーレジスト補正チャートが印刷できます。

1. **「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。
2. **「＞カラー位置補正 詳細 ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。
3. ［▷］キーを押してください。
4. **「＞＞補正チャートの印刷」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。
5. ［**実行**］キーを押してください。「?」が表示されます。

```
>>補正ﾁｬｰﾄの印刷 ?
```

6　［実行］キーを押してください。**「データ処理中です」**が表示され、カラーレジスト補正チャートが印刷されます。カラーレジスト補正チャートには、シアン、マゼンタ、イエローそれぞれに、H（水平）、V（垂直）のチャートが印刷されています。



7　終了すると、メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「M 12345 3」（マゼンタの補正）

マゼンタ（赤）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

1　**「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>カラー位置補正 詳細 >」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

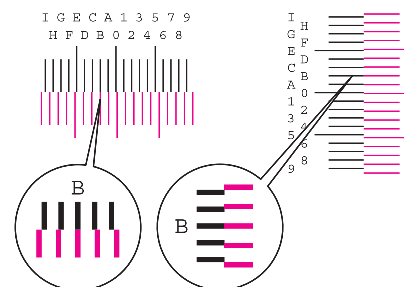
3 [▷] キーを押してください。

4 「>> M 12345 3」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

5 [実行] キーを押してください。H、V の値に 00000 または 0 が表示され、H の値でカーソル（__）が点滅します。

```
>>M 12345    3
 MH=00000 MV=0
```

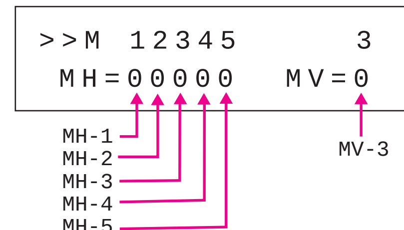
6 上記の「補正チャートの印刷」手順で印刷したカラーレジスト補正チャートで、マゼンタの H、V のチャートから、もっとも直線に近い部分の数値を読み取ってください。次の図の場合は B です。



7 [△] または [▽] キーを押し、読み取った数値を表示させてください。

```
>>M 12345    3
 MH=B0000 MV=0
```

8 [◁] または [▷] キーを押すと、カーソルが左右に移動します。H の値と同様に、V の値をカラーレジスト補正チャートから読み取って、数値表示させてください。



9 [実行] キーを押してください。「よろしいですか ?」が表示されます。表示されている数値が正しければ、[実行] キーを押してください。マゼンタの設定が完了します。

引き続き、シアンとイエローの設定を行います。

「C 12345 3」（シアンの補正）および「Y 12345 3」（イエローの補正）

シアン（青）色およびイエロー（黄）色の印刷位置の補正（詳細）を行います。

10 上記手順 9 でマゼンタの設定が終了したら、[▽] キーを押してください。「>> C 12345 3」、「>> Y 12345 3」が表示されますので、マゼンタ同様、シアンとイエローの数値を、カラーレジスト補正チャートから読み取って設定してください。

11 3 色の数値の設定が終了したら、[メニュー] キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリントできます」に戻ります。

以上で、カラー印刷位置の補正（詳細）は終了です。

参考：確認のため、もう一度カラーレジスト補正チャートを印刷してみてください。もっとも直線に近い部分の数値が 0 でない場合は、再度上記の手順 4 からの設定を行ってください。

注意：補正を行っても色ずれが起こる場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

「プリンタの再起動」（プリンタの再起動）

RAM ディスクの設定や、インタフェースの設定を行ったときに、プリンタを再起動します。

1 **「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞プリンタの再起動」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 **［実行］**キーを押してください。**「?」**が表示されます。

```
>ﾌﾟﾘﾝﾀの再起動?
```

4 もう一度、**［実行］**キーを押してください。プリンタの再起動中は「Self test」が表示されます。その後、表示は**「しばらく お待ちください」**から**「プリントできます」**に戻ります。

「サービス」（保守 • 点検用）

保守 • 点検で使用する**「サービス」**には以下の項目があります。

- **「ステータスページの印刷」**（サービスステータスページの印刷）
- **「ネットワークステータスの印刷」**（ネットワーク用ステータスページの印刷）
- **「テストページの印刷」**（テストページの印刷）
- **「メンテナンス」**（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）
- 「DEV-CLN」（現像器 • リフレッシュモードの設定）
- 「LSU」（LSU 清掃モードの設定）
- **「ドラム」**（ドラム / リフレッシュモードの設定）
- **「高度調整」**（高度調整モードの設定の設定）
- 「MC」（メインチャージャ出力の設定）

注意：**「サービス」**は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 **「調整 / メンテナンス ＞」**表示中に、［▷］キーを押してください。

2 **「＞サービス ＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
>ｻｰﾋﾞｽ              >
```

「ステータスページの印刷」（サービスステータスページの印刷）

サービスステータスページは、通常のステータスページよりも詳細なプリンタ設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 「**>サービス >**」表示中に、[▷］キーを押してください。

2 「**>>ステータスページの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>ｽﾃｰﾀｽﾍﾟｰｼﾞの印刷 ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、サービスステータスページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「ネットワークステータスの印刷」（ネットワーク用ステータスページの印刷）

ネットワーク用ステータスページは、詳細なネットワーク設定情報が印刷されます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 「**>サービス >**」表示中に、[▷］キーを押してください。

2 「**>>ネットワークステータスの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>ﾈｯﾄﾜｰｸｽﾃｰﾀｽの印刷 ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、ネットワーク用ステータスページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「テストページの印刷」（テストページの印刷）

テストページは、本機の調整結果を確認するために印刷します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用しますが、必要に応じて印刷できます。

1 「**>サービス >**」表示中に、[▷］キーを押してください。

2 「**>>テストページの印刷**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が表示されます。

```
>>ﾃｽﾄﾍﾟｰｼﾞの印刷 ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。「**データ処理中です**」が表示され、テストページが印刷されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「メンテナンス」（新メンテナンスキットへの交換確認の設定）

新メンテナンスキットへの交換確認（メンテナンスキット総印刷イメージ数のリセット）を設定します。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

注意：「**MK を交換してください**」が表示された場合のみ、「**メンテナンス**」メニューが表示されます。

1 「**>サービス >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>>メンテナンス**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が表示されます。

```
>>ﾒﾝﾃﾅﾝｽ ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。新メンテナンスキットへの交換確認の設定が行われます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「DEV-CLN」（現像器・リフレッシュモードの設定）

現像器のリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、現像器のリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 「**>サービス >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「**>> DEV-CLN**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が表示されます。

```
>>DEV-CLN ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。現像器リフレッシュが開始され、「**しばらく お待ちください**」が表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「LSU」（LSU 清掃モードの設定）

LSU の清掃モードを設定します。印刷品質が低下したとき、LSU の清掃を行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 「>**サービス** >」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>> **LSU**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>LSU ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。LSU 清掃モードが開始され、「**お待ちください（清掃中）**」が表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）

ドラムのリフレッシュモードを設定します。印刷品質が低下したとき、ドラムのリフレッシュを行うと、印刷品質を回復することができます。主にサービス担当者のメンテナンス用として使用します。

1 「>**サービス** >」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>>**ドラム**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が表示されます。

```
>>ﾄﾞﾗﾑ ?
```

4 ［**実行**］キーを押してください。ドラムのリフレッシュモードが開始され、「**しばらく お待ちください**」が表示されます。

5 終了すると、メッセージディスプレイは「**プリントできます**」に戻ります。

「高度調整」（高度調整モードの設定の設定）

高度調整モードを設定します。使用環境が海抜 1500m 以上の高地で、印刷品質が低下したとき、高度調整モードの設定を行なうと、印刷品質を回復することができます。

1 「>**サービス** >」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>>**高度調整**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

```
>>高度調整
? 標準
```

4 ［△］または［▽］キーを押して、**「標準」**、**「高地 1」**または**「高地 2」**を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

「MC」（メインチャージャ出力の設定）

メインチャージャー出力を設定します。印刷品質が低下したとき、メインチャージャー出力の変更を行うと、印刷品質を回復することができます。

参考：このメニューは、4-102 ページ**「高度調整」**（高度調整モードの設定の設定）が**「標準」**以外のときは、表示されません。

1 「**>サービス >**」表示中に、［▷］キーを押してください。

2 「>> MC」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

3 ［**実行**］キーを押してください。「?」が点滅します。



4 ［△］または［▽］キーを押して、「1」から「5」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリントできます」**に戻ります。

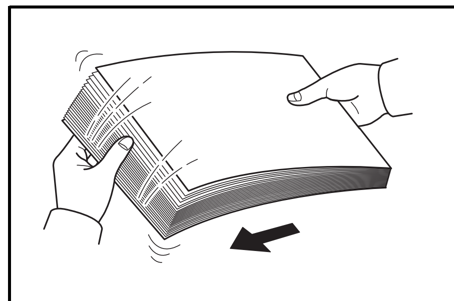
5　日常のメンテナンス

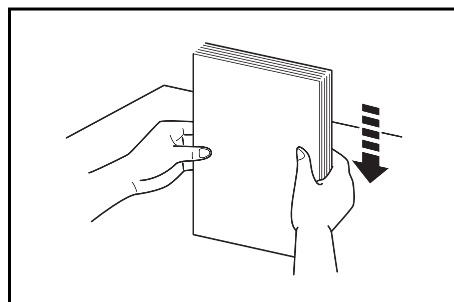
この章では、用紙の補給、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

用紙の補給

給紙カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

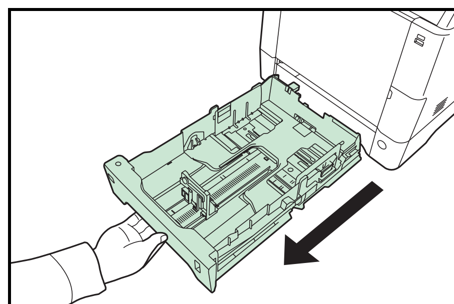




給紙カセットの用紙の補給

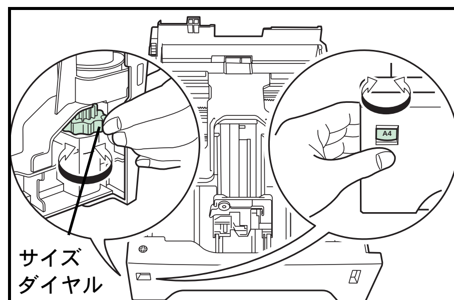
給紙カセットに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

1 給紙カセットを、図のように引き出してください。

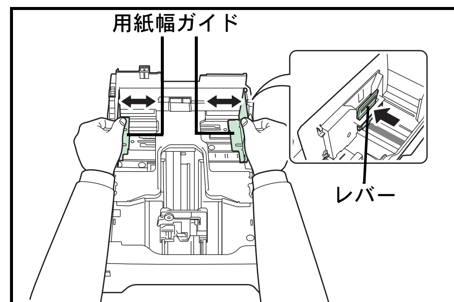


2 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせてください。

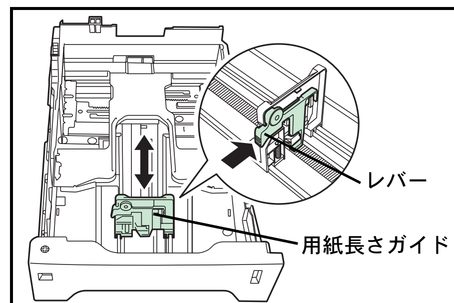
参考：定形外の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルを Other にセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、4-32 **ページの「用紙の設定」（用紙の設定）**を参照してください。



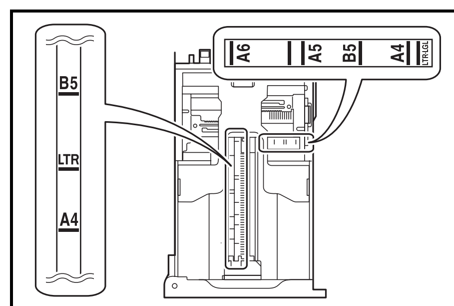
3 左右の用紙幅ガイドの位置を調整します。レバーを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



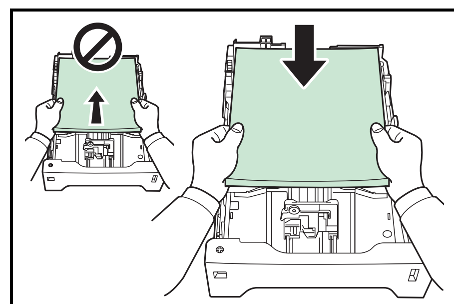
4 用紙長さガイドの位置を調整します。レバーを押しながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



用紙サイズは図のように、給紙カセットに刻印されています。

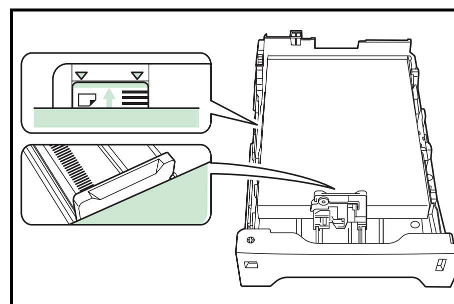


5 用紙の端をそろえて、図のように給紙カセットに入れてください。



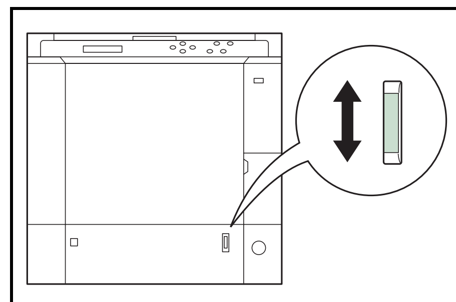
重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 500 枚までです。



6 給紙カセットを奥まで押し込んでください。

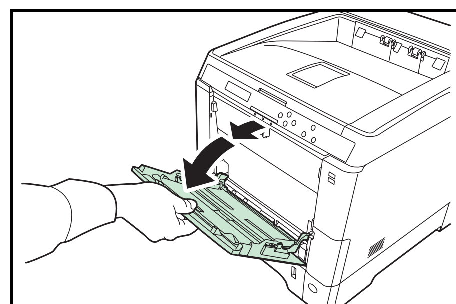
給紙カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。



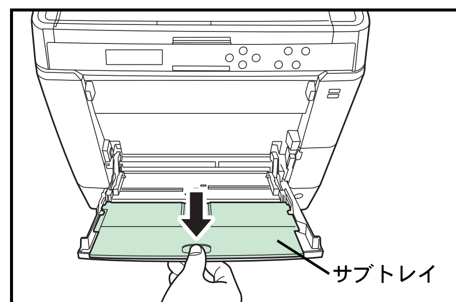
手差しトレイの用紙の補給

手差しトレイに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

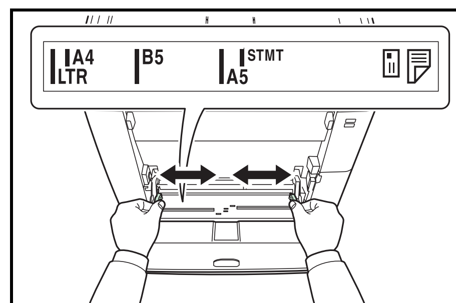
1 手差しトレイの中央を押してください。少し開きますので、手前に止まるまで開いてください。



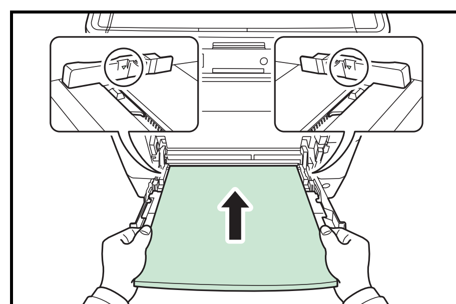
2 サブトレイを隙間がないように、手前に止まるまで引き出してください。



3 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されていますので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



4 用紙の先端をそろえて、手差しトレイに入れてください。



注意：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

OHP フィルムを印刷する場合、1 枚ずつ給紙してください。

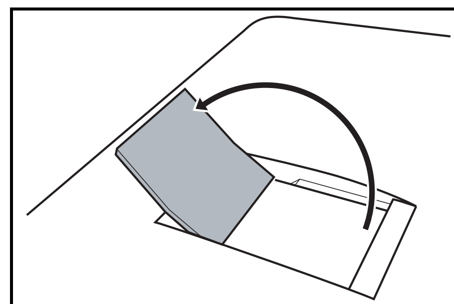
すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

○		
×		

5 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、4-32 ページの**「用紙の設定」（用紙の設定）**を参照してください。

排紙ストッパ

排紙ストッパを使用する場合は、図のように開いてください。（例：Legal の場合）



トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに**「トナーが少なくなりました」**が表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと**「トナーを交換してください C,M,Y,K」**が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら、早めに以下のトナーキットを準備してください。

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック（K）	TK-591K
シアン（C）	TK-591C
マゼンタ（M）	TK-591M
イエロー（Y）	TK-591Y

トナーコンテナの交換時期

1 本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ（どれだけのトナーを使うか）によって変わります。ISO/IEC 19798 に準拠しエコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです（A4 で印刷の場合）。

トナーの色	トナーコンテナの寿命（印刷枚数）
ブラック（K）	7,000 イメージ
シアン（C）	5,000 イメージ
マゼンタ（M）	5,000 イメージ
イエロー（Y）	5,000 イメージ

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナは、それぞれ約 50％の容量です。（例えば、ブラック（K）の印刷枚数は約 3,500 イメージです。）

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋： 2 枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- 使用説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは 5-11 ページの**清掃**を参照してください。

プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

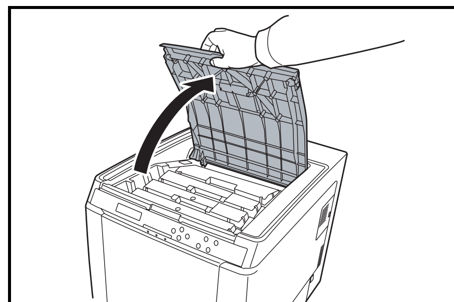
トナーコンテナの交換方法

注意：トナーコンテナは火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。

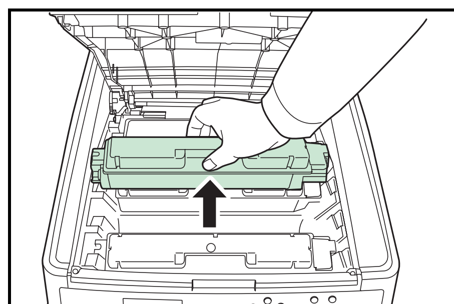
参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

トナーコンテナの交換の際は、最初に交換が必要なトナーコンテナの色を確認してください。次の例は、シアン（C）のトナーコンテナの交換手順です。

1 プリンタの上カバーを開けてください。

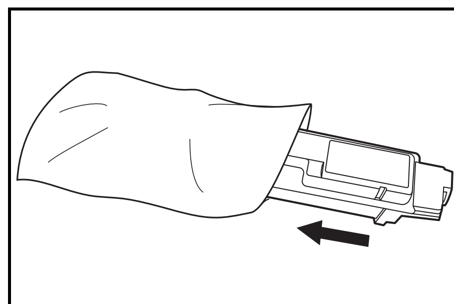


2 図のように古いトナーコンテナをゆっくりと取り外してください。

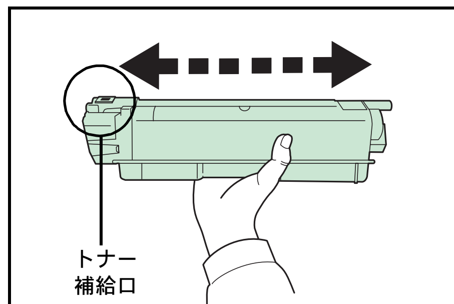


3 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出してください。

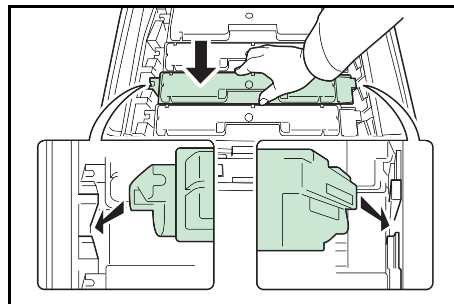
注意：使用済みのトナーコンテナは、トナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



4 内部のトナーが均一になるように、トナー補給口を上側にして図のように 5 〜 6 回振ってください。その際、トナーコンテナ中央部を強く押したり、トナー補給口に手を触れないでください。

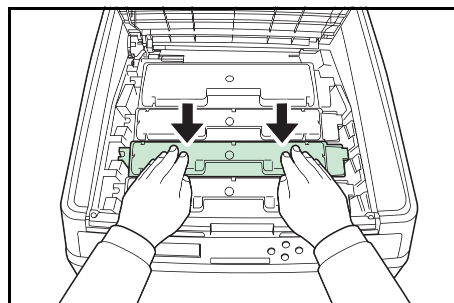


5 新しいトナーコンテナのトナー補給口を下側にして、左右のミゾに合わせて、水平にプリンタに装着してください。



6 トナーコンテナを押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。

その他の色のトナーコンテナを交換する場合にも、同じ手順で行ってください。



7 上カバーを閉めてください。

参考：上カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるかもう一度確認してください。

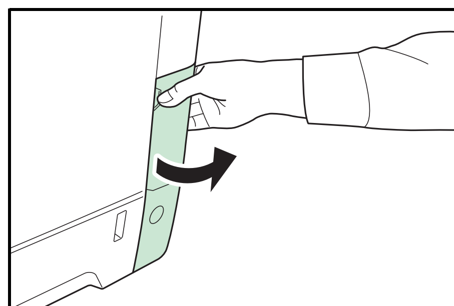
京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている**「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」**または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。http://www.kyoceramita.co.jp/support/

廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスの交換方法

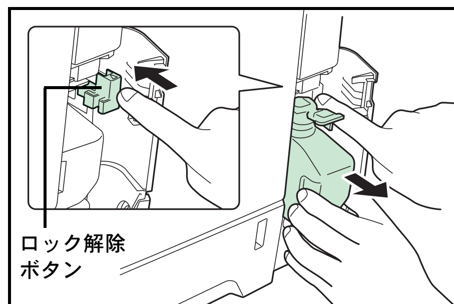
メッセージディスプレイに**「廃棄トナーボックスを 確認してください」**と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換してください。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

1 プリンタの廃棄トナーカバーを開いてください。



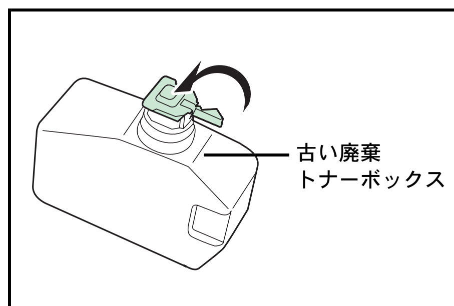
2 ロック解除ボタンを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外してください。

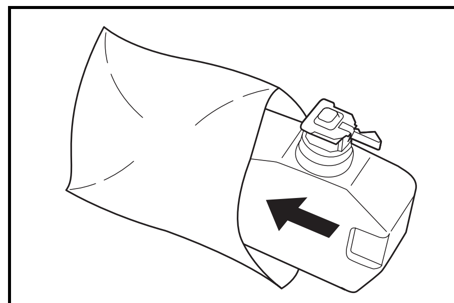
参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。



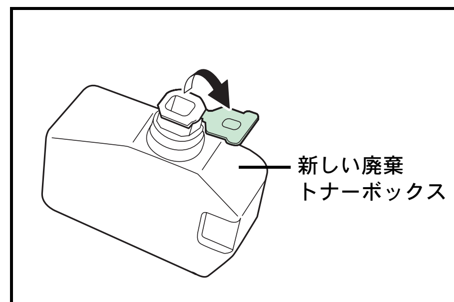
3 取り出した古い廃棄トナーボックスに、図のようにキャップをしてください。

注意：古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

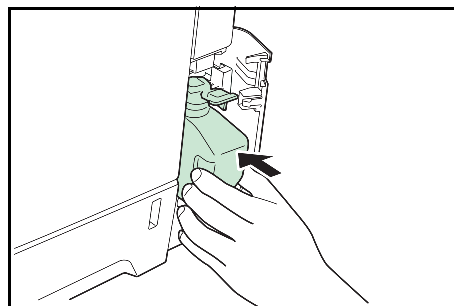




4 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。



5 図のように新しい廃棄トナーボックスがロックされるまで押し込んで、プリンタに装着してください。



6 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、廃棄トナーカバーを閉めてください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。5-11 ページの**清掃**を参照してください。

清掃

トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、搬送ユニットの清掃をしてください

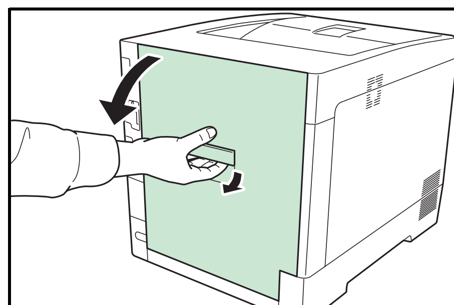
最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に 1 回程度はプリンタ内部を清掃することをおすすめします。

また、印刷にスジなどの汚れが出たり、印刷が薄かったりぼやける場合にも清掃してください。

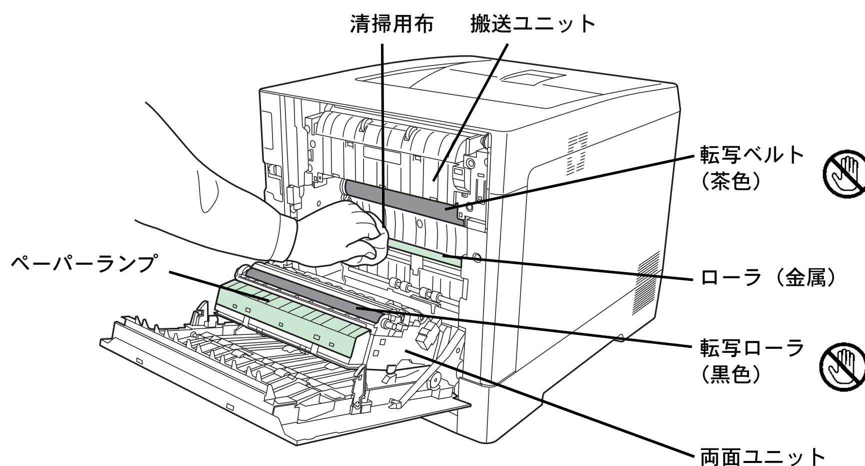
搬送ユニットの清掃

搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。搬送ユニットは次の手順で清掃してください。

1 後カバーレバーを引き上げ、後カバーを開けてください。



2 乾いた柔らかい清掃用布で、金属のローラに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ってください。



重要：清掃中は転写ローラ（黒色）や転写ベルト（茶色）に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

3 後カバーを閉めてください。

6　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。		6-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。
用紙がつまった。		6-11 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
		電源スイッチを確実に押してください。
ステータスページは正常に印刷するが、PC からのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 インタフェースの仕様については、**付録** -5 ページの**インタフェース**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタ設定等を確認してください。
排紙トレイ付近から湯気が出る	プリンタを使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	プリンタを使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。 水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。

さらに、次の点を確認してください。

- プリンタに接続している PC を再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタードライバーを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
色ずれが起こる。 ABC	操作パネルからカラーの位置補正を実行してください。詳しくは、4-93 ページの **「カラー位置補正 標準」（カラー印刷位置の補正（標準））** もしくは 4-96 ページの **「カラー位置補正 詳細」（カラー印刷位置の補正（詳細））** を参照してください。
何も印刷しない。	トナーコンテナを確認してください。 上カバーを開き、トナーコンテナが正しく装着されているか確認してください。詳しくは、5-6 ページの **トナーコンテナの交換** を参照してください。
	コンピュータで問題が発生している場合があります。アプリケーションでエラーが出ていないか、設定が正しいか確認してください。
白抜けや点が印刷される。 ABC 123	LSU を清掃してください。 詳しくは、4-102 ページの **「LSU」（LSU 清掃モードの設定）** を参照してください。
縦線が入る。 ABC 123 ABC 123 給紙方向	操作パネルを確認してください。 **「トナーが少なくなりました C,M,Y,K」** が表示されているときは、表示されてる色のトナーコンテナを交換してください。詳しくは、5-6 ページの **トナーコンテナの交換** を参照してください
	LSU を清掃してください。 詳しくは、4-102 ページの **「LSU」（LSU 清掃モードの設定）** を参照してください。
	ドラムリフレッシュを実行してください。 詳しくは、4-102 ページの **「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）** を参照してください。

印刷例	処置
画像が薄い、またはぼやける。	LSU を清掃してください。 詳しくは、4-102 ページの**「LSU」（LSU 清掃モードの設定）**を参照してください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。詳しくは、4-32 ページの**「用紙の設定」（用紙の設定）**を参照してください。
	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラーの調整を実行してください。詳しくは、4-92 ページの**「カラー調整の実行」（カラー調整）**を参照してください。
	プリンタードライバーから色の設定を調節してください。
	操作パネルを確認してください。 **「トナーが少なくなりました C,M,Y,K」**が表示されているときは、表示されてる色のトナーコンテナを交換してください。詳しくは、5-7 ページの**トナーコンテナの交換方法**を参照してください。
	ドラムリフレッシュを実行してください。 詳しくは、4-102 ページの**「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）**を参照してください。
	メインチャージャー出力の設定を実行し、調整値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から 1 段階ずつ小さくしてください。1 段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう 1 段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。 詳しくは、4-103 ページの**「MC」（メインチャージャ出力の設定）**を参照してください。
背景が一様にうすい色になる。	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラーの調整を実行してください。詳しくは、4-92 ページの**「カラー調整の実行」（カラー調整）**を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。	搬送ユニット内部を確認してください。 後カバーを開け、搬送ユニット内部がトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、トナーキットに付属の清掃用布で拭き取ってください。詳しくは、5-11 ページの**搬送ユニットの清掃**を参照してください。

印刷例	処置
オフセットが発生する。	ドラムリフレッシュを実行してください。 詳しくは、4-102 ページの**「ドラム」（ドラム / リフレッシュモードの設定）**を参照してください。
	メインチャージャー出力の設定を実行し、調整値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から 1 段階ずつ小さくしてください。1 段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう 1 段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。 詳しくは、4-103 ページの**「MC」（メインチャージャ出力の設定）**を参照してください。
画像の一部が周期的に薄い、またはぼやける。	メインチャージャー出力の設定を実行し、調整値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から 1 段階ずつ小さくしてください。1 段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう 1 段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。 詳しくは、4-103 ページの**「MC」（メインチャージャ出力の設定）**を参照してください。
画像に不規則な横筋が入る。	メインチャージャー出力の設定を実行し、調整値を小さくしてください。調整する際は、現状の設定値から 1 段階ずつ小さくしてください。1 段階小さくしても、効果が現れない場合は、もう 1 段階、設定を小さくしてください。それでも、効果が現れない場合は、設定値を元に戻してください。 詳しくは、4-103 ページの**「MC」（メインチャージャ出力の設定）**を参照してください。
使用環境が海抜 1500m 以上の高地であり、画像に不規則な横白筋が入る。	高度調整モードの設定を実行し、調整値を**「高地 1」**にしてください。**「高地 1」**に設定しても、効果が現れない場合は、**「高地 2」**に設定してください。 詳しくは、4-102 ページの**「高度調整」（高度調整モードの設定の設定）**を参照してください。
使用環境が海抜 1500m 以上の高地であり、画像に色点が入る。	高度調整モードの設定を実行し、調整値を**「高地 1」**にしてください。**「高地 1」**に設定しても、効果が現れない場合は、**「高地 2」**に設定してください。 詳しくは、4-102 ページの**「高度調整」（高度調整モードの設定の設定）**を参照してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。

「サービスをお呼びください」や**「システムエラー 電源オフ / オン」**が表示された場合、電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、**［キャンセル］**キーを押してください。

メッセージ	処置
Call service F### ｻｰﾋﾞｽをお呼びください F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Error.Power off. F### ｼｽﾃﾑｴﾗｰ　電源ｵﾌ/ｵﾝ F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Error.Power off. F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
IDが違います	セキュリティ機能または部門管理メニューに入る時に入力した管理者 ID が違います。正しい管理者 ID を確認してください。詳しくは、4-89 ページの**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。
	プライベートプリントもしくはジョブ保留モードで印刷する時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。詳しくは、4-22 ページの**「ジョブボックス」（ジョブボックスの選択）**を参照してください。
KPDLｴﾗｰ　## 解除を押してください	KPDL（PostScript Level 3 互換のページ記述言語）のエラーです。印刷を再開するために**［印刷可 / 解除］**キーを押します。印刷を中止する場合は、**［キャンセル］**キーを押します。 オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。 モード選択メニューから**「＞＞エラーレポート」**を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、4-42 ページの**「印刷設定」（印刷の設定）**を参照してください。
MKを交換してください	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約 200,000 イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
RAMﾃﾞｨｽｸｴﾗｰ　## 解除を押してください	RAM ディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 6-10 ページの RAM **ディスクのエラー** ## を参照してください。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
USBﾒﾓﾘｴﾗｰ　## 解除を押してください	USB メモリにエラーが起こりました。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
印刷制限されています 解除を押してください	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-82 ページの**「部門管理」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。

メッセージ	処置
印刷制限を超えました 解除を押してください	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。**[印刷可 / 解除]** キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-82 ページの **「部門管理」（部門管理の選択・設定）** を参照してください。
上ｶﾊﾞｰを 閉じてください	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉めてください。
上ﾄﾚｲの用紙を 取り除いてください	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約 250 枚まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
後ｶﾊﾞｰを 閉じてください	プリンタの後カバー、またはオプションのペーパーフィーダの後カバーが開いています。表示された番号の後カバーを閉めてください。
ｶｾｯﾄ#から給紙します (用紙サイズ/用紙種類) †	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙カセットの番号が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、4-42 ページの **「印刷設定」（印刷の設定）** を参照してください。
ｶｾｯﾄ#が抜けています	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙カセットの番号が表示されます。
ｶｾｯﾄ#に 用紙がありません	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元（給紙カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダ）に、要求された用紙を補給してください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙カセットの番号が表示されます。 プリンタの状態を示すメッセージ（**「プリントできます」**、**「しばらく お待ちください」**、**「データ処理中です」**）が交互に表示されます。（コピー枚数を 2 枚以上に設定している場合、**「データ処理中です」**は、交互表示されません。）
ｶｾｯﾄ#を 確認してください	給紙元のカセットにリフト異常が発生しています。表示された番号の給紙カセットを引き出し、用紙のセット状態を確認してください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙カセットの番号が表示されます。 このエラーが繰り返し発生した場合、「**サービスをお呼びください**」のエラー表示になります。
ｶｾｯﾄの電源が 接続されていません	オプションのペーパーフィーダ（PF-530）に電源が接続されていないときに、用紙種類の設定が **「加工紙」**（コート紙）の場合に表示されます。ペーパーフィーダに電源接続をしてください。
ｶｾｯﾄ準備中	選択している給紙カセットが準備中です。
紙づまりです ####################	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、「#...#」に表示されます。詳しくは 6-11 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
給紙経路が 開いています	プリンタに給紙カセットが装着されていないか、正しく装着されていません。給紙カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダを装着し、下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。
ｻｰﾋﾞｽをお呼びください ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。「#」に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。「#」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージ		処置
指定外のﾄﾅｰ PC C,M,Y,K		装着されたトナーの仕向地が、本体の仕向地と一致しない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
指定外のﾄﾅｰが 装着されています		装着されたトナーが指定品でない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
指定のﾄﾅｰが 装着されています		装着されたトナーが指定品の場合に表示されます。
ｼﾞｮﾌﾞを保存できません 解除を押してください		ジョブボックス機能を使った印刷時に、ハードディスクや RAM ディスクの容量が不足している、またはハードディスク未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。
ｾｷｭﾘﾃｨﾚﾍﾞﾙが低いです		セキュリティレベルを低い設定にしているとき表示されます。
代用給紙しますか? ｶｾｯﾄ1		印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙が無いとき、この代用給紙のメッセージで代わりに使用する給紙カセットを指定できます。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、4-42 ページの**「印刷設定」（印刷の設定）**を参照してください。
ﾃﾞｰﾀｷｬﾝｾﾙ中		データのキャンセル中に表示されます。
手差しから給紙します （用紙サイズ/用紙種類）	†	プリンタに印刷データと一致した給紙カセット（用紙サイズ / 用紙種類）がありません。手差しトレイに用紙を入れて［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷を再開します。
ﾃﾞﾊﾞｲｽ使用中です		USB メモリ使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1，2 秒表示された後、直前の表示に戻ります。
ﾄﾅｰが少なくなりました C,M,Y,K		トナーが少なくなりました。表示されている色の新しいトナーコンテナ（シアン、イエロー、マゼンタ、ブラック）に交換してください。詳しくは、5-6 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
ﾄﾅｰｺﾝﾃﾅを 確認してください		トナーコンテナが正しく装着されていません。トナーコンテナを正しく装着してください。
ﾄﾅｰを交換してください (C,M,Y,K/掃除もしてください)	†	表示されたの色の新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。例えば、**「トナーを交換してください C, K」**が表示された場合は、シアンとブラックのトナーを交換してください。詳しくは、5-6 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。トナーコンテナの交換時は、機内の清掃もしてください。詳しくは、5-11 ページの**清掃**を参照してください。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｴﾗｰ ## 解除を押してください		ハードディスクエラーが起こりました。「##」にそのエラーコードが表示されます。詳しくは、6-10 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸを ﾌｫｰﾏｯﾄしてください		プリンタに装着されたハードディスクがフォーマットされていません。ハードディスクをフォーマットしてください。詳しくはハードディスクの使用説明書を参照してください。
廃棄ﾄﾅｰｶﾊﾞｰを 閉じてください		廃棄トナーカバーが開いています。廃棄トナーカバーを閉めてください。

メッセージ	処置
廃棄ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽを 確認してください	廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞが違います	入力したパスワードと設定したパスワードが違います。正しいパスワードを確認してください。詳しくは、4-89 ページの**「管理者」（管理者の設定）**を参照してください。
複数印刷できません 解除を押してください	ハードディスクあるいは RAM ディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。ハードディスクを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。
部門管理設定ｴﾗｰ ## 解除を押してください	部門管理機能がオンの状態で、部門管理の設定や部門の登録、削除が失敗した場合に表示されます。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
部門ｺｰﾄﾞが違います 解除を押してください	部門管理機能がオンの状態で、送信された印刷ジョブに部門指定がされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった（誤った部門が指定されていた）場合に表示されます。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、4-82 ページの**「部門管理」（部門管理の選択 • 設定）**を参照してください。
部門の登録が できません	部門管理メニューで、部門を登録する際に入力された部門コードがすでに存在するとき表示されます。詳しくは、4-82 ページの**「部門管理」（部門管理の選択 • 設定）**を参照してください。
部門指定してください	部門コードの入力が必要です。部門管理機能がオンの状態で、ジョブリテンションやステータスページなど、パネル操作よる印刷を行おうとした場合に表示されます。詳しくは、4-82 ページの**「部門管理」（部門管理の選択 • 設定）**を参照してください。
ﾌﾟﾘﾝﾄｵｰﾊﾞｰﾗﾝ 解除を押してください	メモリ（VRAM）への展開遅れが発生すると表示されます。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ 解除を押してください	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには**［印刷可 / 解除］**キーを押します。印刷を中止する場合は、**［キャンセル］**キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、4-59 ページの**「デバイス全般」（デバイス全般の選択 • 設定）**を参照してください。
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞｴﾗｰ ## 解除を押してください	メモリカードエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されています。詳しくは、6-10 ページの **USB メモリおよびメモリカードのエラー ##** を参照してください。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。
両面印刷できません 解除を押してください	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。**［印刷可 / 解除］**キーを押すと片面で印刷を行います。

† / で区切られたメッセージは交互に表示されます。

記憶装置のエラーコード

ハードディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	ハードディスクのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
06	ハードディスクに必要なメモリーが不足しています。メモリーの拡張を行ってください。
10	ホストデータがハードディスクにスプールされているので、フォーマットできません。**「プリントできます」**になってからフォーマットしてください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

USB メモリおよびメモリカードのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	USB メモリがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応する USB メモリを挿入してください。詳しくは**付録** -19 ページの **USB メモリ**を参照してください。
02	USB メモリが装着されていません。USB メモリの使用に必要な環境を確認してください。
03	USB メモリがライトプロテクトされています。USB メモリの状態を確認してください。
04	USB メモリの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルが、USB メモリ内にありませんでした。
06	USB メモリに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
50	USB メモリがライトプロテクトされているか、無効なデバイスです。USB メモリの状態を確認してください。

RAM ディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

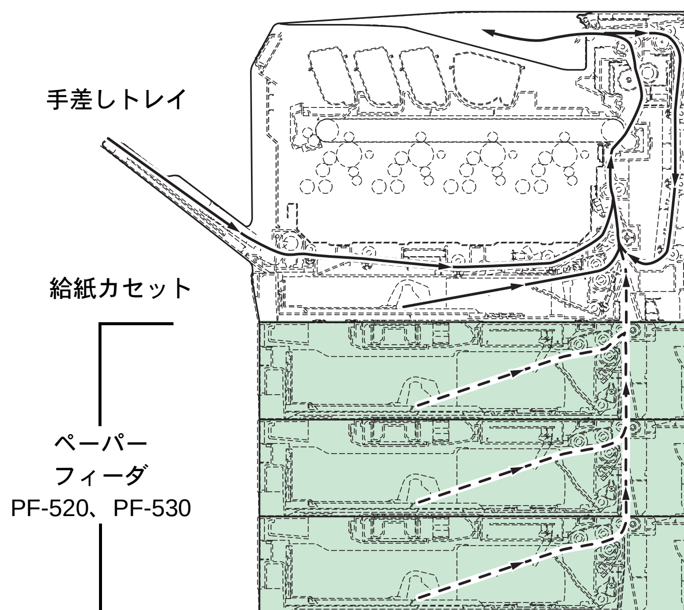
コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。



紙づまりメッセージ	内容	参照ページ
紙づまりです 本体	プリンタ内部または給紙カセットで紙づまりを起こしています。	6-12 ページ 6-13 ページ
紙づまりです 手差しﾄﾚｲ	手差しトレイで紙づまりを起こしています。	6-12 ページ
紙づまりです ｶｾｯﾄ2（～4）	オプションのペーパーフィーダの給紙カセットで紙づまりを起こしています。	6-15 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については 3-1 ページの**用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

オンラインヘルプメッセージ

本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、［?］キーを押してください。オンラインヘルプメッセージは［▽］キーで次の手順のメッセージが表示され、［△］キーで前の手順に戻ります。

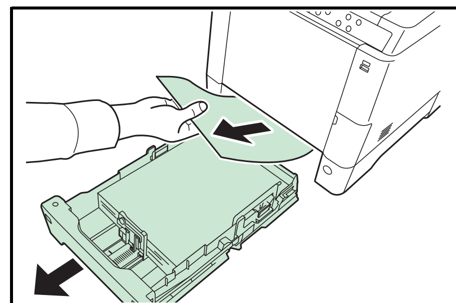
紙づまりの際はオンラインヘルプメッセージを利用して、紙づまりの処理をできます。

給紙カセット内での紙づまり

給紙カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 プリンタの後カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 6-13 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。

2 給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。

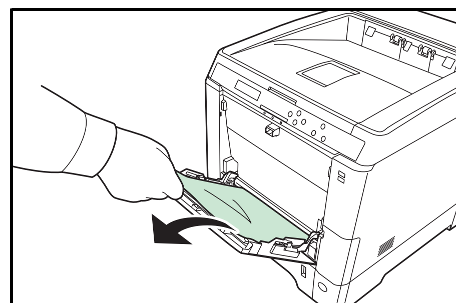


手差しトレイでの紙づまり

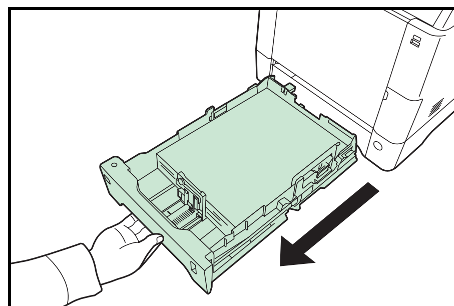
手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 プリンタの後カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 6-13 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。

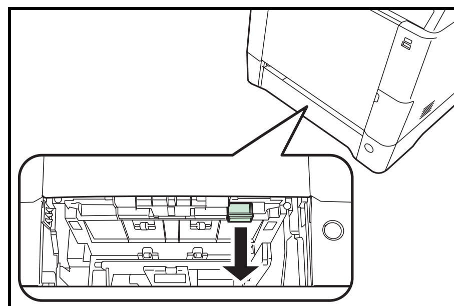
2 手差しトレイにつまった用紙を取り除いてください。



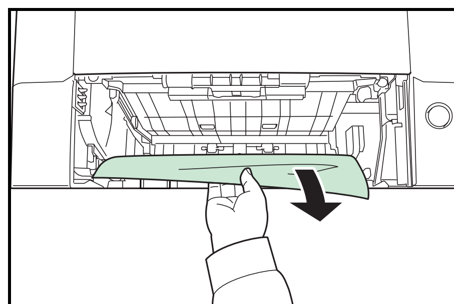
3　給紙カセットを図のように引き出してください。



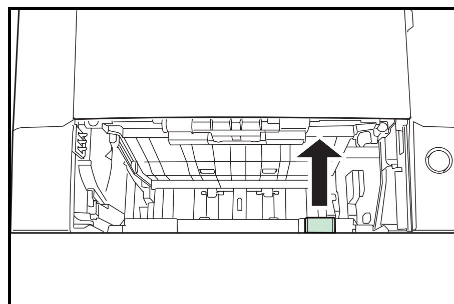
4　搬送下カバーを開けてください。



5　つまった用紙を取り除いてください。



6　搬送下カバーを元に戻してください。



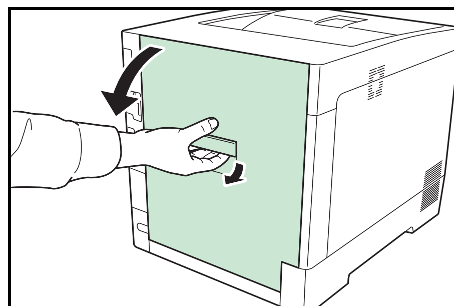
7　給紙カセットを元に戻してください。

搬送ユニットでの紙づまり

搬送ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

注意：定着カバーの内部は高温になっています。やけどの恐れがありますのでご注意ください。

1 後カバーレバーを引き上げ、後カバーを開けてください。



2 図 A のようなローラ（金属）に達していない紙づまりの場合は、用紙の端から引き出して取り除いてください。

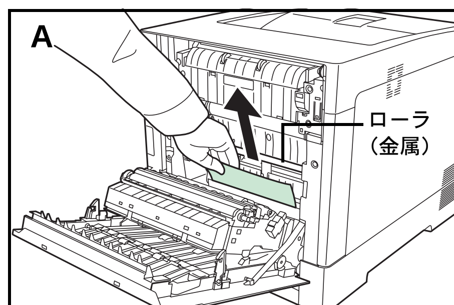


図 B のような定着部に達した紙づまりの場合は、定着カバーを開けて、用紙の端から引き出して取り除いてください。

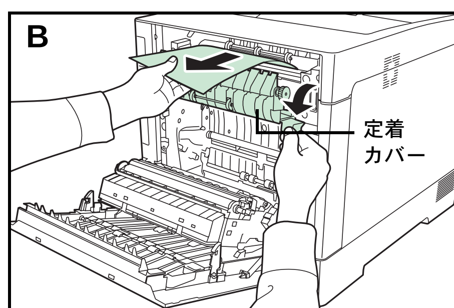


図 C のようなプリンタ内部の紙づまりの場合は、搬送後カバーを開けて、用紙を引き出して取り除いてください。

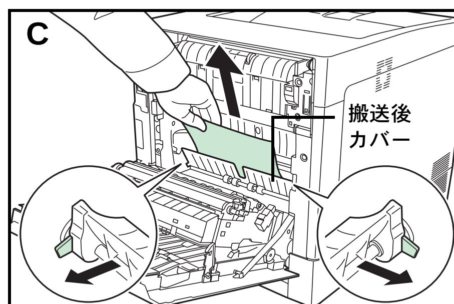


図 D のような両面ユニットに達した紙づまりの場合は、両面ユニットを持ち上げて、用紙を取り除いてください。

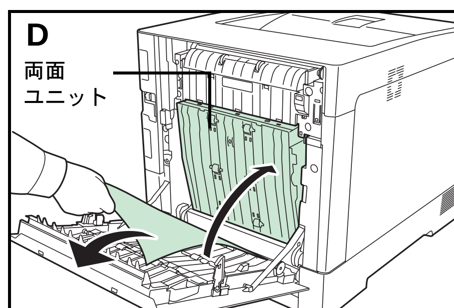
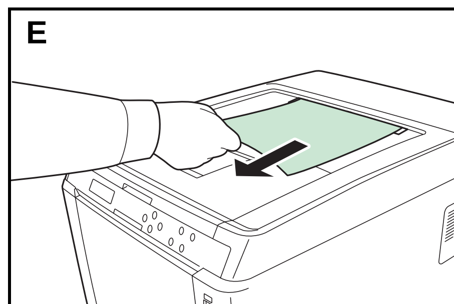
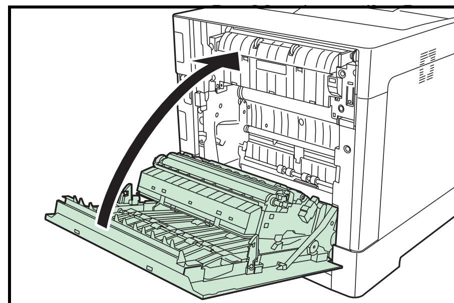


図 E のような上トレイにほとんど用紙が出ている紙づまりの場合は、用紙の端から引き出して取り除いてください。



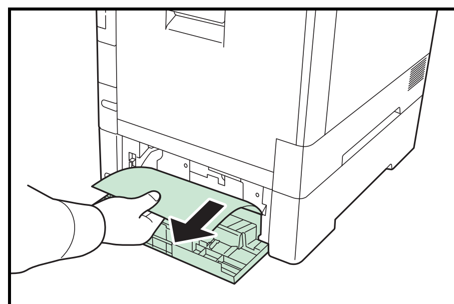
3　後カバーを元に戻してください。



ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり

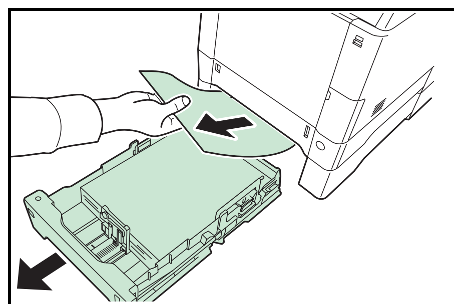
ペーパーフィーダで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1　ペーパーフィーダの後カバーを開けて、つまった用紙を取り除いてください。



2　後カバーを閉めてください。

3　ペーパーフィーダの給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。



付録

ここでは、プリンタに装着できるさまざまなオプションと、本機の仕様について説明します。

フォント

本機は、欧文アウトラインフォント（PCL、KPDL）93 書体、欧文アウトラインフォント（Windows Vista）8 書体、欧文ビットマップフォント 1 書体を搭載しています。

内蔵フォント一覧

次は、本機の内蔵フォントのリスト（一例）です。このフォントリストは、操作パネルから印刷できます。手順については、4-12 ページの**「フォントサンプルの印刷」（フォントサンプルの印刷）**を参照してください。

フォントリストの印刷

一例（PCL/KPDL アウトラインフォント 93 書体、ビットマップフォント 1 書体、Windows Vista アウトラインフォント 2 書体）

AlbertusMd
ABCDEabcde?*‘012345’
AlbertusExtBd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
AntiqueOlive-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Arial-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Arial-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGOmega-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGOmega-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
CGTimes-It
ABCDEabcde?‘012345’*
CGTimes-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Clarendon-Cd
ABCDEabcde?*‘012345’
Courier
ABCDEabcde?*`012345'
Courier-Bd
ABCDEabcde?*`012345'
Courier-It
ABCDEabcde?`012345'*
Courier-BdIt
ABCDEabcde?*`012345'
CourierPS
ABCDEabcde?*`012345'
CourierPS-Bd
ABCDEabcde?*`012345'
CourierPS-Ob
ABCDEabcde?`012345'*
CourierPS-BdOb
ABCDEabcde?*`012345'
Coronet
ABCDEabcde?‘012345’*
GaramondAntiqua
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Hlb
ABCDEabcde?*‘012345’
Garamond-Krsv
ABCDEabcde?‘012345’*
Garamond-HlbKrsv
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Ob
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-BdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-Nr
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrBd
ABCDEabcde?*‘012345’
Helvetica-NrOb
ABCDEabcde?‘012345’*
Helvetica-NrBdOb
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-Bk
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCAvantGardeGothic-BkOb
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCAvantGardeGothic-DmOb
ABCDEabcde?*‘ 012345’
ITCBookman-Lt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-Dm
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCBookman-LtIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCBookman-DmIt
ABCDEabcde?*‘012345’
ITCZapfChancery-MdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
ITCZapfDingbats
✡✢✣✤✥❁✪✱❄❅✝☛ ✐➾➧✓✕
LetterGothic
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
LetterGothic-It
ABCDEabcde?‘ 012345’*
Marigold
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-Rom
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
NewCenturySchoolbook-It
ABCDEabcde?‘012345’*
NewCenturySchoolbook-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’

Palatino
ABCDEabcde?*‘012345’
Palatino-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Palatino-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Palatino-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Symbol
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
SymbolPS
ΑΒΧΔΕαβχδε?∗012345
TimesNewRoman
ABCDEabcde?*‘012345’
TimesNewRoman-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
TimesNewRoman-It
ABCDEabcde?‘012345’*
TimesNewRoman-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-Rom
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Times-It
ABCDEabcde?‘012345’*
Times-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-Md
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-Bd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
Univers-BdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdCd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-BdCd
ABCDEabcde?*‘012345’
Univers-MdCdIt
ABCDEabcde?‘012345’*
Univers-BdCdIt
ABCDEabcde?*‘012345’
Windings
✌✍☝☟♋♌♍♎✍✉❻🗀🗁🗋🗏🗐
LinePrinterBM8.5-Roman (Bitmap font)
ABCDEabcde?*'012345'

Calibri
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Calibri-It
ABCDEabcde?'012345'*
Calibri-BdI
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-Bd
ABCDEabcde?*'012345'
Cambria-It
ABCDEabcde?'012345'*
Cambria-BdIt
ABCDEabcde?*'012345'
Ryadh
ABCEDabcde?*'012345'
Ryadh-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Malka
ABCEDabcde?*'012345'
Malka-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Malka-It
ABCEDabcde?'012345'*
Dorit
ABCEDabcde?*'012345'
Dorit-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Naamit
ABCEDabcde?*'012345'
Naamit-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Naskh
ABCEDabcde?*'012345'
Naskh-Bd
ABCEDabcde?*'012345'
Koufi
ABCEDabcde?*'012345'
Koufi-Bd
ABCEDabcde?*'012345'

インタフェース

プリンタの USB インタフェースおよびネットワークインターフェースについて、主な特長や基本仕様（ピンの割当て、信号、コネクタ仕様など）を説明します。

USB インタフェース

特長

本機の USB（ユニバーサルシリアルバス）インタフェースは、Hi-Speed USB 2.0 に対応しています。USB インタフェースの仕様と信号は次のとおりです。

仕様

基本仕様

Universal Serial Bus Specification Revision 2.0 に準拠しています。

コネクタ

プリンタ：B レセプタクル（メス）アップストリームポート

ケーブル：B プラグ（オス）

ケーブル

5 m 以下の USB 2.0 適合ケーブル。シールドされているケーブル線を使用してください。

転送モード

High-Speed（最大 480 Mbps）

Full-Speed（最大 12Mbps）

電源コントロール

自己電源デバイス

インタフェース信号

USB 接続ピン割り当て

ピン	信号	説明
1	Vbus	電源（+5 V）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グラウンド
シェル		シールド

ネットワークインタフェース

特長

IP アドレスを自動的に取得

DHCP/DHCPv6 プロトコルに対応しており、DHCP/DHCPv6 サーバによって割り当てられた IP アドレスを受け取ることができます。

Web ブラウザーによる管理（COMMAND CENTER）

HTTP ページ（COMMAND CENTER）を内蔵しており、Web ブラウザーを使って COMMAND CENTER にアクセスし、各種設定状態のモニタや変更ができます。各種設定は、パスワードによってセキュリティを確保できます。

各種プロトコルをサポート

代表的な SMTP、POP3、SSL、SNMP、IPv6、NetBIOS over TCP/IP などをサポートし、プリンタの管理やセキュリティ強化に役立ちます。

IEEE802.1x をサポート

EAP-TLS、PEAP 認証方式に対応しています。

IPv6 をサポート

IPv4 をベースに、管理できるアドレス空間の増大、セキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル IPv6 に対応しています。

IPSec をサポート

ネットワーク層（IP 層）で、認証および暗号化を行うセキュリティプロトコル IPSec に対応しています。

仕様

コネクタ

10 Base-T/100 Base-TX

動作オペレーティングシステム （Windows 系、Macintosh 系）

Windows 2000/XP/Vista/7/Server2003/Server2008, MacOS 10.x

ネットワーク・プロトコル

- IPv6: HTTP, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMPv6, LLTD, SNTP, DHCPv6, SMTP, POP3, DNS, SNMPv1/v2c/v3, WSD
- IPv4: HTTP, HTTPS, LPD, FTP, IPP, RawPort, ICMP, DHCP, SMTP, POP3, SNTP, DNS, WINS, NetBIOS over TCP/IP, SNMPv1/v2c/v3, Apple Bonjour Compatible, IPPS, LLTD, WSD
- その他 : IPX/SPX, NetWare (NDS/Bindery), AppleTalk, NetBEUI

セキュリティ・プロトコル

SSL/TLS (HTTPS, IPPS), SNMPv3, EAP-TLS, PEAP, AH, ESP

注意：IPv6 機能を使用するときは、ネットワークを構成する機器（Router や PC）が IPv6 に対応している必要があります。

環境設定コマンド

本機は、印刷設定に関する各種の情報を内部メモリに記憶しています。これらの情報はプリスクライブ FRPO コマンドによって登録・変更でき、電源投入時のプリンタの初期状態として設定されます。

ここでは、FRPO コマンドとそのパラメータの使用例を説明します。

プリスクライブコマンドの詳細については、付属の CD-ROM（Product Library）に収録されている、**プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル**を参照してください。プリスクライブコマンドごとの書式や機能について、実行例を含めて説明しています。

環境設定コマンドの設定

現在の FRPO パラメータの設定値は、サービスステータスページで確認できます。

参考：FRPO パラメータを変更する前に、サービスステータスページを印刷しておくことをおすすめします。なお、FRPO INIT コマンドですべての FRPO パラメータを、プリンタの初期状態にもどすこともできます。（!R! FRPO INIT; EXIT;）

FRPO コマンドは次の書式で実行します。

!R! FRPO パラメータ , 設定値 ; EXIT;

例－エミュレーションを PCL6 に設定

```
!R! FRPO P1, 6; EXIT;
```

FRPO パラメータ

項目	FRPO	設定値	工場設定
起動時のパターン解像度	B8	0:300 dpi 1:600 dpi	0
ページ方向	C1	0: 縦置き（ポートレート） 1: 横置き（ランドスケープ）	0
起動フォント†	C2	起動フォント番号の中 2 桁	0
	C3	起動フォント番号の最後 2 桁	0
	C5	起動フォント番号の最初の 2 桁	0
受信データバッファ容量	H8	0 ～ 99　FRPO S5 の値で積算（0: 10 K バイト）	5
タイムアウトの時間	H9	1 ～ 99　5 秒単位	1（5 秒）
両面印刷モードの選択	N4	0: オフ 1: ロングエッジモード（長辺とじ） 2: ショートエッジモード（短辺とじ）	0
スリープ時間	N5	1 ～ 240　1 分単位	1
エコプリントモード	N6	0: オフ 2: オン	0
エミュレーションモード	P1	6:PCL 6 9:KPDL	6

項目	FRPO	設定値	工場設定
キャリッジリターンの処理	P2	0: 無視 1:CR 2:CR+LF	1
改行の処理	P3	0: 無視 1:LF 2:CR+LF	1
KPDL 自動切り替え	P4	0: なし 1: 自動切り替え	0
AES オプション 自動エミュレーション切り替え（AES）が起動するページ排出コマンド および処理動作	P7	**AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは、KPDL で処理** 0: すべてのページ排出コマンド 1: なし 2: すべてのページ排出コマンドおよびプリスクライブ EXIT コマンド 3: プリスクライブ EXIT コマンドのみ 4:^L コマンドのみ 6: プリスクライブ EXIT コマンドおよび ^L コマンド **AES 起動後、KPDL または代替エミュレーションのどちらにも該当しないデータは代替エミュレーションで処理** 10:KPDL 印刷データ以外では、自動切替先エミュレーションで印刷処理	10
コマンド認識文字	P9	33 ～ 126 の ASCII コード	82（R）
用紙サイズ（起動時）	R2	0: 給紙カセットのサイズ（R4 参照） 1:Envelope Monarch 2:Envelope #10 3:Envelope DL 4:Envelope C5 5:Executive 6:Letter 7:Legal 8:ISO A4 9:JIS B5 13:ISO A5 14:ISO A6 15:JIS B6 16:Envelope #9 17:Envelope #6-3/4 18:ISO B5 19: カスタム 31: はがき 32: 往復はがき 33:Oficio II 40:16K 50:Statement 51:Folio 52: 洋形 2 号（封筒） 53: 洋形 4 号（封筒）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
初期給紙元	R4	0: 手差しトレイ 1: カセット 1 2: カセット 2 3: カセット 3 4: カセット 4	1
手差しトレイの用紙サイズ	R7	0: 最大用紙サイズ その他のパラメータは R2 と同じ	8 (A4)
A4/Letter の共通給紙	S4	0: オフ 1: オン	0
ホストバッファサイズ積算値 （H8 の値と積算）	S5	0:10 KB 1:100 KB 2:1 MB	1
RAM ディスクサイズ	S6	0 ～ 1024 MB 単位	400
RAM ディスクモード	S7	0: オフ 1: オン	0
ワイド A4 対応	T6	0: オフ 1: オン	0
行間隔†	U0	インチあたりの行数 / 整数部分	6
行間隔†	U1	インチあたりの行数 / 小数部分	0
文字間隔†	U2	インチあたりの文字数 / 整数部分	10
文字間隔†	U3	インチあたりの文字数 / 小数部分	0
内蔵フォントの国別コード	U6	0:US 1: フランス 2: ドイツ 3: イギリス 4: デンマーク 5: スウェーデン 6: イタリア 7: スペイン 8: 日本 9:US リーガル 10:IBM PC-850（マルチ言語） 11:IBM PC-860（ポルトガル語） 12:IBM PC-863（カナダフランス語） 13:IBM PC-865（ノルウェー語） 14: ノルウェー語 15: デンマーク語 2 16: スペイン語 2 17: ラテンアメリカ 21:US ASCII（U7=50 に設定） 77:HP Roman-8（U7=52 に設定）	0
シンボルセット	U7	0: エミュレーションと同じ 1:IBM 6:IBM PC-8（US） 50:US ASCII（U6=21 に設定） 52:HP Roman-8（U6=77 に設定）	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
デフォルトフォントのピッチ†	U8	デフォルトフォントのピッチ設定 / 整数部分	10
デフォルトフォントのピッチ†	U9	デフォルトフォントのピッチ設定 / 小数部分	0
初期 ANK アウトラインフォント•サイズ†	V0	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 上位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 09	0
	V1	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの整数 下位 2 桁 / 設定有効範囲値：00 ～ 99	12
	V2	起動時の ANK アウトラインフォント・サイズの小数 2 桁 設定有効値：00, 25, 50, 75	0
初期 ANK アウトラインフォント名†	V3	起動時の ANK アウトラインフォント名	Courier
クーリエおよびレターゴシックのフォントタイプ選択	V9	0: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝ダーク 1: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝ダーク 4: クーリエ＝ダーク レターゴシック＝レギュラー 5: クーリエ＝レギュラー レターゴシック＝レギュラー	5
カラーモード	W1	0: モノクロ 1: カラー	1
光沢モード	W6	0: なし 1: 光沢モードオン	0
用紙種類（手差しトレイ）	X0	1: 普通紙 2:OHP シート 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1

項目	FRPO	設定値	工場設定
用紙種類（本体カセット 1）	X1	1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
用紙種類（カセット 2、3、4）	X2 X3 X4	（PF-520 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8 （PF-530 の場合） 1: 普通紙 3: プレ印刷用紙 4: ラベル用紙 5: ボンド紙 6: 再生紙 7: 薄い用紙 9: レターヘッド 10: カラー紙 11: パンチ済み用紙 12: 封筒 13: はがき 14: コート紙 16: 厚い用紙 17: 上質紙 21 ～ 28: カスタム 1 ～カスタム 8	1
給紙カセット選択モード（PCL）	X9	0: 用紙種類の設定によって給紙カセットを切り替え 1: カセットの用紙サイズによって自動的に給紙カセットを切り替え	0
エラー時のオートエラークリア（**[印刷可 / 解除]** キーを押して解除するエラーのみ）	Y0	0: オフ 1: オン	0
オートエラークリアのエラー解除時間	Y1	1 ～ 99　5 秒単位	6（30 秒）
両面印刷時の用紙エラー検知 給紙元固定時の用紙サイズ・種類のエラー検知	Y3	0: 検知しない 1: 検知する	0

項目	FRPO	設定値	工場設定
強制両面印刷設定（用紙種類が**プレプリント**、**パンチズミシ**および**レターヘッド**のみ）	Y4	0: オフ 1: オン	0
PDF ダイレクト動作	Y5	0: 用紙に合わせて拡大縮小 1:PDF 内の紙サイズ指定で用紙選択 2:PDF 内の紙サイズ指定によって、A3、A4、Letter から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 3:PDF 内の紙サイズ指定で、A3、A4、Letter から印刷 8: 等倍で印刷 9:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択 10:PDF 内の紙サイズ指定によって、Letter、Legal、A4 から選択し、用紙に合わせて拡大縮小 13 ～ 99：初期値（0）と同じ動作	0
ジョブボックス　エラー制御	Y6	0: エラー制御をしない 1: エラーレポートを出力する 2: エラーを表示する 3: エラーを表示、およびエラーレポートを出力する	3

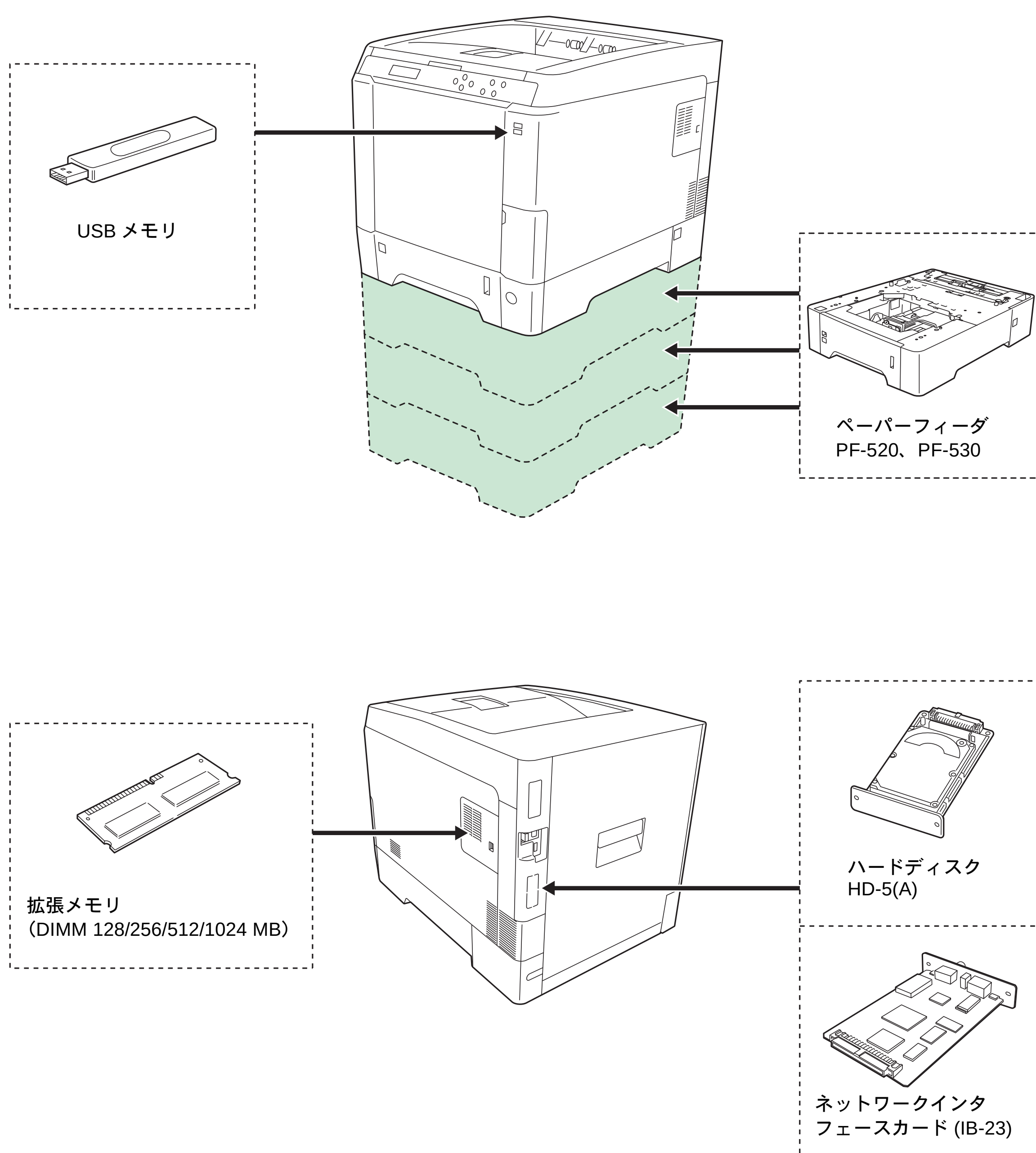
† 　エミュレーションによっては無視されます。

オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。
オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

参考：プリンタの本体内に装着する拡張メモリなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。



拡張メモリ

メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 1,280MB までプリンタのメモリを拡張できます。

注意：拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は最終ページを参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

参考：メモリを 1,280MB に増設するときは、1,024MB のメモリを追加装着します。（出荷時は、256MB のメモリが装着されています。）

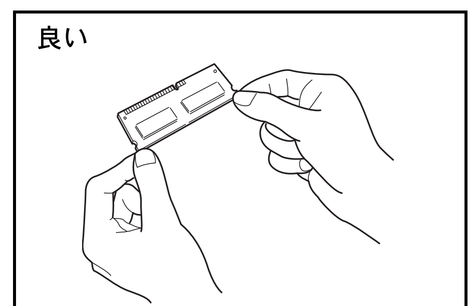
対応拡張メモリ

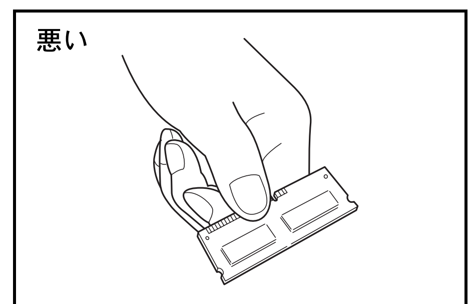
拡張メモリには、128MB、256 MB、512 MB、1,024MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。

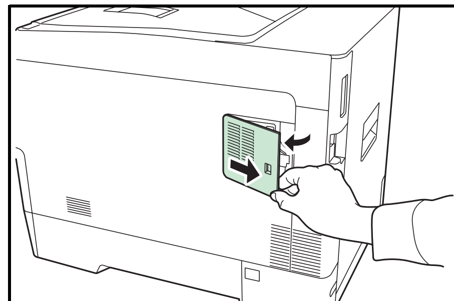




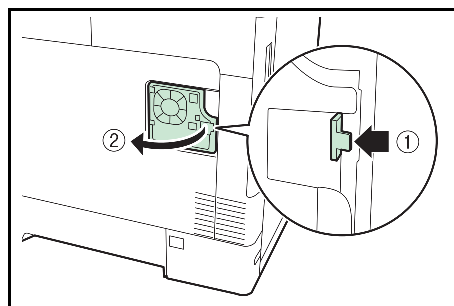
メモリの取り付け

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

2 プリンタの右カバーを手前に引いて取り外してください。



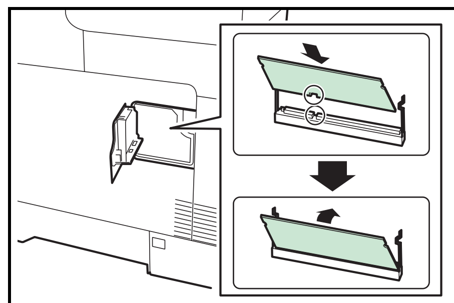
3 内側のカバーを開けてください。



4 オプションの拡張メモリをパッケージから取り出してください。

5 メモリの端子部をソケット側にし、切り欠き部分をソケットの突起部分に合わせて、斜めにまっすぐ差し込んでください。

重要：メモリを差し込む前に、本体の主電源スイッチが切られているか確認してください。



6 差し込んだメモリを、慎重に本体側に押し倒してください。

7 取り外したカバーを本体に取り付けてください。

メモリの取り外し

取り付けたメモリを取り外す場合は、右カバーを取り外して内側のカバーを開け、ソケット両端にあるストッパを外側に開いてください。拡張メモリをソケットから外すことができます。

拡張メモリの確認

拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうか、次の方法で確認してください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタにつなぎ、プリンタの電源をオンにしてください。

2 **「プリントできます」**が画面に表示されたら、操作パネルの［**メニュー**］キーを押し、次に［△］または［▽］キーを押して、**「レポート印刷 >」**を表示させてください。

3 **「レポート印刷 >」表示中に、**［▷］キーを押してください。

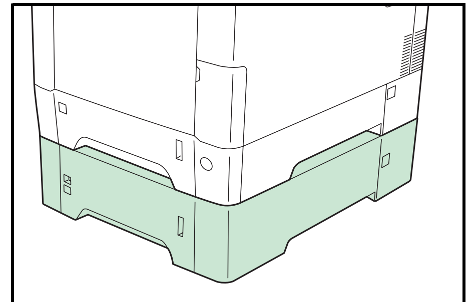
4 **「>ステータスページの印刷」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを 2 回押してください。

印刷されたステータスページで、メモリの量を確認してください。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。（工場出荷時、メモリの量は256 MB です。）

ペーパーフィーダ（PF-520、PF-530）

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-520（**普通紙用**）、PF-530（**多用途メディア用**）には約 500（$80g/m^2$）枚の用紙が収納できます。プリンタの下に 3 台まで重ねて装着できるので、プリンタの給紙カセットと合わせると最大 2000 枚を連続給紙できます。



注意：ペーパーフィーダへの給紙は、印刷面を上に収納してください。

ペーパーフィーダ付属の給紙カセットで、使用できる用紙は以下の通りです。

- PF-520：

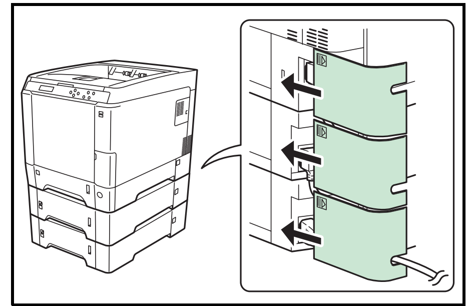
  用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、カスタム（9.2 × 16.2cm ～ 21.6 × 35.6cm）
  用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）

- PF-530：

  用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、カスタム（9.2 × 16.2cm ～ 21.6 × 35.6cm）
  用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）

ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の**インストールガイド**を参照してください。

注意：ペーパーフィーダは、安定した机や台の上に設置してお使いください。
プリンタを移動する際に PF-530 を装着している場合は、プリンタと PF-530 を接続している AC 中継コードを抜いてください。
使用中は、カバーを必ず取り付けてください。

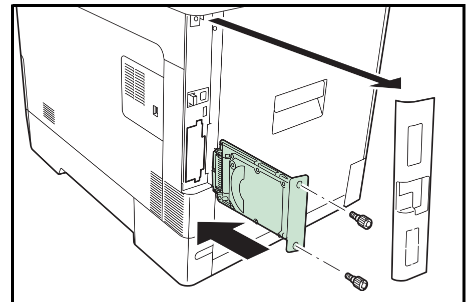


ハードディスク（HD-5(A)）

ハードディスクは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、ユーザボックス機能およびジョブボックス機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。

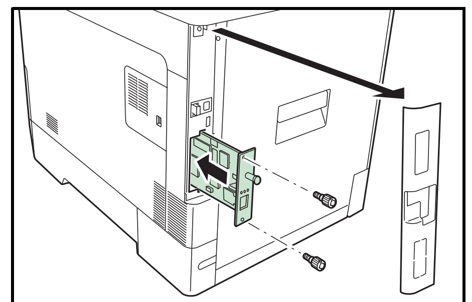
ハードディスクはプリンタの後側にあるハードウェア拡張スロットに装着します。装着後は、プリンタの操作パネルや KMnet Viewer でフォーマットを行ってください。

ハードディスクをプリンタに装着する際は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いて行ってください。



ネットワークインタフェースカード（IB-23)

ネットワークインタフェースカードは、本体標準のネットワークインタフェース同様、TCP/IP、IPX/SPX、NetBEUI、AppleTalk プロトコルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などのさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

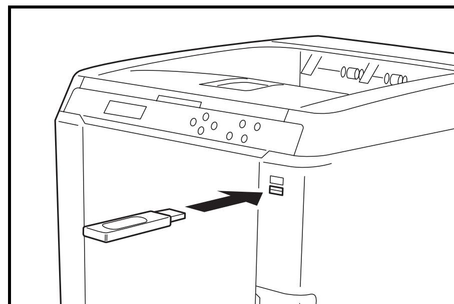


注意：装着する場合は、接続環境などを販売店に確認してください。

ネットワークインタフェースカードは、プリンタの後側にある拡張インタフェーススロットに装着します。ネットワークインタフェースカードの取り付けや操作手順については、ネットワークインタフェースカードに付属の**使用説明書**を参照してください。

ネットワークインタフェースカード	ネットワーク接続
IB-23	10Base-T/100Base-TX

USB メモリ



USB メモリは、USB メモリスロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリです。USB メモリを本体に装着し、印刷したいファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

表示されるファイル名は、PDF、TIFF、JPEG、XPS ファイルの場合です。

USB メモリが印刷できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字で 99 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 12 文字までしか表示されないため、13 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

ファイル名に漢字やひらがななどの 2 バイト文字が含まれていると、メッセージディスプレイで 2 バイト文字が文字化けして表示されます。また、印刷を実行するとエラーメッセージが表示され、印刷ができません。

USB メモリ内の PDF ファイルを印刷する操作については、4-14 ページの「**USB メモリ**」（**USB メモリの選択**）を参照してください。

使用できる USB メモリについては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社）、または当社お客様相談室へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様
印刷方式		レーザ露光方式乾式静電転写方式、 4 連タンデム中間転写方式
印刷速度		A4：26 ページ / 分 Letter：28 ページ / 分
両面印刷速度		A4/Letter：13 ページ / 分
解像度		600 dpi
ファーストプリント （A4、23 ℃、60%RH）		カラーモード：10.5 秒以下 モノクロモード：9.0 秒以下
ウォームアップ時間 （22 ℃、60%RH）		スリープから：20 秒以下 電源 ON から：29 秒以下
CPU		PowerPC464（667 MHz）
メインメモリ		256MB（最大 1,280MB）
OS		Windows 2000/XP/Vista/7、Windows Server 2003/2008、Mac OS 10.x
インタフェース	USB	Hi-Speed USB
	ネットワーク	プロトコルサポート：TCP/IP、TCP/IP(IPv6)、NetWare、IPP、SSL サーバ、AppleTalk
	オプション	1 （ネットワークインタフェースカード [KUIO-LV]）
最大印刷許容ページ枚数		瞬間最大印字枚数：65,000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
		平均最大印字枚数：1,500 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
用紙サイズ	給紙カセット （本体）	Envelope C5、A6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、Oficio II、Statement、Folio、16K
	給紙カセット （オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-520、PF-530 ＞）	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K
	手差しトレイ	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A6、B6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、カスタム、はがき、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K
用紙種類†	給紙カセット（本体、オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-520 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）
	給紙カセット（オプション、ペーパーフィーダ＜ PF-530 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）
	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、加工紙、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）
用紙容量	給紙カセット	500 枚（80g/m^2）
	手差しトレイ	50 枚（80g/m^2）
印刷不能領域		上下左右マージン 4 mm

項目		仕様
排紙トレイ容量	上トレイ	250 枚（80 g/m^2）
設置環境	温度	10 〜 32.5 ℃
	湿度	15 〜 80 %RH
	海抜	2,500 m 以下
	照度	1,500 lux 以下
電源		AC100 V、50/60 Hz、10.1 A
消費電力	最大消費電力	1,118 W 以下
稼動音††	プリント時	61.7 dB（A）
	待機時	43 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下
外形寸法	本体	幅 390 ×奥行き 523 ×高さ 397 mm
質量	本体	31.5 kg（トナーコンテナを含む）

† カスタム 1（〜 8）を使用する場合、10.5 × 14.8 センチより小さいサイズの用紙は手差しトレイをお使いください。手差しトレイは、7.0 × 13.8 センチ以上のサイズを使用することができます。

†† ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

用語集

AppleTalk

Macintosh とプリンタでデータを転送するプロトコルです。Macintosh を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

bpp（bits per pixel）

色深度を表す単位です。1 ピクセル当たりのビット数を表します。4 bpp の場合は 16 階調になります。

dpi（dots per inch）

解像度を表す単位です。1 インチ（25.4 mm）当たりのドット数を表します。

KM-NET for Direct Printing

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷できるユーティリティーです。付属の CD-ROM に収録されています。

KMnet Viewer

ネットワーク上のプリンタの状態を確認できるネットワークマネージメントツールです。付属の CD-ROM に収録されています。

KPDL

本機に搭載されている PostScript 3 互換のページ記述言語です。アウトラインフォントや図形の印刷に高い機能を持ちます。

PCL

ページ記述言語のひとつです。TrueType フォントをプリンタで扱える機能などがあります。本機は PCL6 エミュレーションモードを搭載しています。

PostScript

印刷物の出力などで一般的なページ記述言語のひとつです。本機は PostScript 互換のページ記述言語 KPDL を搭載しています。

RAM ディスク

プリンタのメモリの一部を利用した仮想ディスクで、プリンタの総メモリの中から、任意のメモリサイズを RAM ディスクとして設定することによって、電子ソート（印刷時間の短縮）などの機能が使えるようになります。

TCP/IP (Transmission Control Protocol/Internet Protocol)

PC とプリンタでデータを転送するプロトコルです。PC を複数台接続したり、プリンタを共有する際に使われます。

USB

プリンタと PC を接続するインタフェースです。本機は Hi-Speed モードに対応し、最大 480 Mbps のデータ転送ができます。

アウトラインフォント

フォントの輪郭を数式によって記録しており、拡大しても輪郭のなめらかな美しい印刷が行えます。フォントサイズは 0.25 ポイント単位で最大 999.75 ポイントまで設定できます。

エミュレーション

他のプリンタのページ言語を解釈し、実行する機能です。本機は PCL 6、KPDL のエミュレーションを備えています。

オートスリープ

プリンタ本体の操作やデータの送受信が一定の時間行われないと起動されます。スリープモード時は電力の消費は最小に抑えられます。

オフライン

受信したデータを処理しますが、印刷しない状態です。印刷するにはオンラインに切り替えてください。

オンライン

受信したデータを印刷できる状態です。

拡張メモリ

本機は 1 つの拡張スロットを装備しており増設できます。使用できる DIMM については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

環境設定コマンド（FRPO コマンド）

本機は印刷設定を内部のメモリに記憶しています。環境設定コマンドで設定すると、電源を入れたときの初期設定にすることができます。

ジョブボックス

印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ステータスページ

プリンタに関する様々な情報を確認することができるページです。

プリスクライブ（PRESCRIBE）コマンド

京セラミタプリンタに搭載されている独自のプリンタ制御言語で、プリンタに必要な様々な設定を行うことができます。また、ニーモニックで記述されたわかりやすいコマンドであるため、プログラミングを容易にします。

プリンタードライバー

アプリケーションで作成したデータを印刷するために使用するソフトウェアです。付属の CD-ROM に収録されています。

ユーザボックス

各ユーザごとの印刷データを本機に保存し、後から操作パネルで印刷したり、複数部印刷したりできる機能です。

ラスタライズ

文字や画像の印刷データを、プリンタで印刷するためにビットマップデータとして表現することです。

索引

印字品質を維持するため、京セラミタ・純正トナーコンテナの使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査をパスした純正トナーをご使用ください。
純正以外のトナーを使用した場合、故障の原因となることがあります。
純正トナー以外の使用により、不具合が生じた場合、保証期間内であっても責任を負いかねます。

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

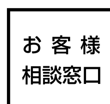
KYOCERA

お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社
京セラミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15
http://www.kyoceramita.co.jp





0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

初版 2010.8
2KVKMJP000